

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZD107 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2HA000200 心とからだの健康学 A 組 東浦 拓郎 春期 水曜日 1時限 553教室 2 B/H/D/E/L/I/C/U/S
科目の趣旨	心身の状態が良好で充実した日常生活を送ることは、大学生活における勉学やクラブ活動などで各人の可能性を最大限に伸ばすための必須条件である。また、卒業後の社会生活でも、個人の能力や特性を最大限に発揮して活躍するための基盤となるものである。「心とからだの健康学」では食事と栄養、健康的な睡眠法、身体活動の重要性、肥満の予防法、生活習慣病の予防法、メンタルケアなど幅広い内容からいくつかを取り上げて、健康に暮らすために必要な知識を、実学として科学的・体系的に理解する。 現代社会は生活の快適性、利便性と引き換えに、身体活動量の減少、食生活や生活リズムの乱れ、人間関係の希薄化など、心身の健康を損なうリスクが増加した。その結果、生活習慣病や精神疾患が急増している。また、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、身体的健康被害はもちろんのこと、閉塞感や孤立感、社会的分断という課題も生じた。これらは本人のみならず、周りの家族、さらには社会にとっても大きな負担を強いられる社会問題である。本講義は、日本における健康問題の現状や心身の健康の保持増進に必要な「運動、栄養、休養」についての基礎知識を学び、自己の健康観について考える。また、実生活において応用できる実践例を紹介し、体験を通じて講義内容の理解を深める。
授業の内容	1) 現代社会における日本人の健康問題について、五大疾病（がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病、精神疾患）を中心に理解する。 2) 日本における健康づくり政策の歴史を学び、自己の健康づくりに必要な素養を修得する。 3) 「運動・栄養・休養」が有機的に融合したスポーツ科学や健康科学を体系的に学び、自己の健康観を確立する。 4) 生活の質的充実の基盤となる「心とからだの健康」を保持増進させるための基本的な知識と実践力を修得する。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	講義
授業方法	授業の概ね1週間前に授業支援システム（manaba）で講義・解説資料の配布、レスポンスで事前学修課題（授業テーマに関連する用語調べ等）の提示を行う。受講者は指定期日（※授業前日18時）までに事前学修課題を行い、授業に臨む。講義・解説資料はポイントとなる箇所が空欄となっており（虫食い状態）、授業時のスライドと口頭説明をもとに適宜メモを取り、自ら講義・解説資料の完成版を作成する。また、事後学修課題として、毎時の振り返りと理解度の確認を授業支援システム（manabaの小テスト機能、respon等）で行う。 【第1回】オリエンテーション（受講上の諸注意、現代の大学生だからこそ「心とからだの健康」を学ぶべき理由） 【第2回】新型コロナウイルス感染症（COVID-19）からヘルスリテラシーを考える 【第3回】日本における健康問題と健康づくり 【第4回】メタボリックシンドロームと生活習慣病 【第5回】生活習慣病の予防・改善とダイエット 【第6回】がん予防と生活習慣 【第7回】現代社会と心の健康 【第8回】心の健康づくりと身体活動・運動 【第9回】少子高齢化と医療技術の進歩がもたらす認知症の問題 【第10回】脳科学研究の最前線（身体活動・運動は認知症予防や学業成績の向上に効果的?!） 【第11回】睡眠と心の健康、からだの健康（自身の睡眠の質の評価、睡眠と肥満の関係） 【第12回】運動・スポーツと睡眠（睡眠の質を高める処方箋） 【第13回】まとめ（学修内容の振り返りと理解度確認）
授業計画	
事前・事後学 修に必要な時 間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。 事前・事後学修課題は授業支援システム（manaba、respon）を通じて提示・提出を行う。事前学修は授業テーマに関連する用語調べや討論のためのフレームワーク作りなどに取り組む。事後学修は授業内容の振り返りと理解度の確認を小テスト形式で行う。授業内容の理解と定着を図るため、必ず各自で取り組むこと。なお、事前・事後学修課題は成績評価方法・基準の欄に示す通り、評価の30%を占める。質問等がある場合はメールで問い合わせること。 （※宛先：higashiu@asia-u.ac.jp）
事前・事後学 修の内容	以下の2点から総合的に評価する。

成績評価方法・基準	1) 平常点 (70%) : 授業への取り組み (発言や受講態度、グループワークへの積極性、授業内課題及び確認テストによる授業内容の理解度) を評価。 2) 事前・事後学修課題 (30%) : 授業支援システム (manaba、respon) を通じて提示される課題への取り組みを評価。
課題 (試験やレポート等) についてのフィードバック方法	本授業での課題 (振り返りの確認テストやレポート等) の講評・解説については授業内 (口頭) もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	指定の教科書はない。授業内容に関連する参考図書、ウェブサイトは授業支援システム (manaba) を通じて適宜紹介する。
履修上の留意点	1) 履修希望者が多い場合は機械抽選による受講者数の制限を行うため、履修登録期間内に必ず登録をすること。また、抽選が実施された場合、ポータルから抽選結果の確認をすること。 2) 授業回によってはZoomやmanabaを利用したオンライン・オンデマンド授業へ変更する可能性がある。詳細は初回授業で説明する。。
更新日	2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZD107
カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連）	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2HA000210
講義名	心とからだの健康学B組
担当者名	鹿内 菜穂
開講情報	春期 月曜日 2時限 200教室
単位数	2
受講可能学部	B/H/D/E/L/I/C/U/S

科目の趣旨	<p>心身の状態が良好で充実した日常生活を送ることは、大学生活における勉学やクラブ活動などで各人の可能性を最大限に伸ばすための必須条件である。また、卒業後の社会生活でも、個人の能力や特性を最大限に発揮して活躍するための基盤となるものである。「心とからだの健康学」では食事と栄養、健康的な睡眠法、身体活動の重要性、肥満の予防法、生活習慣病の予防法、メンタルケアなど幅広い内容からいくつかを取り上げて、健康に暮らすために必要な知識を、実学として科学的・体系的に理解する。</p> <p>日本人の大きな関心事の一つが健康である。社会環境の変化に伴い、健康問題の様相は変化し、健康ブームまで叫ばれるようになった。何となく健康に対する不安を抱き、様々な健康情報に翻弄されるか、何となく健康が維持できていると考える人が大半ではないだろうか。しかし、私たちの日常生活における行動やライフスタイル、生活環境が、主要な健康問題とされる生活習慣病や心の病気に影響を及ぼしている。食事、運動、ストレス解消、休養、睡眠などの生活習慣を見直し、健康の維持・増進や疾病とその予防について考える。積極的に健康を獲得してこうとする姿勢は、自己実現を果たすチャンスも高める。心とからだの基礎知識を身につけ、健康との関わり方と自己管理について学んでいく。</p>
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の維持・増進に必要な基礎知識と理論を幅広く身につけることができる。 2. 厚生労働省が発表している健康に関する日本の統計調査のデータを読み取り、社会における健康の問題点や課題を発見することができる。 3. 生活習慣病について詳しく説明することができる。 4. 受講者自身のこれまでの生活習慣を見直し、改善するための方法を説明することができる。 5. 心身の状態が良好で健やかであるために必要なことを、自分の言葉で説明することができる。
科目の到達目標 (理解のレベル)	
授業形態	<p>講義</p> <p>授業支援システム（manaba）より事前に配付した授業資料をもとに講義を行う。授業中は、各テーマに関する問いやアンケートを授業支援システム（respon）とGoogle Formsを用いて行っていく。なお、回によっては、事前学修および課題をもとにグループディスカッションを行う。質問やわからないことがある場合は授業中に問い合わせること。また、課題は、授業担当者より伝えられた期日（授業時間中/指定日）までに提出すること。</p>
授業方法	<p>【第1回】 健康の概念 内容：ガイダンス、健康とは何か</p> <p>【第2回】 健康づくりの施策 内容：現代社会の特徴と健康の現状、健康施策の変遷、健康日本21</p> <p>【第3回】（グループディスカッション） 生活習慣病 内容：生活習慣病および関連する病気の判断基準、その予防と改善策</p> <p>【第4回】 生活習慣に対する見直し 内容：第3回のグループディスカッションに対して補足説明</p> <p>【第5回】 食と健康① 内容：栄養・食事の基本とからだの関係、食事の取り方・選び方</p> <p>【第6回】 食と健康② 内容：肥満とやせ、メタボリックシンドローム</p> <p>【第7回】 運動とからだの健康 内容：運動不足による心身の影響、運動継続の効果、体力向上による効果</p> <p>【第8回】 睡眠と健康 内容：睡眠と生体リズム、睡眠の質、睡眠障害</p> <p>【第9回】 心の健康① 内容：ストレス（反応）とストレッサー、ストレスモデル、ストレスコーピング</p>

【第10回】
心の健康②
内容：精神障害と精神疾患の現状、うつ病の理解、薬物療法と心理療法

【第11回】
健康と加齢の関係
内容：加齢による心身の変化、サルコペニア、ロコモティブシンドローム、認知症

【第12回】（グループディスカッション）
ウイルス感染症
内容：主なウイルス感染症、その治療と予防

【第13回】
心とからだの関係
内容：授業の振り返りとまとめ、「健康」とは何かを考察する
事前・事後学修に必要な時間
本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

各授業において、授業支援システム（manaba）より配付する授業資料を次回の授業までに読んでくること。
授業後は、課題に取り組むとともに、自身の日常生活を振り返りながら講義内容を整理すること。
得られた知識を生活習慣の改善に活かすために、シラバスに記載されているテーマに関する雑誌や書籍、テレビ番組、Webサイト、新聞記事など積極的に読み、情報の発信元および内容を精査・吟味しながら、日頃より健康に関心をもって授業に臨むこと。

事前・事後学修の内容
平常点、中間課題、期末課題を総合的に評価する。

- 平常点（50%）：授業中の問いやアンケートに対する取り組み、毎回のレポート課題、グループディスカッションへの参加度
- 中間課題（グループディスカッションのためのレポート）（20%）：レポート課題（毎回の課題とは別に、レポート課題を2種類出す。内容および詳細は授業中に説明する。）
- 期末課題（30%）：最終課題としてのレポート（内容および詳細は授業中に説明する。）

成績評価方法・基準
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法
本授業での課題やアンケート結果に対する講評・解説については、授業内（口頭）もしくはmanaba上で行う。

教科書・指定図書
指定の教科書はない。manabaを通じて資料を配付する。

履修上の留意点
受講希望者が定員以上になった場合は、機械抽選により受講者数の制限を行う。

更新日
2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZD107
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2HA000220
講義名	心とからだの健康学C組
担当者名	鹿内 菜穂
開講情報	秋期 火曜日 1時限 262教室
単位数	2
受講可能学部	B/H/D/E/L/I/C/U/S

科目の趣旨	<p>心身の状態が良好で充実した日常生活を送ることは、大学生活における勉学やクラブ活動などで各人の可能性を最大限に伸ばすための必須条件である。また、卒業後の社会生活でも、個人の能力や特性を最大限に発揮して活躍するための基盤となるものである。「心とからだの健康学」では食事と栄養、健康的な睡眠法、身体活動の重要性、肥満の予防法、生活習慣病の予防法、メンタルケアなど幅広い内容からいくつかを取り上げて、健康に暮らすために必要な知識を、実学として科学的・体系的に理解する。</p> <p>日本人の大きな関心事の一つが健康である。社会環境の変化に伴い、健康問題の様相は変化し、健康ブームまで叫ばれるようになった。何となく健康に対する不安を抱き、様々な健康情報に翻弄されるか、何となく健康が維持できていると考える人が大半ではないだろうか。しかし、私たちの日常生活における行動やライフスタイル、生活環境が、主要な健康問題とされる生活習慣病や心の病気に影響を及ぼしている。食事、運動、ストレス解消、休養、睡眠などの生活習慣を見直し、健康の維持・増進や疾病とその予防について考える。積極的に健康を獲得していきこうとする姿勢は、自己実現を果たすチャンスも高める。心とからだの基礎知識を身につけ、健康との関わり方と自己管理について学んでいく。</p>
授業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の維持・増進に必要な基礎知識と理論を幅広く身につけることができる。 2. 厚生労働省が発表している健康に関する日本の統計調査のデータを読み取り、社会における健康の問題点や課題を発見することができる。 3. 生活習慣病について詳しく説明することができる。 4. 受講者自身のこれまでの生活習慣を見直し、改善するための方法を説明することができる。 5. 心身の状態が良好で健やかであるために必要なことを、自分の言葉で説明することができる。
科目の到達目標 (理解のレベル)	
授業形態	講義
授業方法	<p>授業支援システム (manaba) より事前に配付した授業資料をもとに講義を行う。授業中は、各テーマに関する問いやアンケートを授業支援システム (respon) とGoogle Formsを用いて行っていく。なお、回によっては、事前学修および課題をもとにグループディスカッションを行う。質問やわからないことがある場合は授業中に問い合わせること。また、課題は、授業担当者より伝えられた期日 (授業時間中/指定日) までに提出すること。</p> <p>【第1回】 健康の概念 内容：ガイダンス、健康とは何か</p> <p>【第2回】 健康づくりの施策 内容：現代社会の特徴と健康の現状、健康施策の変遷、健康日本21</p> <p>【第3回】 (グループディスカッション) 生活習慣病 内容：生活習慣病および関連する病気の判断基準、その予防と改善策</p> <p>【第4回】 生活習慣に対する見直し 内容：第3回のグループディスカッションに対して補足説明</p> <p>【第5回】 食と健康① 内容：栄養・食事の基本とからだの関係、食事の取り方・選び方</p> <p>【第6回】 食と健康② 内容：肥満とやせ、メタボリックシンドローム</p> <p>【第7回】 運動とからだの健康 内容：運動不足による心身の影響、運動継続の効果、体力向上による効果</p> <p>【第8回】 睡眠と健康 内容：睡眠と生体リズム、睡眠の質、睡眠障害</p> <p>【第9回】 心の健康① 内容：ストレス (反応) とストレッサー、ストレスモデル、ストレスコーピング</p>

【第10回】
心の健康②
内容：精神障害と精神疾患の現状、うつ病の理解、薬物療法と心理療法

【第11回】
健康と加齢の関係
内容：加齢による心身の変化、サルコペニア、ロコモティブシンドローム、認知症

【第12回】（グループディスカッション）
ウイルス感染症
内容：主なウイルス感染症、その治療と予防

【第13回】
心とからだの関係
内容：授業の振り返りとまとめ、「健康」とは何かを考察する
事前・事後学習に必要な時間 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

各授業において、授業支援システム（manaba）より配付する授業資料を次回の授業までに読んでくること。
授業後は、課題に取り組むとともに、自身の日常生活を振り返りながら講義内容を整理すること。
得られた知識を生活習慣の改善に活かすために、シラバスに記載されているテーマに関する雑誌や書籍、テレビ番組、Webサイト、新聞記事など積極的に読み、情報の発信元および内容を精査・吟味しながら、日頃より健康に関心をもって授業に臨むこと。

事前・事後学習の内容 平常点、中間課題、期末課題を総合的に評価する。

- 平常点（50%）：授業中の問いやアンケートに対する取り組み、毎回のレポート課題、グループディスカッションへの参加度
- 中間課題（グループディスカッションのためのレポート）（20%）：レポート課題（毎回の課題とは別に、レポート課題を2種類出す。内容および詳細は授業中に説明する。）
- 期末課題（30%）：最終課題としてのレポート（内容および詳細は授業中に説明する。）

成績評価方法・基準 本授業での課題やアンケート結果に対する講評・解説については、授業内（口頭）もしくはmanaba上で行う。

課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法 指定の教科書はない。manabaを通じて資料を配付する。

教科書・指定図書 履修上の留意点 受講希望者が定員以上になった場合は、機械抽選により受講者数の制限を行う。

更新日 2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZB101 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2BA000110 西洋文学 I B組 小川 直之 春期 水曜日 1時限 225教室 2 B/H/D/E/L/I/C/U/S
科目の趣旨	西洋文学について歴史的背景を視野に入れて概観し、散文芸術の発生からその発展過程をたどり、20世紀につながる流れを代表的な作品を通して論述する。特にギリシア、イギリス、フランス、ドイツ等の代表的文学作品を通して、作品の鑑賞とその時代背景、作家の思想、及び人間洞察、神話・伝説との関連、作品の芸術性等を考察する。歴史的な経緯、例えばギリシア悲劇からシェイクスピア劇へと続く演劇の歴史や、地域的な特徴、例えばフランス文学に一貫している「モラリスト文学」と「心理小説」に着目しながら作家の感覚や心理、そして人間描写の巧みさ等の理解を図る。「西洋文学 I」では、上記の内容からいくつかを取り上げて講義する。
授業の内容	古代ローマ、中世フランスを経て、16世紀イタリア、17世紀フランス、19世紀フランス、さらに20世紀のドイツ・フランス・イギリス・アメリカ、さらに21世紀のイギリスの文学（小説・エッセイ）を紹介する。 とりあげる作品や作家について、ほとんどの受講者は事前に知識をもっていないと思われる。よって、作品を自分勝手に解釈しないためにも、作品成立の時代背景と作者について、説明を受ける。
科目の到達 目標 （理解のレ ベル）	講義で紹介された作品（翻訳）をじっさいに読んでみる。それにより、社会・世界について、そして人生について、あらたな視野で考えなおす。西洋文学の体験を契機とし、自分を見つめなおす。
授業形態	講義
授業方法	個々の作品について、内容・時代背景・テーマの描かれ方・文学史的な位置づけについて講義する。 responのアンケート機能を利用し、頻繁にリアクションペーパーを実施する。 ※ 注意 内容は年度ごとまったく異なる。また、受講者からの意見・質問を重視しているため、それによって講義の内容や順序を変更することがある。
	【第1回】 ガイダンスとオラフ・ステープルドン『シリウス』（20世紀イギリス）～哲学的SF：超知能をもった犬の悲しみ～ 【第2回】 “武器”としての西洋文学（18世紀と19世紀のフランス）～ヴォルテールの「カラス擁護」とゾラの「私は告発する」～ 【第3回】 ウェルギリウス『アエネーイス』（紀元前1世紀古代ローマ）～ヨーロッパ文学の源流～ 【第4回】 タツ『エルサレム解放』（16世紀イタリア）～イタリア文学きわめつけの古典なのに、日本で読まれないのはなぜ？～ 【第5回】 アイン・ランド『水源』（20世紀アメリカ小説）～長大で混沌たる、アメリカの超ロングセラー～ 【第6回】 ラ・フォンテーヌ『寓話集』（17世紀フランス）～ヴェルサイユ宮殿でバズった処世訓～ 【第7回】 作者不詳『カール大帝の東方旅行』（12世紀フランス）～古い物語に秘められたカペー朝フランス王国の政治的“戦略”とは？～ 【第8回】 カミュ『結婚』（20世紀フランス）～散文（エッセイ）が詩に昇華するとき～ 【第9回】 ツヴァイク『ジョゼフ・フーシェ』（20世紀ドイツ）～希代の陰謀家の魅力～ 【第10回】 ダニエル・キイス『アルジャーノンに花束を』（20世紀アメリカ）～知能とはなにか？ 【第11回】 カズオ・イシグロ『クララとお日さま』（21世紀イギリス）～人工知能の愛：あなたのチャッピーは？～ 【第12回】 アンディ・ウィアー『プロジェクト・ヘイル・メアリー』（21世紀アメリカ SF） 【第13回】 イーヴリン・ウォー『ブライズヘッド再訪（回想のブライズヘッド）』（20世紀イギリス）～なぜ“再訪”は甘美なのか？～
授業計画 事前・事後学 修に必要な時 間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。
事前・事後学 修の内容	パワポの資料と、講義の板書をノートしたことを整理する。 講義で紹介された作品から、1つでも2つでも、実際に自分で読んでみる。
成績評価方 法・基準	1. 平常点50%：「リアクションペーパー」をふくむ参加度合い。 2. 期末試験50%：講義内容についての設問で、形式は論述のみ（事前予告／参照不可）。
課題（試験 やレポート	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

等) についての
フィードバック
方法

* 教科書：なし

* 指定図書：

1. カズオ・イシグロ『クララとお日さま』ハヤカワepi文庫
2. バルザック『知られざる傑作 他 (バルザック芸術/狂気小説選集 1 絵画と狂気篇)』水声社
3. オラフ・ステープルドン『シリウス』ちくま文庫
4. ウェルギリウス『アエネーイス 上・下』岩波文庫
5. タツソ『エルサレム解放』岩波文庫
6. アイン・ランド『水源』ビジネス社
7. ツヴァイク『ジョゼフ・フーシェ』中公文庫
8. カミュ『結婚 四篇のエッセー』月曜社
9. ダニエル・キイス『アルジャーノンに花束を』ハヤカワ文庫
10. カズオ・イシグロ『クララとお日さま』集英社文庫

(参考文献)

- ・イーヴリン・ウォー『回想のブライズヘッド上・下』岩波文庫
- ・アンディ・ウィアー『プロジェクト・ヘイル・メアリー上・下』ハヤカワ文庫SF

教科書・指定
図書

パワーポイント (スライド) を利用し、PDFバージョンをmanabaにアップロードするが、本講義で重視することは、講義を聴いて「ノートテイク」をすることである。

履修上の留
意点

更新日 2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZB103
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2BA000300
講義名	中国文学 I
担当者名	大山 岩根
開講情報	春期 水曜日 2時限 512教室
単位数	2
受講可能学部	B/H/D/E/L/I/C/U/S

科目の趣旨 3000年近い歴史のある中国文学は、近代に至るまで外国からの影響をほとんど受けずに独自の発展を遂げてきた。まず文学の担い手が政治家（政治家志望者も含む）とその周縁に位置する人間にほぼ限定されており、また一言で「詩」や「小説」と言っても、そこには他国の文学には見られない特徴が存在する。「中国文学 I」ではそうした中国文学の特異性を踏まえつつその発展の歴史を概観し、著名な文学者とその代表作を鑑賞することで中国文学についての理解を深めるものとする。
※下にある「履修上の留意点」もよく読んで下さい。

授業の内容 悠久の歴史を持つ中国文学の中でも「詩」(我々が普段「漢詩」と呼んでいるものをイメージしてもらえれば、と思います)は、その作品数や作者数いずれにおいても他のジャンルを圧倒しています。紀元前から歌われてきた「詩」はやがて儒教の重要な経典である五経の一つ『詩経』という書物にまとめられます。これがその後の中国における「詩」の意義に大きな影響を与え、他の国の詩には見られない独自の発展を遂げていくこととなります。前期は詩の誕生から、詩が形式と内容においてピークに達した唐の時代に至るまでの詩の発展の歴史について、各時代の代表的な詩人の生涯と作品を通して学んでいきます。

まずは中国における詩の意義について、正確に把握して下さい。それは中国の詩を読む上での必須の前提となる知識だからです。無論すべての詩がそうした意義に沿った形でのみ作られているわけでもありません。民衆の素朴な感情を反映した歌謡から、詩人の個人的な思いを詠じた詩へと変化発展していく過程を、代表的な詩人たちの作品を精読することで理解して行って下さい。そうすれば最終的には中国の古典文学を鑑賞する「眼」を養うことができると思います。

科目の到達目標
(理解のレベル)

授業形態 講義
原則として、教室での対面方式による講義となります。教員が作成した資料(パワーポイント)を元に講義を進め、講義内容のアウトプットと学生の理解度を測るために毎回小テストを行います。また次週の講義内容をまとめた資料も用意しておくので、事前に読んでおいてください。なお、状況の変化により対面式の授業が困難となった場合には、オンラインもしくはハイブリッド形式での講義となることも考えられます。その際は教員の指示に従って準備をしておいて下さい。

授業方法 【第1回】イントロダクション
中国文学の特徴と、「詩」について学ぶことの意義について。

【第2回】『詩経』
『詩経』の成立過程とその影響について

【第3回】『楚辞』
代表的作者とされる屈原と、その作品について

【第4回】漢代の文学(1)
「賦」の誕生とその代表的作品について

【第5回】漢代の文学(2)
楽府、そして「古詩十九首」の誕生について

【第6回】建安の文学
曹操父子と、建安の七子の詩について

【第7回】正始の文学
竹林の七賢、特に阮籍の詠懐詩について

【第8回】太康の文学
左思・潘岳・陸機の詩について

【第9回】南朝の文学(1)
陶淵明の詩について

【第10回】南朝の文学(2)
謝靈運・謝朓の詩について

【第11回】南朝の文学(3)
『文選』、「四声八病」説、『詩品』について

【第12回】北朝の文学
民歌、庾信の詩について

【第13回】前期のまとめ
これまでの詩の発展の歴史についての概観

授業計画

事前・事後学修に必要な時間
本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

事前・事後学修の内容
manabaに次週の授業内容の事前学習の資料をアップします。講義では色々と耳慣れない、初めて聞くような内容も出てきます。いきなり講義を受けて戸惑うことが無いよう、事前に必ず読んで予習をして下さい。講義で使用した資料もmanabaにアップロードしますので、復習に活用して下さい。またシラバスに挙げた参考図書以外にも、日本には優れた概説書や訳注が沢山あります。手に取って読んでみれば授業の内容の理解もさらに深まると思います。

成績評価方法・基準
毎回授業後の小テスト(30%)、課題(10%)、期末のレポート(60%)。レポートについては期末試験と同等の扱いをするものとします。従って、教員の設問に対してきちんと正確に答えるレポートを作成することが求められます。「レポートを出す＝単位がもらえる」とはなりません。この点は十分に留意しておいて下さい。

課題(試験やレポート等)についてのフィードバック方法
本授業での課題(試験やレポート等)の講評・解説については授業内(口頭)もしくはmanaba上でおこなう。
(指定図書)

教科書・指定図書
前野直彬(編)『中国文学史』東京大学出版会
興膳宏(編)『六朝詩人群像』大修館書店
植木久行『唐詩物語 名詩誕生の虚と実と』大修館書店
川合康三(編訳)『新編 中国名詩選(上)(中)(下)』岩波書店

履修上の留意点
上に書いた通りレポートは成績評価において定期試験と同等の扱いを受けるものです。要求を満たさないレポートは大幅に減点もしくは零点となり、単位を落とすこととなります。「毎回授業に出てレポートを出せば単位をもらえる」という考えは捨てて下さい。

更新日
2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZB104
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2BA000400
講義名	中国文学Ⅱ
担当者名	大山 岩根
開講情報	秋期 水曜日 2時限 512教室
単位数	2
受講可能学部	B/H/D/E/L/I/C/U/S

科目の趣旨 3000年近い歴史のある中国文学は、近代に至るまで外国からの影響をほとんど受けずに独自の発展を遂げてきた。まず文学の担い手が政治家(政治家志望者も含む)とその周縁に位置する人間にほぼ限定されており、また一言で「詩」や「小説」と言っても、そこには他国の文学には見られない特徴が存在する。「中国文学Ⅱ」では「中国文学Ⅰ」から対象を変えて、中国文学の特異性を踏まえつつその発展の歴史を概観し、著名な文学者とその代表作を鑑賞することで中国文学についての理解を深めるものとする。
※下にある「履修上の留意点」も必ず読んでください。

授業の内容 「唐詩」という言葉が存在することからも分かるように、詩は偉大なる唐代文明を代表するものの一つにまで発展を遂げ、周辺国の文学にも大きな影響を及ぼすこととなりました。詩がなぜ唐代になってそのピークを迎えたのか、それを知るためには中国における詩の意義と、当時の時代状況への理解が不可欠です。そのためにもまずは画期的な出来事である「科挙」と詩の関係から唐詩の歴史をひもときます。その上で、李白や杜甫、白居易といった日本でも馴染みの詩人から、初めて耳にするような詩人まで、唐代を代表する詩人たちの作品を読解しつつ、唐代300年の詩の変化と発展の歴史を概観していきます。個々の詩人たちの作品を読解鑑賞することを通して、中国の古典を読む「眼」を養って下さい。しかしそれだけではまだ「唐詩」を十分に理解したとは言えません。唐詩は300年間ずっと均一な状態を保っていたわけではなく、社会の変動や歴史的な事件などのインパクトの影響により変化を繰り返してきました。唐詩の世界がよりバラエティーに富んだ豊かなものへと変貌していくその歴史的な過程についても把握し理解できるようになって下さい。

科目の到達目標
(理解のレベル)

授業形態 講義
原則として、教室での対面方式による講義となります。教員が作成した資料(パワーポイント)を元に講義を進め、講義内容のアウトプットと学生の理解度を測るために毎回小テストを行います。また次週の講義内容をまとめた資料も用意しておくので、事前に読んでおいてください。なお、状況の変化により対面式の授業が困難となった場合には、オンラインもしくはハイブリッド形式での講義となることも考えられます。その際は教員の指示に従って準備をしておいて下さい。

授業方法 【第1回】 イントロダクション
唐詩概説、4つの時期区分について

【第2回】科挙と詩
科挙制度と、それが詩とどのような関連があるのかについて

【第3回】初唐の詩
初唐の四傑・陳子昂・宋子問・杜審言などの詩について

【第4回】盛唐の詩(1)
李白の詩について

【第5回】盛唐の詩(2)
杜甫の詩について

【第6回】盛唐の詩(3)
王維の詩について

【第7回】中唐の詩(1)
韓愈の詩について

【第8回】中唐の詩(2)
白居易の詩について

【第9回】中唐の詩(3)
李賀の詩について

【第10回】晩唐の詩(1)
杜牧の詩について

【第11回】晩唐の詩(2)
李商隱の詩について

【第12回】唐代の女性詩人
上官婉兒・薛濤・魚玄機などの詩について

【第13回】学期のまとめ

授業計画	唐詩の歴史の振り返りと、後世への影響について
事前・事後学修に必要な時間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。
事前・事後学修の内容	manabaに次週の授業内容の事前学習の資料をアップします。講義では色々と耳慣れない、初めて聞くような内容も出てきます。いきなり講義を受けて戸惑うことが無いよう、事前に必ず読んで予習をして下さい。講義で使用した資料もmanabaにアップロードしますので、復習に活用して下さい。またシラバスに挙げた参考図書以外にも、日本には優れた概説書や訳注が沢山あります。手に取って読んでみれば授業の内容の理解もさらに深まると思います。。
成績評価方法・基準	毎回授業後の小テスト(30%)、課題(10%)、期末のレポート(60%)。レポートについては期末試験と同等の扱いをするものとします。従って、教員の設問に対してきちんと正確に答えるレポートを作成することが求められます。「レポートを出す＝単位がもらえる」とはなりません。この点は十分に留意しておいて下さい。
課題(試験やレポート等)についてのフィードバック方法	本授業での課題(試験やレポート等)の講評・解説については授業内(口頭)もしくはmanaba上でおこなう。 (指定図書)
教科書・指定図書	前野直彬(編)『中国文学史』東京大学出版会 興膳宏(編)『六朝詩人群像』大修館書店 植木久行『唐詩物語 名詩誕生の虚と実と』大修館書店 川合康三(編訳)『新編 中国名詩選(上)(中)(下)』岩波書店
履修上の留意点	レポートは成績評価において定期試験と同等の扱いを受けるものです。要求を満たさないレポートは大幅に減点もしくは零点となり、単位を落とすこととなります。「毎回授業に出てレポートを出せば単位をもらえる」という考えは捨てて下さい。
更新日	2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZA115 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2BB000500 日本史 I A組 今津 敏晃 春期 火曜日 3時限 512教室 2 B/H/D/E/L/I/C/U/S
科目の趣旨	戦争体験者が希少となり、平和が自明のことと思われがちな今日、戦争について語り、研究することも、とかく忌避されがちである。しかし、わが国の過去の行為をどう評価するにせよ、戦争の原因とその経過、更には当時の社会情勢を知らずしては何も語ることができないはずである。日本史 I では、帝国主義時代と日本の開国、日清・日露戦争を振り返り、今日の日本を知るための手がかりとする。「すべての歴史は現代史である」（B.クローチエ）ことを踏まえて近・現代史を考察する。 学修内容の観点からは、高校までの学修内容をふまえつつ、日本近代史について次のような観点からの学修を行う。 日本は開国により、西洋列強を中心とするパワーポリティクスの中に身をおくことになった。そして、西洋列強に肩を並べる「一等国」となることを目標とし、近代化に取り組んだ。その過程では国際関係のみならず、国家や社会のあり方もそれ以前とは変容を迫られることとなった。日本史 I では開国から日露戦争までのそうした変化について戦争を軸として理解することを目標とする。
授業の内容	学修方法の観点からは講義内容を踏まえつつ、それを捉えなおし、考察、検証する方法についても体験してもらう。その際、課題提出を通して、適切な情報源や文献にあたり、適切な方法でそれらを活用する方法を身につけることを学ぶ。 ①日本の軍事的近代化と国際関係の近代化の過程およびその変化の特徴を理解できる。 ②日清戦争、日露戦争の両戦争の背景とその歴史的影響について、国内的文脈、国際的文脈を踏まえて理解できる。 ③当該範囲の歴史を調査、理解するため基本的なツールや文献についての知識を身につけることができる。 ④調査した際の文献や情報源について適切な表記の仕方をできるようになる。 ⑤課題設定に基づいて歴史の事象について捉えなおし、検証を加えることができる。
科目の到達 目標 （理解のレ ベル）	
授業形態	講義
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に提示された予習課題について事項の調査を行うとともに、講義範囲の内容についての教科書類を用いて事前事後学習をする。その際には日本史（歴史）事典を積極的に用いての学修を求める。 ・授業支援システム（manaba）で配布した授業資料に基づいて講義を行う。 ・講義後に講義内容を踏まえた考察レポートや課題レポートを提出してもらう。 ・質問などは授業時間内の質問用時間のほかmanabaの掲示板システムを使用して対応する。 ・課題については、決められた期限までに授業支援システムを使用して提出する。 <p>●第01回 ガイダンス：戦争を通して日本の近代史を考える</p> <p>内容：この講義で扱う内容、講義の視点（戦争を通して日本の近代史を考える）、講義計画、講義の進め方、成績の決め方、歴史を学ぶ意義、歴史を学ぶ視角、教科書、学習のためのツール、履修上の注意点、事前学習課題、成績評価の方法と成績評価の基準の説明</p> <p>教科書・指定図書： ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：該当なし ・北岡伸一『日本政治史』増補版：該当なし</p> <p>●第02回 テーマ①：近世の軍事組織</p> <p>内容：近世社会の構成、役の体系、近世の軍事組織の構成</p> <p>教科書・指定図書： ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：該当なし ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.2～14</p> <p>課題 1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。 ①土農工商（しのうこうしょう） ②兵農分離（へいのうぶんり） ③役または役の体系（やく、やくのたいけい） ④御恩（ごおん） ⑤奉公（ほうこう） ⑥軍役（ぐんやく） ⑦参勤交代（さんきんこうたい） ⑧軍団（ぐんだん）</p> <p>* ③「役」は『国史大辞典』を引いてください。「役の体系」はおそらく辞書には載っていないので、尾藤正英『江戸時代とは何か』（岩波書店、1992年、のち、岩波現代文庫、2006年）を参考にしてください。</p> <p>●第03回 テーマ②：軍事の中央集権化</p> <p>内容：中央集権化、幕末の兵制改革、戊辰戦争、軍事管理部門の設置、直轄軍の獲得</p>

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第1章、第2章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.36～41

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ① 版籍奉還（はんせきほうかん）
- ② 廃藩置県（はいはんちけん）
- ③ 御親兵（ごしんべい）
- ④ 兵部省（ひょうぶしょう）
- ⑤ 陸軍省（りくぐんしょう）
- ⑥ 海軍省（かいぐんしょう）
- ⑦ 鎮台（ちんたい）
- ⑧ 大村益次郎（おおむらますじろう）

● 第04回 テーマ③：徴兵制の導入

内容：徴兵制とは、徴兵令、徴兵制度への反応

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第2章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.38～40、46、58～60

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）

- ① 徴兵制度・徴兵制（ちょうへいせいど・ちょうへいせい）
- ② 国民国家（こくみんこっか）
- ③ 山県有朋（やまがたありとも）
- ④ 徴兵令（ちょうへいれい）
- ⑤ 徴兵忌避（ちょうへいきひ）
- ⑥ 血税一揆（けつぜいいつき）
- ⑦ 士族反乱（しぞくはんらん）
- ⑧ 西南戦争（せいなんせんそう）

● 第05回 テーマ④：師団制の導入と諸機関の整備・拡充

内容：師団制とは、師団制の導入過程、統帥機関・諸機関の整備・拡充

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：該当なし
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.38～39、104

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ① 師団制または師団（しだんせい、しだん）
- ② 連隊（れんたい）
- ③ 外征型軍隊（がいせいがたぐんたい）
- ④ 軍政（ぐんせい）
- ⑤ 軍令（ぐんれい）
- ⑥ 統帥（とうすい）
- ⑦ 参謀本部（さんぼうほんぶ）
- ⑧ 教育総監部（きょういくそうかんぶ）
- ⑨（海軍）軍令部（（かいぐん）ぐんれいぶ）

● 第6回 テーマ⑤：大日本帝国憲法と軍

内容：画期としての大日本帝国憲法の発布、大日本帝国憲法と「軍」、議会開設と「軍」

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第3章、第4章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.68～77、84～100

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ① 大日本帝国憲法または明治憲法（だいにほんていこくけんぽう、めいしけんぽう）
- ② 天皇大権（てんのうたいけん）
- ③ 編制大権・編制権（へんせいたいけん・へんせいけん）
- ④ 統帥大権・統帥権（とうすいたいけん・とうすいけん）
- ⑤ 輔弼（ほひつ）
- ⑥ 内閣制度（ないかくせいど）
- ⑦ 帝国議会（ていこくぎかい）
- ⑧ 協賛（きょうさん）
- ⑨ 貴族院（きぞくいん）
- ⑩ 初期議会（しよきぎかい）

●第07回 テーマ⑥：国境画定

内容：「日本の版図」の図の奇妙さ、ペリーの航路、「万国公法」（国際法）の世界、小笠原諸島帰属問題

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：該当なし
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.50～51、57～58

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ①国境（こっきょう）
- ②主権（しゅけん）
- ③主権国家・国家主権（しゅけんこっか・こっかしゅけん）
- ④国際法・万国公法（こくさいほう・ばんこくこうほう）
- ⑤日露和親条約（にちろわしんじょうやく）
- ⑥千島・樺太交換条約（ちしまからふとこうかんじょうやく）
- ⑦小笠原諸島（おがさわらしょとう）

●第08回 テーマ⑦：琉球処分

内容：近世期の東アジア国際秩序、東アジア国際秩序の「開国」、琉球帰属問題とその影響～東アジア国際秩序の再編～

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：該当なし
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.50～53、56～58

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ①アヘン戦争（あへんせんそう）
- ②華夷秩序もしくは中華思想（かいちつじょ、ちゅうかしそう）
- ③朝貢・冊（冊）封体制（ちようこう・さくふうたいせい・さくほうたいせい）
- ④李鴻章（りこうしょう）
- ⑤日清修好条規（にっしんしゅうこうじょうき）
- ⑥征韓論（せいかんろん）
- ⑦江華島事件（こうかとうじけん）
- ⑧日朝修好条規（にっちようしゅうこうじょうき）
- ⑨琉球（りゅうきゅう）
- ⑩琉球処分（りゅうきゅうしよぶん）

●第09回 テーマ⑧：朝鮮半島をめぐる日清対立

内容：朝鮮開国後の日清朝鮮関係、壬午事変、甲申事変、天津条約

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第3章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.102～105

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ①高宗（こうそう）
- ②明成皇后もしくは閔妃（めいせいこうごう、びんひ、みんぴ）
- ③大院君（たいいんくん）
- ④壬午事変もしくは壬午軍乱（じんごじへん、じんごぐらん）
- ⑤濟物浦条約（さいもつぽじょうやく）
- ⑥甲申事変（こうしんじへん）
- ⑦金玉均（きんぎょくきん）
- ⑧天津条約（てんしんじょうやく）

●第10回 テーマ⑨：日清戦争と日清戦争後の日本社会

内容：日清戦争前の日清朝鮮関係（海軍軍拡の観点から）、日清戦争、戦後経営、国民統合

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第4章、第5章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.91～98、107～109、253～256

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ①防穀令事件もしくは防穀令（ぼうこくれいじけん、ぼうこくれい）
- ②東学（とうがく）
- ③甲午農民戦争もしくは東学党の乱（こうごのうみんせんそう、とうがくとうのらん）
- ④陸奥宗光（むつむねみつ）
- ⑤日英通商航海条約（にちえいつうしやうこうかいじょうやく）
- ⑥日清戦争（にっしんせんそう）
- ⑦下関条約（しものせきじょうやく）
- ⑧台湾（たいわん）
- ⑨日清戦後経営もしくは戦後経営（にっしんせんごけいはい、せんごけいはい）

●第11回 テーマ⑩：日清戦争後の東アジア情勢

内容：帝国主義の時代、日清戦争後の東アジア情勢の構造、義和団事件（北清事変）

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第5章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.109～112、256

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ① 帝国主義（ていこくしゆぎ）
- ② 租借（そしやく）
- ③ 南下政策（ロシヤ）（なんかせいさく）
- ④ 義和団（ぎわだん）
- ⑤ 義和団事件（ぎわだんじけん）
- ⑥ 北京議定書（ぺきんぎていしよ）

●第12回 テーマ⑪：日露戦争

内容：義和団事件後の朝鮮半島をめぐる国際政治、日露戦争

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第5章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.109～117、255～256

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ① 日英同盟（にちえいどうめい）
- ② 日露戦争（にちろせんそう）
- ③ 奉天会戦（ほうてんかいせん）
- ④ 日本海海戦（にほんかいかいせん）
- ⑤ ポーツマス条約（ぽーつますじょうやく）

●第13回 テーマ⑫：日露戦争後の国際関係と日本社会

内容：国際関係の変化、植民地関係、軍事的教訓、日本社会への戦争の影響

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第5章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.120～128、138～146、256～257、260

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ① 地方改良運動（ちほうかいりょううんどう）
- ② 桂園時代（けいえんじだい）
- ③ 南満州鉄道株式会社もしくは満鉄
（みなみまんしゅうてつどうかぶしきがいしや、まんてつ）
- ④ 日露協約（にちろきょうやく）
- ⑤ 韓国併合（かんこくへいごう）

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

【事前学修】

- ・「授業計画」の項目に書かれた課題1および講義範囲について、日本史（歴史系）事典や概説書なども活用して調査し、記録しておきましょう。
- ・事前学修の時点での疑問点、考察した内容についても予め記録しておきましょう。

【事後学修】

- ・講義内容について理解を深めるとともに、前後の回の学修内容や自身の調査、考察（課題設定）と関連付けましょう。
- ・自身の疑問点、考察した内容について講義内容を踏まえて改めて検証しましょう。
- ・自身の課題設定をもとに調査、考察した内容を適切に扱いながら、アウトプットしましょう。

事前・事後学
修の内容

合計2回のレポート

第1回 40% 第2回 60% [課題内容]

授業内で発表後、manabaで公開。

[提出方法]

manabaのレポート機能を使って提出。

[評価のポイント]

- ・講義内容を踏まえて適切に課題設定ができているか。
- ・自身でおこなった調査や考察を加えて論証できているか。
- ・調査内容の提示方法や、情報源の出典情報を適切に行えているか。

成績評価方
法・基準

課題（試験
やレポート
等）について

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

のフィードバック
方法

(教科書)

・小川原正道編著『日本近現代政治史—幕末から占領期まで』（ミネルヴァ書房、2023年）ISBN：9784623094851

(指定図書)

・加藤陽子『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』（新潮社（新潮文庫）2016年）ISBN：9784101204963
・北岡伸一『日本政治史』増補版（有斐閣、2017年）ISBN：9784641149199
・山口裕之『コピペと言われないレポートの書き方教室』（新曜社、2013年）

教科書・指定
図書

ISBN：9784788513457

- ・自身から積極的に調査、考察することが求められます。
- ・受講態度の良い学生には退席を求めることがあります。
- ・研究不正（捏造、盗用、改ざん）や出典情報の提示などについてのルール違反には厳しく対処します。

履修上の留
意点

更新日 2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZA116 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2BB000600 日本史Ⅱ A組 今津 敏晃 秋期 火曜日 3時限 512教室 2 B/H/D/E/L/I/C/U/S
科目の趣旨	戦争体験者が希少となり、平和が自明のことと思われがちな今日、戦争について語り、研究することも、とかく忌避されがちである。しかし、わが国の過去の行為をどう評価するにせよ、戦争の原因とその経過、更には当時の社会情勢を知らずしては何も語ることができないはずである。日本史Ⅱでは、改めて昭和の戦争を考え、現代日本を理解する手がかりとしたい。「すべての歴史は現代史である」（B.クローチエ）ことを踏まえて近・現代史を考察する。 学修内容の観点からは、高校までの学修内容をふまえて、日本近代史について次のような観点からの学修を行う。総力戦となった第一次世界大戦は戦争に対する人々の考え方に大きな影響を及ぼした。その結果、国家や社会のあり方、そして国家間の関係はそれ以前とは変容を迫られた。また、アジア・太平洋戦争まで続いた一連の戦争はそうした第一次世界大戦の変化を前提にしつつ、第二次世界大戦後の日本の前提を作り出した。日本史Ⅱでは昭和期の日本を対象に、そうした変化について戦争を軸に理解することを目標とする。 学修方法の観点からは講義内容を踏まえて、それを捉えなおし、考察、検証する方法についても体験してもらう。その際、課題提出を通して、適切な情報源や文献に当たり、適切な方法でそれらを活用する方法を身につけることを学ぶ。
授業の内容	①総力戦が日本に与えた影響について理解する。 ②第一次世界大戦後の国際環境の変化と日本との関係を理解する。 ③満州事変・日中戦争・アジア・太平洋戦争の背景と歴史的影響について理解する。 ④当該範囲の歴史を調査、理解するため基本的なツールや文献についての知識を身につけることができる。 ⑤調査した際の文献や情報源について適切な表記の仕方をできるようになる。 ⑥課題設定に基づいて歴史の事象について捉えなおし、検証を加えることができる。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	講義
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に提示された予習課題について事項の調査を行うとともに、講義範囲の内容についての教科書類を用いて事前事後学習をする。その際には日本史（歴史）事典を積極的に用いての学修を求める。 ・授業支援システム（manaba）で配布した授業資料に基づいて講義を行う。 ・講義後に講義内容を踏まえた考察レポートや課題レポートを提出してもらう。 ・質問などは授業時間内の質問用時間のほかmanabaの掲示板システムを使用して対応する。 ・課題については、決められた期限までに授業支援システムを使用して提出する。 <p>●第01回 ガイダンス 内容： この講義で扱う内容、講義の視点（戦争を通して日本の近代史を考える）、講義計画、講義の進め方、成績の決め方、歴史を学ぶ意義、歴史を学ぶ視角、教科書、学習のためのツール、履修上の注意点、事前学習課題、成績評価の方法と成績評価の基準の説明</p> <p>教科書・指定図書： ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：該当なし ・テキスト：北岡伸一『日本政治史』増補版：該当なし</p> <p>●第02回 テーマ①：第一次大戦期の日本 内容：背景としての日英同盟・日露協約、ドイツ権益をめぐる問題、二十一条要求、対列強交渉、シベリア出兵</p> <p>教科書・指定図書： ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第5章 ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.128～135</p> <p>課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。 ①第一次世界大戦（だいいちじせきたいせん） ②三国協商（さんごくきょうしょう） ③ソビエト連邦（そびえとれんぽう） ④日英同盟（にちえいどうめい） ⑤南洋諸島（なんようしよとう） ⑥山東半島（さんとうはんとう） ⑦加藤高明（かとうたかあき） ⑧（対華）二十一条要求（たいか にじゅういっかじょうようきゅう） ⑨石井・ランシング協定（いしい・ランシングきょうてい） ⑩シベリア出兵（しべりあしゅつぺい）</p> <p>●第03回 テーマ②：ヴェルサイユ・ワシントン体制と日本 内容：パリ講和会議、ワシントン会議、ヴェルサイユ・ワシントン体制と日本</p>

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第6章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.144～145、153～164

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ①パリ講和会議（ぱりこうわかいぎ）
もしくはベルサイユ講和会議（べるさいゆこうわかいぎ）
もしくはヴェルサイユ講和会議（うゑるさいゆこうわかいぎ）
- ②国際連盟（こくさいれんめい）
- ③ワシントン会議（わしんとんかいぎ）
- ④ワシントン海軍軍縮条約（わしんとんかいぐんぐんしゅくじょうやく）
- ⑤九カ国条約（きゅうかこくじょうやく）
- ⑥ベルサイユ・ワシントン体制（べるさいゆ・わしんとんたいせい）
もしくはベルサイユ体制・ワシントン体制

●第04回 テーマ③：総力戦体制の構築

内容：第一次世界大戦の衝撃、日本軍の総力戦への対応、軍縮の中の軍拡

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第6章
- ・テキスト：北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.169～175

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ①総力戦（そうりょくせん）
- ②八八艦隊（はちはちかんたい）
- ③帝国国防方針（ていこくこくぼうほうしん）
- ④オレンジプラン
- ⑤軍需工業動員法（ぐんじゅこうぎようどういんほう）
- ⑥主力艦（しゅりょくかん）
- ⑦山梨軍縮（やまなしぐんしゅく）
- ⑧宇垣軍縮（うがきぐんしゅく）
- ⑨ロンドン海軍軍縮条約（ろんどんかいぐんぐんしゅくじょうやく）

●第05回 テーマ④：軍隊と社会の関わり

内容：徴兵制下の軍隊と社会、兵士の母体の動揺、兵士の安定供給のために

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第3章、第6章
- ・テキスト：北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.160～161

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ①明治地方自治制（めいじちほうじちせい）
- ②地方名望家（ちほうめいぼうか）
- ③地方改良運動（ちほうかいりようどう）
- ④労働争議（ろうどうそうぎ）
- ⑤小作争議（こさくそうぎ）
- ⑥田中義一（たなかぎいち）
- ⑦在郷軍人会（ざいこうぐんじんかい）
- ⑧青年会・青年団（せいねんかい・せいねんだん）

●第06回 テーマ⑤：明治憲法下の権力分立と統帥権

内容：昭和期軍部の通説的評価、権力分立、明治憲法上の権力分立

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第3章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.67～77

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ①三権（さんけん）もしくは行政権（ぎょうせいけん）・立法権（りつぽうけん）・司法権（しほうけん）
- ②権力分立もしくは三権分立（けんりょくぶんりつ、さんけんぶんりつ）
- ②天皇大権（てんのうたいけん）
- ③帝国議会（ていこくぎかい）
- ④国务大臣（こくむだいいん）
- ⑤大審院（だいしんいん）
- ⑥統帥権（とうすいけん）
- ⑦輔弼（ほひつ）
- ⑧協賛（きょうさん）
- ⑨統帥権もしくは統帥権の独立（とうすいけん、とうすいけんのどくりつ）

●第07回 テーマ⑥：内閣と元老

内容：憲法の条文だけでは不十分、大日本帝国憲法の運用の実態、憲法解釈上の可能性

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第3章～第5章、第8章
- ・テキスト：北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.67～77、138～157、165～168

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ①最高法規（さいこうほうき）
- ②慣習法（かんしゅうほう）
- ③美濃部達吉（みのべたつきち）
- ④天皇機関説（てんのうきかんせつ）
- ⑤内閣（ないかく）
- ⑥元老（げんろう）
- ⑦山県有朋（やまがたありとも）
- ⑧山県閥（やまがたばつ）
- ⑨桂園時代（けいえんじだい）
- ⑩政党（せいとう）

●第08回 テーマ⑦：「満蒙問題」

内容：「満蒙の危機」、「大陸政策」（大陸経営）、「満蒙問題」の誕生

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第5章、第7章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.119～135、255～261

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ①権益（けんえき）および特殊権益（とくしゆけんえき）
- ②大陸政策（たいりくせいさく）
- ③南満州鉄道株式会社（みなまましゅうてつどうかぶしがいいしや）もしくは満鉄（まんてつ）
- ④関東都督府（かんとくとくふ）
- ⑤関東庁（かんとうちょう）
- ⑥関東軍（かんとוגん）
- ⑦奉天総領事（ほうてんそうりょうじ）
- ⑧満蒙問題（まんもうもんだい）
- ⑨日露協約（にちろきょうやく）

●第09回 テーマ⑧：中国・ソ連・幣原外交

内容：中国状況の変化、幣原外交と田中外交

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第5章～第7章
- ・テキスト：北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.158～168

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ①幣原喜重郎（しではらきじゅうろう）
- ②幣原外交（しではらがいこう）
- ③田中外交（たなかがいこう）
- ④軍閥（中国）（ぐんばつ）
- ⑤段祺瑞（だんきずい）
- ⑥張作霖（ちようさくりん）
- ⑦張学良（ちようがくりょう）
- ⑧蒋介石（しようかいせき）
- ⑨国民党（こくみんとう）
- ⑩北伐（1920年代）（ほくばつ）

●第10回 テーマ⑧：満州事変

内容：石原莞爾、満州事変

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第7章
- ・テキスト：北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.170～178

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ①石原莞爾（いしはらかんじ）
- ②最終戦争論もしくは世界最終戦論（さいしゅうせんそうろん、せかいさいしゅうせんろん）
- ③満州事変（まんしゅうじへん）
- ④柳条湖事件（りゅうじょうこじけん）
- ⑤満州国（まんしゅうこく）
- ⑥溥儀（ふぎ）
- ⑦リットン調査団（りつとんちようさだん）
- ⑧犬養毅（いぬかいつよし、いぬかいつよき）
- ⑨五・一五事件（ごいちごじけん）

⑩ 斎藤実 (さいとうまこと)

● 第11回 テーマ⑩：日中戦争

内容：満州事変後の状況、日中戦争（日華事変）

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第8章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.178～196

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ① 統制派（とうせいはい）
- ② 皇道派（こうどうはい）
- ③ 二・二六事件（に・にろくじけん）
- ④ 高度国防国家（こうどこくぼうこっか）
- ⑤ 華北分離工作（かほくぶんりこうさく）
- ⑥ 盧溝橋事件（ろこうきょうじけん）
- ⑦ トラウトマン工作（とらうとまんこうさく）
- ⑧ 近衛声明（このえせいめい） 第一次～第三次
- ⑨ 汪兆銘もしくは王精衛（おうちようめい、おうせいえい）

● 第12回 テーマ⑪：太平洋戦争

内容：日米関係の悪化、日米交渉、太平洋戦争

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第8章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：pp.187～203

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ① 三国同盟もしくは日独伊三国軍事同盟（さんごくどうめい、にちどくいさんごくぐんじどうめい）
- ② 仏印進駐もしくは北部仏印進駐・南部仏印進駐（ふついいんしんちゅう、ほくぶふついいんしんちゅう・なんぶふついいんしんちゅう）
- ③ 日米交渉（にちべいこうしょう）
- ④ 帝国国策遂行要領
- ⑤ ハル・ノート（はるのーと）
- ⑥ 真珠湾攻撃（しんじゆわんこうげき）
- ⑦ ミッドウェー海戦（みッドウェーかいせん）
- ⑧ 東京大空襲（とうきょうだいくうしゅう）
- ⑨ 原子力爆弾もしくは原爆（げんしりよくばくだん、げんぱく）

● 第13回 テーマ⑫：銃後の諸相

内容：戦時体制の準備と展開、国民動員の動き

教科書・指定図書：

- ・小川原正道編著『日本近現代政治史』：第8章
- ・北岡伸一『日本政治史』増補版：該当なし

課題1：次のキーワードについて教科書や歴史系の辞典などで調べ、書き写し、まとめなさい（提出不要）。

- ① 大政翼賛会（たいせいよくさんかい）
- ② 国家総動員法（こっかそうどういんぽう）
- ③ 国民精神総動員運動（こくみんせいしんそうどういんうんどう）
- ④ 翼賛選挙（よくさんせんきょ）
- ⑤ 物資動員計画もしくは物動計画（ぶつしどういんけいかく、ぶつどうけいかく）
- ⑥ 配給（はいきゅう）
- ⑦ 国民徴用令（こくみんちようようれい）
- ⑧ 疎開（そかい）
- ⑨ 国防婦人会（こくぼうふじんかい）
- ⑩ 隣組（となりぐみ）

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

【事前学修】

- ・「授業計画」の項目に書かれた課題1および講義範囲について、日本史（歴史系）事典や概説書なども活用して調査し、記録しておきましょう。
- ・事前学修の時点での疑問点、考察した内容についても予め記録しておきましょう。

【事後学修】

- ・講義内容について理解を深めるとともに、前後の回の学修内容や自身の調査、考察（課題設定）と関連付けましょう。
- ・自身の疑問点、考察した内容について講義内容を踏まえて改めて検証しましょう。
- ・自身の課題設定をもとに調査、考察した内容を適切に扱いながら、アウトプットしましょう。

事前・事後学
修の内容

合計2回のレポート課題
第1回 40% 第2回 60%

[課題内容]
授業内で発表後、manabaで公開。

[提出方法]
manabaのレポート機能を使って提出。

[評価のポイント]
・講義内容を踏まえて適切に課題設定ができているか。
・自身でおこなった調査や考察を加えてコメントできているか。
・調査内容の提示方法や、情報源の出典情報を適切に行えているか。

成績評価方法・基準

課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

（教科書）

・小川原正道編著『日本近現代政治史—幕末から占領期まで』（ミネルヴァ書房、2023年）ISBN：9784623094851

（指定図書）

・加藤陽子『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』（新潮社（新潮文庫）2016年）ISBN：9784101204963
・加藤陽子『戦争まで』（朝日出版社、2016年）ISBN：9784255009407
・北岡伸一『日本政治史』増補版（有斐閣、2017年）ISBN：9784641149199
・山口裕之『コピペと言われないレポートの書き方教室』（新曜社、2013年）ISBN：9784788513457

教科書・指定図書

・自身から積極的に調査、考察することが求められます。
・受講態度の良くない学生には退席を求めることがあります。
・研究不正（捏造、盗用、改ざん）や出典情報の提示などについてのルール違反には厳しく対処します。

履修上の留意点

更新日 2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZB106
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2BC000210
講義名	ヨーロッパの芸術と文化Ⅱ B組
担当者名	小川 直之
開講情報	秋期 水曜日 1時限 225教室
単位数	2
受講可能学部	B/H/D/E/L/I/C/U/S

科目の趣旨 「ヨーロッパの芸術と文化Ⅰ」を発展させ、受講者がヨーロッパの芸術を自発的に享受することができるようにする。「ヨーロッパの芸術と文化Ⅰ」で学んだ、ヨーロッパの文化的背景の理解をもとに、受講者自身が芸術作品を（自己流にではなく）的確に味わい、芸術を通じた美的体験・思想的体験を深化させる。この科目を通じ、芸術鑑賞が本来の意味での生涯学習であり、芸術との関わりを持つことは人生をより愉しく、そして豊かにしてくれることを実感できるようにする。

* 絵画：絵＝「色」＋「形」。
 そこで、「配色（色）」と「構図（形・形の配置）」の基本について学ぶ。
 * 映画：映画＝「絵（＝カメラ）」＋「絵のつながり」。
 そこで、「カメラによる撮影のしかた（絵の映しかた）」と「カメラワーク（絵の動かししかた）」と「編集（絵のつながりかた）」の基礎について学ぶ。映画を1本まるまる観るということはない。あくまでもサンプルとして、1ショットあるいは1シーン（あるいは1シーケンス）を観るだけ。

授業の内容 * 絵画と映画は、静止画と動画という区別はあるが、視覚芸術として共通点が多いので、できるだけ両者を関連づけながら講義する（学期前半ずっと絵画、後半は映画だけという計画は立てない）。

無知には、芸術的感動の資格も可能性もない。勉強しないと、芸術に感動はできない。
 本講義をきっかけとして、自分からヨーロッパの芸術や文化に接してみようという意欲を持つようになるのが第1の目標。
 芸術鑑賞の基礎となる文化的・歴史的背景ならびに神話・聖書について、常識を身につけるのが第2の目標。
 映画と絵画について、画面にこめられたメッセージを「いかに読み解くか」を意識しながら作品を見る習慣をつけるのが第3の目標。

以上を総合して、自分の美意識を高め、感性と知性を磨くのが最終目標。
 偉大な絵画・映画は、あなたやあなたの人生を変えます。この講義はそのような作品への窓口になりたいと思っています！

科目の到達目標 (理解のレベル)

授業形態 講義
 絵画については用意したスライド、映画についてはDVDやネット配信動画の一部を利用する。
 「授業の内容」に書いたように、映画をまるまる1本見るようなことはしないので、そのような映画鑑賞を希望する人には不向きである。

授業方法 絵画についても映画についても「観かた」を学ぶ。絵画における色・形・構図、そして絵画の発展の歴史、映画については、撮影の仕方・画面構成・編集について、作品を例にして学びながら、その知識や観かたを他の作品に応用してみる。
 リアクションペーパーなどを利用し、個々に考えてもらうことを大切にします。

<注意> 本科目であつかう作品は、年度ごとに異なる。また、講義の内容や順序は変更されることがある。とくにリアクションペーパーで皆さんが出してくれる質問には、ときに、授業計画を無視しても構わないほど重要な「問い」が出されていることがある。そのようなとき、次の回をまるまるその質問への回答に充てることもある。この講義は生きものと思ってほしい。また、講義の経過とともに私が皆さんに訴えたいことも変わるはず。そして皆さんにも、この講義の期間を通じて変わってほしい。

- 【第1回】 ガイダンス：絵画・映画を「読み解く」とは？ ～視覚芸術を学ぶ前提～
- 【第2回】 （聖）母子像の系譜と「家族」をテーマにした絵画 ～絵を客観的に観ることと感情移入～
- 【第3回】 映像に意味を読みとる（1）～映画・絵画の構図を見抜く：3分割の法則～
- 【第4回】 映像に意味を読みとる（2）～映画・絵画の細部に注目する：アトリビュートと「ヒッチコックの法則」～
- 【第5回】 映像に意味を読みとる（3）～画像の被写界深度と密度・カメラワーク・遠近法～
- 【第6回】 映画・絵画に意味を読みとる（4）～絵画の光・明と暗：バロックの精神～
- 【第7回】 映画・絵画に意味を読みとる（5）～映画の光と色：カメラと照明と美術～
- 【第8回】 西洋美術の歴史（1）：ルネッサンス以前の絵画
- 【第9回】 西洋美術の歴史（2）：イタリア・ルネッサンスと北方ルネッサンス
- 【第10回】 西洋美術の歴史（3）：ジョルジュ・ドゥ・ラトゥールの芸術
- 【第11回】 西洋美術の歴史（4）：現代美術～エドワード・ホッパー～
- 【第12回】 映画の観かた実践編 ～ショット分析～

授業計画 【第13回】 まとめ：映像美術の醍醐味～「静物画」の世界～
事前・事後学習に必要時間 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

間	今学期中に開催される西洋美術の展覧会を紹介するので、ぜひ足を運んで「本物」を見てほしい。そして、講義で学んだことを活かし、自分なりの鑑賞レポートを書いてほしい。
事前・事後学修の内容	映画については、推薦した映画（動画配信・DVD）からいくつかを、ぜひ講義で学んだ観点から見てほしい。
成績評価方法・基準	1. 平常点50%：「リアクションペーパー」をふくむ参加度合い。 2. 期末試験50%：講義内容についての設問で、形式は論述のみ。
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	<ul style="list-style-type: none"> * 教科書 なし。 * 指定図書 ・ケネス・クラーク『名画とは何か』白水社 ・ジェイムズ・ホール『西洋美術解説事典』河出書房新社 ・西洋中世学会『西洋中世文化事典』丸善出版 ・エルンスト・H・ゴンブリッチ『美術の物語』河出書房新社 ・アンドリュー・グレアム＝ディクソン『世界の美術 コンパクト版』河出書房新社 ・ジェニファー・ヴァン・シル『映画表現の教科書 一名シーンに学ぶ決定的テクニック100』フィルムアート社 ・古澤利夫『20世紀最高の映画100作品』ビジネス社 ・高階秀爾『カラー版 名画を見る眼 I 油彩画誕生からマネまで』（岩波新書） ・高階秀爾『カラー版 名画を見る眼 II 印象派からピカソまで』（岩波新書） ・ケネス・クラーク『芸術と文明（叢書・ユニベルシタス）』法政大学出版局
履修上の留意点	パワーポイント（スライド）を利用し、講義のあとPDFバージョンをmanabaにアップロードするが、本講義でもっとも重視することは、講義を聴いて「ノートテイク」をすること。期末試験（論述・参照不可）も、自分のノートをもとに準備することになる。
更新日	2026/3/18

開設 科目ナンバー	全学共通 ZD101
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2BG000150
講義名	心理学 I C組
担当者名	小湊 真衣
開講情報	春期 水曜日 4時限 543教室
単位数	2
受講可能学部	L
備考	
科目の趣旨	人間の行動・意識・無意識を研究対象とし、生理学や生物学、物理学、精神医学、統計学、コンピュータ科学といったさまざまな科学の発想と研究手法を取り入れ、人間及び人間社会の理解を迫る学問である。具体的な研究領域としては、発達(児童、青年、老年)、知覚・感覚、学習、認知(記憶、知能、思考)、性格、臨床、社会、組織があるが、これらの講義を通して自己理解を深めると同時に共感的な他者理解ができるような目を養うことを目的とする。「心理学 I」ではこの中のいくつかの領域を講義する。
授業の内容	心理学は人間に関する様々なことを研究対象としている学問であり、誰にとっても身近な学問であると言える。本講義では、心理学の成り立ちや歴史、パーソナリティ、感覚と知覚、記憶のメカニズム、欲求と動機づけなどについて、簡単な実験やワークなどを取り入れつつ解説する。また、教育心理学や発達心理学、臨床心理学における主要な理論や研究について取り上げるとともに、心理学で用いられる実験調査の手法や分析方法についても紹介する。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	①心理学の成り立ちに関する基本的な知識を有している ②ヒトの感覚・知覚・認知のメカニズムの基本を理解している ③生涯発達に関する基本的な知識を有している ④パーソナリティの諸理論に関する基本的な知識を有している
授業形態	講義 ・対面形式を原則とする ・授業では講義とともにディスカッション、グループワークなどを取り入れ、学生参加型かつ双方向型の授業を行う ・受講生一人ひとりの意見、疑問、考察、気づきなどを全体で共有しながら、各自の考えや興味関心が深められるように授業を進めていく
授業方法	・資料の配布、課題の提示、授業に関する連絡等はmanabaを使用する 【第1回】ガイダンス／心理学とは／パーソナリティ ・授業の目的と受講にあたっての諸注意 ・心理学の始まり ・心理学の領域 ・パーソナリティに関する諸理論 【第2回】感覚・知覚・認知の心理学 ・錯視と錯覚 ・弁別閾と感覚 ・知覚と認知 【第3回】記憶と忘却 ・記憶のメカニズム ・長期記憶と短期記憶 ・忘却と記憶術 【第4回】欲求と動機づけ ・欲求とモチベーション ・内発的動機と外発的動機 ・動機づけ理論 【第5回】条件づけと学習 ・古典的條件づけと道具的條件づけ ・パヴロフ、スキナー、ワトソンの実験 【第6回】学習と教育の心理学 ・試行錯誤学習、洞察学習、観察学習 ・教育と学習に関する心理学 【第7回】遺伝と環境 ・遺伝説と環境説 ・野生児研究とその後 【第8回】乳幼児期の発達と心理 ・胎児期から乳幼児期における心身の発達 ・基本的信頼とアタッチメント 【第9回】学童期の発達と心理 ・学童期における心身の発達の特徴

・ピアジェの発達理論

【第10回】思春期の発達と心理

・思春期における心身の発達の特徴
・第二性徴と第二次反抗期

【第11回】青年期の発達と心理

・青年期の発達の特徴
・アイデンティティの形成とモラトリアム

【第12回】老年期の発達と心理

・老年期における衰退と発達
・生きがいと死

【第13回】こころの測定方法／まとめ

・知能検査の理論と実施法・活用法（ビネー式、ウェクスラー式）
・心理検査と発達検査
・これまでの学習内容の振り返りとまとめ

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

事前学習

①事前に提示された各回のキーワードについて調べるとともに、自分なりの考えや疑問点をまとめる
②事前に提示された各回のキーワードと関連する書籍や文献を調べ、自分なりの考えをまとめる

事後学習

①講義内容を見直してまとめ、重要事項について復習する
②学んだ内容は社会の中でどのように活用することができるか考察し、自分なりの言葉でまとめる

事前・事後学
修の内容

授業毎に課す課題の内容（60%）および最終試験(40%)で評価を行う

成績評価方
法・基準

課題のフィードバックについては次回以降の授業内にて行う

課題（試験
やレポート
等）について
のフィードバック
方法

教科書：指定しない。適宜資料を配布する。

参考文献：適宜授業中に紹介する

教科書・指定
図書

履修上の留
意点

双方向型の授業のため、予習復習を欠かさず行うとともに、積極的に授業に参加するようにしてください

更新日

2026/3/18

開設 科目ナンバー	全学共通 ZD102
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2BG000250
講義名	心理学Ⅱ C組
担当者名	小湊 真衣
開講情報	秋期 水曜日 4時限 543教室
単位数	2
受講可能学部	L
備考	
科目の趣旨	人間の行動・意識・無意識を研究対象とし、生理学や生物学、物理学、精神医学、統計学、コンピュータ科学といったさまざまな科学の発想と研究手法を取り入れ、人間及び人間社会の理解を追究する学問である。具体的な研究領域としては、発達(児童、青年、老年)、知覚・感覚、学習、認知(記憶、知能、思考)、性格、臨床、社会、組織があるが、これらの講義を通して、自己理解を深めると同時に共感的な他者理解ができるような目を養うことを目的とする。「心理学Ⅱ」では「心理学Ⅰ」で扱わなかった領域について講義する。
授業の内容	心理学は人間に関する様々なことを研究対象としている学問であり、誰にとっても身近な学問であると言える。本講義では、心理学Ⅰの学習内容を踏まえた上で、社会心理学における主要な理論や研究について簡単な実験やワークなどを取り入れつつ解説する。また、文化心理学の基本を紹介するとともに、最近の心理学の動向についても紹介する。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	①ヒトの認知の特徴に関する基本的な知識を有している ②文化や集団に関する心理学の基本的な理論についての知識を有している ③上記の学びを通し、自己理解を深めるとともに共感的な他者理解ができる
授業形態	講義
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> ・対面形式を原則とする ・授業では講義とともにディスカッション、グループワークなどを多く取り入れ、学生参加型かつ双方向型の授業を行う ・受講生一人ひとりの意見、疑問、考察、気づきなどを全体で共有しながら、各自の考えや興味関心が深められるように授業を進めていく ・資料の配布、課題の提示、授業に関する連絡等はmanabaを使用する <p>【第1回】ガイダンス／心理学の様々な領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的と受講にあたっての諸注意 ・心理学の諸領域 <p>【第2回】傍観する心理／同調する心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傍観者効果 ・同調実験 <p>【第3回】服従する心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服従実験 <p>【第4回】集団の心理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的促進、社会的抑制 ・責任の分散 <p>【第5回】説得のメカニズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説得のメカニズム ・一面的説得法、両面的説得法 <p>【第6回】認知的バランス理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知的不協和理論 ・認知的バランス理論 <p>【第7回】印象形成・好意のメカニズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印象形成に関する実験 ・好意のメカニズム <p>【第8回】認知のエラー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知バイアスと認知のエラー ・ヒューリスティクス <p>【第9回】ステレオタイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステレオタイプと偏見 <p>【第10回】ヒューリスティック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイアス ・ヒューリスティック <p>【第11回】文化の心理学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化と心 ・文化と感情

【第12回】その他の心理学

- ・しぐさと行動
- ・パーソナルスペース

【第13回】心の不調／まとめ

- ・心の不調と不適応
- ・これまでの学習内容の振り返りとまとめ

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間
本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

事前学習

- ① 事前に提示された各回のキーワードについて調べるとともに、自分なりの考えや疑問点をまとめる
- ② 事前に提示された各回のキーワードと関連する書籍や文献を調べ、自分なりの考えをまとめる

事後学習

- ① 講義内容を見直してまとめ、重要事項について復習するとともに自己との関係について振り返る
- ② 学んだ内容は社会の中でどのように活用することができるか考察し、自分なりの言葉でまとめる

事前・事後学
修の内容

授業毎に課す課題の内容（60%）および最終試験の成績(40%)で評価を行う

成績評価方
法・基準

課題（試験
やレポート
等）について
のフィードバック
方法
課題のフィードバックについては次回以降の授業内にて行う

教科書・指定
図書
教科書：指定しない。適宜資料を配布する。

参考文献：適宜授業中に紹介する

履修上の留
意点

双方向型の授業のため、予習復習を欠かさず行うとともに、積極的に授業に参加するようにしてください

更新日
2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZE107
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2CA000520
講義名	自然科学入門 I C組
担当者名	吉田 律
開講情報	春期 水曜日 4時限 200教室
単位数	2
受講可能学部	B/H/D/E/L/I/C/U/S

科目の趣旨	「自然科学入門 I」は、物理学・化学・生物学などの自然科学がもっている学問としての性質を理解することを直接的な目的としているが、最終的には、科学的思考法とはどのようなものなのかを身に付けることを目的としている。このような目的を達成するためには、自然科学の成り立ちといった縦断的アプローチや、ある事項を個々の学問から多角的に扱う横断的アプローチ、そしてそれらを織り混ぜた組織的アプローチなどが考えられ、それぞれが実際の講義内容になるであろう。自然科学は自然という唯一の対象を調べる学問である。しかし取り扱いの都合上、自然科学は主に5種類の領域に分けられている：身の周りに存在する物質を調べる化学領域、様々な物質から構成される生命を調べる生物学領域、我々が住む地球を調べる地球科学領域、地球を取り囲む宇宙を調べる天文学領域、これら4種類の領域に共通する基礎原理を調べる物理学領域である。この事を最初に紹介する。
授業の内容	続いて、身の周りに存在する全ての物質が原子から成り立っている事を出発点にして、化学領域の基本的な項目を解説する。更に、組織化された物質としての生命を調べる生物学領域の基本的な項目を解説する。地球科学領域、天文学領域、物理学領域については、自然科学入門 II で順次解説する。自然科学では、「自然」や「科学」などを始めとする各種の用語が、全ての人に共通理解できるよう定義されている；この事の必要性を理解し説明できる事。化学とはどのような学問であるかについて全体像を把握しており、基本的な項目を簡潔に説明できる事。生物学とはどのような学問であるかについて全体像を把握しており、基本的な項目を簡潔に説明できる事。
科目の到達目標 (理解のレベル)	化学と生物学の与える自然科学的な世界観 (特に物質観・生命観) を把握する事。
授業形態	講義 前編 1. 講義形式による基本的項目の解説：板書と資料提示 2. 講義内容 (前編) に関する課題の実習 ※ 前編講義40分間程度・前編実習10分間程度 後編 1. 講義形式による基本的項目の解説：板書と資料提示 2. 講義内容 (後編) に関する課題の実習 ※ 後編講義40分間程度・後編実習10分間程度
授業方法	質疑応答は授業時間中、gmail、及び、オフィスアワーで行なう。 状況によっては授業形式を変更する事も有り得る。 【第01回】自然科学の構成 自然および科学という単語の定義、自然科学の形式と各領域の対象 【第02回】化学とは？ モノの化学、物質の区分、物質の基本構成「単位」、原子の安定化傾向 【第03回】物質の素 原子とは何か、原子核と電子、原子の種類 (元素)、元素の超長周期表 【第04回】電子の“姿” 小さ過ぎる存在、見えない対象の「記述」、原子内の電子「波」たち 【第05回】原子の結合 物質の原子による「再」構成、電子“雲”の重なり、原子の結合型式 【第06回】化学反応とエネルギー 物質の (化学的) 変化、化学反応の向き；発熱と拡散、化学反応の進行 【第07回】多「粒子」系の振舞い 気体と液体、空間における原子や分子の体積占有割合、固体、物質と光 【第08回】生物学とは？ 生き物を調べる、生物群の系統化、生物の特徴、生命法則の普遍性 【第09回】生命の基本「単位」 細胞とは、細胞の大きさ、細胞の構造、多細胞生物の構築：細胞の接着 【第10回】生体の構成物質 L型アミノ酸とタンパク質、D型単糖と糖質、核酸：DNAとRNA、主要な脂質 【第11回】生物の自己維持機能 代謝機能：エネルギー及び物質の代謝、酵素の作用、反射機能：刺激応答「系」 【第12回】遺伝情報と細胞 遺伝子、DNAと合成酵素、真核生物の細胞分裂、遺伝子発現の調節 【第13回】進化と生命起源 生物進化：自然選択と遺伝的浮動、種分化、生物多様性、始原単細胞生物
授業計画	ただし、上記の内容・順序は変更もあり得る。
事前・事後学習に必要な時間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

毎回、シラバスを必ず読み返す事。

事前準備

各回の授業開始までに、manabaから当該授業回に関連する資料と実習課題をダウンロードしてB5判用紙へ印刷し、内容を確認しておく事。

事後学修

板書内容と配布資料を読み直し、要点を確認する事。書き写した板書内容と書き込み済み実習課題を散逸しないように整理・保管する事。

(電子媒体のままで放置しない事。)

事前・事後学修の内容 事前・事後を問わず、不明な事柄があればgmailを使用して照会する事。

期末試験（下記：出題範囲の配点）の得点率累計60%

第01回・4%

第02回・6%

第03回・4%

第04回・4%

第05回・4%

第06回・4%

第07回・4%

第08回・6%

第09回・4%

第10回・4%

第11回・6%

第12回・6%

第13回・4%

化学領域レポート（手書き2枚）の提出率20%

生物学領域レポート（手書き2枚）の提出率20%

合計100%で評価する。

成績評価方法・基準

課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法 本科目での課題の講評・解説については授業内もしくはmanaba上でおこなう。

教科書・指定図書

講義での板書と配布資料をまとめる事によって“教科書”ができあがる。参考書は開講時に指示する。

履修上の留意点

・自然科学入門Ⅱも引き続き履修する事を強く望む。

・第02回から座席指定するので、教室前方配置の希望者はメールで申し出る事。

更新日

2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZE108 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2CA000620 自然科学入門Ⅱ C組 吉田 律 秋期 水曜日 4時限 200教室 2 B/H/D/E/L/I/C/U/S
科目の趣旨	「自然科学入門Ⅱ」は、物理学・化学・生物学などの自然科学がもっている学問としての性質を理解することを直接的な目的としているが、最終的には、科学的思考法とはどのようなものなのかを身に付けることを目的としている。このような目的を達成するためには、自然科学の成り立ちといった縦断的アプローチや、ある事項を個々の学問から多角的に扱う横断的アプローチ、そしてそれらを織り混ぜた組織的アプローチなどが考えられ、それぞれが実際の講義内容になるであろう。自然科学入門Ⅰでは2種類の領域（化学領域・生物学領域）の基本的な項目を学んだ。これらに続き、我々が住む地球の成り立ちや現象について調べる地球科学領域の基本的な項目、及び、地球を取り囲む宇宙について調べる天文学領域の基本的な項目を解説する。4種類の領域、化学領域、生物学領域、地球科学領域、及び、天文学領域、を順次概観する事によって自然（物質・生命・地球・宇宙）の全体像を把握し終えた所で、自然界の各領域の通底している所の普遍的法則を調べる物理学領域の基本的な項目を解説する。最後に、場の量子論（パのリュウシロン）によって与えられる「現代科学の世界観」を解説・紹介して自然科学入門Ⅰ・Ⅱを完結させる。
授業の内容	地球科学とはどのような学問であるかの全体像を把握しており、基本的な項目を簡潔に説明できる事。 天文学とはどのような学問であるかの全体像を把握しており、基本的な項目を簡潔に説明できる事。 物理学とはどのような学問であるかの全体像を把握しており、基本的な項目を簡潔に説明できる事。 地球科学と天文学の与える世界観（特に地球観・宇宙観）を把握する事。 現代科学の与える世界観・自然観について概要を把握できるようになる事。
科目の到達 目標 （理解のレ ベル）	
授業形態	講義 前編 1. 講義形式による主要項目の解説：板書と資料提示 2. 講義内容（前編）に関する課題の実習 ※ 前編講義40分間程度・前編実習10分間程度 後編 1. 講義形式による主要項目の解説：板書と資料提示 2. 講義内容（後編）に関する課題の実習 ※ 後編講義40分間程度・後編実習10分間程度
授業方法	質疑応答は授業時間中、gmail、及び、オフィスアワーを利用して行なう。 状況によっては授業形式を変更する事も有り得る。 【第01回】地球科学とは？ 地球を調べる方法、地球の諸側面：構成・現象・歴史、モデルによる理解 【第02回】地球の成り立ち 地球の層状構造：大気・海洋・地殻・マントル・コア、地球の形成過程 【第03回】地球表層の現象 太陽光・太陽熱、大気及び海洋の対流：水平方向・鉛直方向、気候の変動 【第04回】地球内部の現象 地球内部熱、プレートテクトニクス、マントル対流、コアダイナミクス 【第05回】天文学とは？ 地球「外」対象の諸側面：構成・現象・歴史、地球「外」を調べる方法、天文観測の前提 【第06回】太陽系の天体 太陽、惑星：地球型と木星型、衛星とリング、太陽系小天体：彗星・小惑星ほか 【第07回】宇宙の広がり 恒星、銀河、銀河団、ハッブルの法則と宇宙膨張、ビッグバン宇宙 【第08回】物理学とは？ 自然科学の基礎、科学的な記述、帰納的な学問、「分かる」という事 【第09回】物体運動と力 自然界の抽象的記述：物体の記述・運動の記述、運動の法則の意味 【第10回】熱の基本法則 熱の共通性、「粒子」像による熱の理解、不可逆現象、「粒子」像とエントロピー 【第11回】電気と磁気 電気現象、磁気現象、電磁誘導現象、電「流」磁気現象、電磁波の伝播 【第12回】微“視”的世界の原理 極微粒子の「波動」性、電磁波の「粒子」性、物理状態、測定値の揺らぎ幅 【第13回】場の概念 物理量の分布と変動、場の方程式、「媒質」としての場、時空の属性
授業計画 事前・事後学 修に必要な時 間	ただし、上記の内容・順序は変更もあり得る。 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

毎回、シラバスを必ず読み返す事。

事前準備

各回の授業開始までに、manabaから当該授業回に関連する資料と実習課題をダウンロードしてB5判用紙へ印刷し、内容を確認しておく事。

事後学修

板書内容と配布資料を読み直し、要点を確認する事。書き写した板書内容と書き込み済み実習課題を散逸しないように整理・保管する事。

(電子媒体のままで放置しない事。)

事前・事後学修の内容 事前・事後を問わず、不明な事柄があればgmailを使用して照会する事。

期末試験（下記：出題範囲の配点）の得点率

第01回・5%

第02回・4%

第03回・4%

第04回・4%

第05回・5%

第06回・3%

第07回・4%

第08回・5%

第09回・6%

第10回・4%

第11回・4%

第12回・4%

第13回・8%

地球科学領域・天文学領域レポート（手書き2枚）の提出率20%

物理学領域レポート（手書き2枚）の提出率20%

合計100%で評価

成績評価方法・基準

課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法 本科目での課題の講評・解説については授業内もしくはmanaba上でおこなう。

教科書・指定図書

講義での板書と配布資料をまとめる事によって“教科書”ができあがる。参考書は開講時に指示する。

履修上の留意点

- ・自然科学入門 I が履修済である事を強く望む。
- ・第02回から座席指定するので、教室前方配置の希望者はメールで申し出る事。
- ・この科目の履修については、データサイエンス副専攻登録者を原則として優先する。

更新日 2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZA105
カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連）	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2FA000900
講義名	国際関係論 I A組
担当者名	小池 求
開講情報	春期 火曜日 4時限 522教室
単位数	2
受講可能学部	B/H/D/E/L/U/S

科目の趣旨 国際関係論は国際社会の現象を対象として、紛争・戦争の歴史や構造を解明し、協力による平和の追求を目的とする学問である。人間の営みには連続性があり、歴史を知らずして、現在や未来の国際関係を語ることはできない。「国際関係論 I」は、国際関係を動かし、その歴史を形成する原理・メカニズムを中心に国際関係の動きを見ていく。とりわけ、グローバル化の展開する中で、国際関係がどのように変動してきたかを解明していく。

本講義は2部構成になっています。
 第1部では国際関係を考えるうえで重要な3つの理論である、リアリズム、リベラリズム、コンストラクティヴィズムの成立背景とその基本的な考え方について学びます。
 第2部では、17世紀から冷戦終結前後（1990年ごろ）までを対象に以下の5つの点に注目して国際社会の変遷について学びます。①国際社会の変遷を考える前提として、近代以前の国際秩序の特徴と近代国家の成立過程がどのようなものであったか。②各時期の国際社会を維持していたメカニズムがどのようなものであったか。③国際社会の特徴を考えるうえで重要な秩序がどのような原因で動揺・解体したか。④その原因がどう克服されて、国際社会の新しい秩序が形成されていったか。⑤国際関係を理解するうえで重要な概念がどのような時代背景で成立したのか。

授業の内容 私たちの日常では、世界各地で起こっている事件がテレビや新聞、ネットを通じて日々報道されています。しかし、今日起きている国際的な問題の原因がそれ以前の歴史的な背景に基づく場合が多くあります。本講義では、受講生が17世紀から冷戦終結前後（1990年ごろ）までの国際社会の秩序が歴史的にどのように変化してきたのか、そのメカニズムを学び、以下の2点をできるようにすることを目標とします。①国際関係における重要な歴史的事象を理解するために必要な概念や背景知識、理論を学び、それらを自らの言葉で説明できる。②現在の国際情勢を歴史的な観点から考え、議論できるようになる。

科目の到達目標
 （理解のレベル）

授業形態 講義
 授業は講義形式で行われます。講義ではパワーポイントを利用します。受講生にmanabaにアップされるレジュメを印刷するか、パソコンにダウンロードしてもらい、授業中にレジュメにある空欄を埋める作業を行ってもらいます。授業中には関連する資料を分析したり、responを使った課題などを2回実施し、それにより出席を確認します。授業後にmanabaを利用した確認テストを行います。これらを通じて、受講生が学んだことに対する理解度のチェックと振り返りをする機会を設けるつもりです。

授業方法 【第1回】 ガイダンス：国際関係論とはどのような学問か？
 内容：授業運営や評価に関する説明をしたうえで、国際関係論を学ぶための基本的な観点を学ぶ。

第1部 国際関係の理論：国際関係を理解するための考え方を知る。

【第2回】 リアリズムを考える：パワーと国益
 内容：リアリズムから見える国際関係はどのようなものかを考える。

【第3回】 リベラリズムを考える：対立と協調
 内容：リベラリズムから見える国際関係はどのようなものかを考える。

【第4回】 コンストラクティヴィズムを考える：規範と制度
 内容：コンストラクティヴィズムから見える国際関係はどのようなものかを考える。

*リアクション・ペーパーの課題発表

第2部 国際社会の歴史的展開：国際関係を理解する概念の歴史的背景を知る。

【第5回】 東アジアの国際秩序：朝貢体制と外部世界
 内容：中国王朝を中心とする地域秩序がどのようなものであり、外部世界との関係はどのようなものであったのかを考える。

【第6回】 ヨーロッパの国際秩序の再編：ウェストファリア体制に基づく近代国家間関係の成立
 内容：対等な国家間関係により特徴づけられるヨーロッパの国際秩序はどのように成立したのかを考える。

【第7回】 勢力均衡とナショナリズム：ウィーン体制下における大国間の協調と動揺
 内容：ヨーロッパの国際秩序の基本概念であった勢力均衡が成立してから動揺していく過程を考える。

【第8回】 西洋的秩序の国際化：西洋列強の植民地獲得競争と東アジア国際秩序の解体
 内容：ヨーロッパの国際関係が世界に拡大していく過程を考える。

【第9回】 第一次世界大戦：グローバル化した戦争と国際連盟の成立
 内容：第一次世界大戦の特徴と戦後秩序が形成されていく過程を考える。

【第10回】 第二次世界大戦：国際経済体制の不備と集団安全保障の機能不全
 内容：第二次世界大戦の原因、特徴、戦後秩序について考える。

【第11回】 冷戦の勃発：イデオロギー対立と植民地の独立

内容：1970年前後まで国際情勢の変化に注目しながら冷戦の特徴について考える。

【第12回】 デタントから冷戦終結：米ソ関係とアジア冷戦の重点の変化

内容：1970年代に起きた冷戦構造の変化は米ソ関係、ヨーロッパ、アジア地域にどのような影響を与えたのかを考える。

【第13回】 授業の総括：国際関係の歴史と理論を振り返る。

内容：主権国家の成立から冷戦終結までの国際関係の歴史と3つの理論の登場背景や基本的考え方を総括する。

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間

事前学修：①事前にmanabaにアップロードされるレジュメを読み、わからない用語などを事典やネットなどで調べてみましょう。②高校の社会系の教科書や指定図書の該当箇所などを読み、各回が対象とする時代背景と基本事項を把握しておくことが望ましいです。

事前・事後学
修の内容

事後学修：授業の内容の振り返りを行い、確認テストを受けること。確認テスト提出期限後、確認テストの解説動画をアップするので、視聴して解答を確認すること。わからなかった箇所などがあれば、指定図書や各回で示す参考文献リストにある書籍の該当箇所を読んで理解し、自分なりに整理することがより深い理解につながります。何か質問があれば、メールやオフィスアワーで随時対応します。

- ①期末レポート（60%）：100点満点×0.6で算出。レポートの概要は授業で発表します。
②確認テスト（20%）：方法）授業レジュメを見ながら、確認テストに解答する。評価）減点式＝初回：20点（11回実施。1回行わないごとにマイナス2点。正解が10問中5問以下の場合にはマイナス1点。正解が2問以下であった場合はマイナス2点）
*欠席した場合は、代替課題を提出することで、減点を避けることができます。
③リアクション・ペーパー（20%）：第4回授業後に課題を発表します。
以上、期末レポート、確認テスト、リアクション・ペーパーを合計して総合的に評価します。

成績評価方
法・基準

確認テスト、リアクションペーパー、期末レポートの成績はmanabaで公開する。確認テストおよびリアクションペーパーの解説を動画でアップするので、必要な人は確認すること。

課題（試験
やレポート
等）につい
てのフィード
バック
方法

（教科書）
使用せず。事前にmanabaにアップするレジュメを使用します。

（指定図書：授業レジュメを作成する際に主に参考とするもの）
小川浩之、板橋拓己、青野利彦著『国際政治史（新版）—主権国家体系のあゆみ—』有斐閣、2024年
村田晃嗣、君塚直隆、石川卓、栗栖薫子、秋山信将著『国際政治学をつかむ【第3版】』有斐閣、2023年
広瀬佳一、小笠原高雪、小尾美千代編著『よくわかる国際政治』ミネルヴァ書房、2021年

（参考図書）
君塚直隆『近代ヨーロッパ国際政治史』有斐閣、2010年

教科書・指定
図書

- ①レジュメを事前にmanabaにアップするので、受講生は印刷して持参するか、パソコンにダウンロードをして、レジュメに空欄の解答を書き込んだり、メモを書いたりしながら授業を受けてください。スマホに授業内容をメモしながら受講するのは避けてください。スクリーンを撮影していると見える場合があります。
②スクリーンの写真撮影は禁止です。
③欠席した授業の次の回までに受講が難しい合理的な理由（病気、忌引き、就活（研修は含まない）、教育実習、部活など）があり、欠席する／したという連絡があれば、公欠扱いにするかどうか検討します（必ず公欠扱いになるわけではありません）。なお、欠席連絡があったとしても、確認テストの代替課題を提出しない場合は減点となります。代替課題は授業後2週間以内にメールで提出してください。
④毎回2回行われるrespon課題に解答していない場合、確認テストに解答しても無効とします。
⑤課題提出は時間厳守です。直前にアップしようとする、回線が混み合ったりして提出ができないことがあります。時間に余裕をもって提出してください。
⑥生成AIを使用して期末レポートを作成した可能性がある場合、別途口頭試問を行います。
⑦何かわからないことがあれば遠慮なく質問してください。

履修上の留
意点
更新日

2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZA106 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2FA001000 国際関係論Ⅱ A組 小池 求 秋期 火曜日 4時限 242教室 2 B/H/D/E/L/U/S
科目の趣旨	国際関係論は国際社会の現象を対象として、紛争・戦争の歴史や構造を解明し、協力による平和の追求を目的とする学問である。国際社会は、現在大きな変動期を迎えており、従来の国際関係諸現象を理解するための基本概念にもその変化が多く見られる。「国際関係論Ⅱ」は国民国家システム、国家安全保障、国際的相互依存という三つの側面における変容を考察し、諸概念の再検討を行うことによって、国際関係に対立する理解力や分析力を養う。異なった民族、異質な文化・価値観との対立を乗り越え、共生の道を模索し、平和の研究を深めていく。 現在の国際社会において、地域紛争や核問題などの安全保障に関する問題から、貿易や環境など経済・社会に関する問題までさまざまな問題が起きています。各国や国連などの国際機関、企業、NGOなどはそれぞれの問題関心や利害から、それらの問題に関わっています。本講義は現在の国際関係を考える点として、2つの問いを立てています。第一に国際社会に影響力をもつ行為主体として、国家、国際機関、多国籍企業、NGOを取り上げ、それらの特徴と国際社会における役割について考えます。第二に現在の国際社会ではどのような問題があり、それに対応するためにどのようなルールが作られてきたのか、そして、国際社会のルールの運用をめぐる今日的な課題について学んでいきます。この2つの問いを考えていくことを通じて、現在の国際社会の現状についての理解を深めていきたいと思えます。
授業の内容	私たちの日常では、世界各地で起きている事件がテレビや新聞、ネットを通じて報道されて、さまざまな情報が氾濫しています。本講義では、①国際社会で起きている問題に関与する各行為主体の特徴、②国際社会におけるさまざまな問題について、その歴史的な背景や国際的なルールの特徴と課題などを学んでいきます。その学びを通じて、現在の国際社会で起きている問題を理解するために必要な概念や背景知識、観点を習得し、それらを用いて現在の国際情勢を自ら分析し説明できるようにすることを目的とします。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	講義
授業方法	授業は講義形式で行われます。講義ではパワーポイントを利用します。受講生にmanabaにアップされるレジュメを印刷して持ってきてもらうか、パソコンにダウンロードをしてきてもらい、授業中にレジュメにある空欄を埋める作業を行っていただきます。授業中には関連する資料を分析したり、responを使った課題を2回実施します。また、授業後にmanabaを利用した確認テストを行います。これらを通じて、受講生が学んだことに対する理解度のチェックと振り返りをする機会を設けるつもりです。 【第1回】 ガイダンス：国際社会の行為主体と問題群を知る。 内容：国際関係の歴史を概観し、国際社会における行為主体と国際問題についての基本的なイメージを持つ。 第1部 国際関係を担う行為主体とは？ 【第2回】 国家：要件と政治体制 内容：主権国家の特徴とは何か。国家の政治体制と経済力から考える。 【第3回】 国際組織：国際連合とはどのような組織か 内容：国際連合が国際社会において果たしている役割やその特徴、問題点を理解する。 【第4回】 地域共同体の可能性と限界：EUとASEANの試み 内容：地域的な国際機関が国際社会において果たしている役割やその特徴、問題点を理解する。 【第5回】 非国家主体：多国籍企業とNGO 内容：国際社会における非国家主体の活動原理と問題点、国際規範との関係を理解する。 *リアクション・ペーパーの課題を示す。 第2部 国際社会における諸問題（現在の国際問題） 【第6回】 自由貿易体制：自由貿易をめぐる国際的枠組みの変遷 内容：国際経済に関するレジームの成立過程、特徴、問題点を考える。 【第7回】 環境問題：公害対策から脱炭素社会へ 内容：環境問題に関するレジームの成立過程、特徴、問題点を考える。 【第8回】 開発援助（協力）：経済成長が貧困対策をめぐる議論 内容：開発協力に関するレジームの成立過程、特徴、問題点を考える。 【第9回】 核問題：核軍縮と核廃絶をめぐる議論 内容：核管理をめぐるレジームの形成過程、特徴、問題点を考える。 【第10回】 地域紛争：アイデンティティと国家体制の変化がもたらす混乱 内容：地域紛争の発生メカニズムを民族問題を中心に考える。

【第11回】 平和構築：国連平和維持活動と紛争介入の論理の変化
内容：国際社会による地域紛争への介入論理と紛争予防のための措置が何かを考える。

【第12回】 難民問題と反移民：難民対策と国内政治との関連性
内容：難民発生メカニズムと難民問題が国際社会と受入国の国内政治に与える影響を考える。

【第13回】 まとめ：国際社会の現状について振り返る
内容：国際社会における行為主体と問題群を整理し、国際社会の現状を考える。

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間

事前学修：①事前にmanabaにアップロードされるレジュメを読み、わからない用語などを事典やネットなどで調べてみましょう。②manabaで共有する新聞記事などを読んでおくこと。③高校の社会系の教科書や指定図書などの該当箇所などを読み、各回が対象とする時代背景と基本事項を把握しておくことが望ましいです。

事前・事後学
修の内容

事後学修：授業の内容の振り返りを行い、確認テストを受けること。確認テスト提出期限後、確認テストの解説動画をアップするので、視聴して解答を確認すること。わからなかった箇所などがあれば、指定図書や各回で示す参考文献リストにある書籍の該当箇所を読んで理解し、自分なりに整理することがより深い理解につながります。何か質問があれば、メールやオフィスアワーで随時対応します。

成績評価方
法・基準

①期末レポート（60%）：100点満点×0.6で算出。レポートの概要は授業で発表します。
②確認テスト（20%）：方法）授業レジュメを見ながら、確認テストに解答する。評価）減点式＝初回：20点（11回実施。1回行わないごとにマイナス2点。正解が10問中5問以下の場合にはマイナス1点。正解が2問以下であった場合はマイナス2点）
③リアクション・ペーパー（20%）：第5回授業後に課題を発表します。
以上、期末レポート、確認テスト、リアクション・ペーパーを合計して総合的に評価します。

課題（試験
やレポート
等）につい
てのフィード
バック
方法

確認テスト、リアクションペーパー、期末レポートの成績はmanabaで公開する。確認テストおよびリアクションペーパーの解説を動画でアップするので、必要な人は確認すること。

教科書・指定
図書

（教科書）
使用せず。事前にmanabaにアップするレジュメを使用します。

（指定図書）
村田晃嗣、君塚直隆、石川卓、栗栖薫子、秋山信将著『国際政治学をつかむ【第3版】』有斐閣、2023年
滝田健治、大芝亮、都留康子編『国際関係学【第3版増訂版】』有信堂、2023年
広瀬佳一、小笠原高雪、小尾美千代編著『よくわかる国際政治』ミネルヴァ書房、2021年

履修上の留
意点
更新日

①レジュメを事前にmanabaにアップするので、受講生は印刷して持参するか、パソコンにダウンロードをして、レジュメに空欄の解答を書き込んだり、メモを書いたりしながら授業を受けてください。スマホに授業内容をメモしながら受講するのは避けてください。スクリーンを撮影していると見える場合があります。
②スクリーンの写真撮影は禁止です。
③欠席した授業の次の回までに受講が難しい合理的な理由（病気、忌引き、就活、教育実習、部活など）があり、欠席する／したという連絡があれば、公欠扱いにするかどうか検討します（必ず公欠扱いになるわけではありません）。なお、欠席連絡があったとしても、確認テストの代替課題を提出しない場合は減点となります。代替課題は授業後2週間以内にメールで提出してください。
④毎回2回行われるrespon課題に解答していない場合、確認テストに解答しても無効とします。
⑤課題提出は時間厳守です。直前にアップしようとする、回線が混み合ったりして提出ができないことがあります。時間に余裕をもって提出してください。
⑥生成AIを使用して期末レポートを作成した可能性がある場合、別途口頭試問を行います。
⑦何かわからないことがあれば遠慮なく質問してください。

2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZA109
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2FA001100
講義名	中国研究 I
担当者名	小池 求
開講情報	春期 木曜日 4時限 7200教室
単位数	2
受講可能学部	B/H/D/E/L/U/S

科目の趣旨	<p>「中国研究」は、中国に関心を抱き、中国をもっと知りたい学生を対象とする案内コースである。「中国研究I」では、現在中国が直面している国内問題や新たに登場した現象を取り上げ、中国の政治・経済・社会構造について学ぶ。その際に、各問題の現状を知るだけでなく、その歴史的な背景についても考える。現代中国に関する基礎知識や観点を習得することを通じて、中国理解を深める。</p> <p>中国は改革開放政策を開始して以降、紆余曲折がありながらも、経済成長を続けてきました。それが中国の政治、社会、対外関係など多くの領域における変化をもたらしています。本講義では、そのような現在の中国の変化に関して、重要な事例をいくつか取り上げ、その歴史的な背景、特徴、現状、課題について考えていきます。第1部では、経済成長のメカニズムと格差社会に関連する事例を扱います。第2部では、学歴社会、市民社会、民族問題、インターネットなどの政治と社会との関係、中国の大国化がもたらした国内政治や対外関係の変化に関する事例を扱います。それらの事例を検討することで、現代中国がどのような特徴を持ち、どのような問題を抱えているのかについて多面的に考えてきたいと思います。</p>
授業の内容	<p>本講義の到達目標は、受講生が現代中国を理解する際に重要となる事例を学ぶことを通じて以下の3つのことができるようになることです。①現代中国においてどのような問題が起きているのかを知る。②各事例を理解するために必要な知識や分析視角を習得する。③それらの知識や分析視角を使い、各事例に関連づけながら、現代中国がどのような特徴を持ち、どのような問題を抱えているのかについて考察し、自らの言葉で説明できるようになることにあります。</p>
科目の到達目標 (理解のレベル)	
授業形態	講義
授業方法	<p>授業は講義形式で行われます。講義ではパワーポイントを利用します。受講生はmanabaにアップされるレジュメを印刷するか、パソコンにダウンロードするかしてしてください。授業中にレジュメにある空欄を埋める作業を行ってまいります。授業中には関連する資料を分析したり、responを使った課題を2回実施します。授業後にmanabaを利用した確認テストを行います。これらを通じて、受講生が学んだことに対する理解度のチェックと振り返りをする機会を設けるつもりです。</p> <p>【第1回】 ガイダンス 内容：授業の概要、成績評価などを説明したうえで、中国がどのようなところであるのかを考える。</p> <p>【第2回】 中国共産党とはどんな組織か 内容：中国共産党による一党支配のメカニズムを考える。</p> <p>【第3回】 経済はどのように豊かになったのか 内容：中国はどのように経済発展を達成したのか。中国の経済政策の特徴と問題点に注目して考える。</p> <p>【第4回】 格差はなぜ起きたのか 内容：中国の経済発展はなぜ格差社会を生んでしまったのか。そのメカニズムを考える。</p> <p>【第5回】 戸籍制度が生み出す格差 内容：都市で生きる農民工の境遇から格差問題の現状を考える。</p> <p>*リアクション・ペーパーの課題を発表します。</p> <p>【第6回】 学歴により未来は開けるのか 内容：教育は平等を生むのかという観点から学歴社会の背景を考える。</p> <p>【第7回】 市民社会は可能か 内容：NGOと政府との関係から中国における政治と社会の関係を考える。</p> <p>【第8回】 少数民族は何に不満を持っているのか 内容：中国に住む少数民族はどのような問題に直面しているかという課題から少数民族の現状を考える。</p> <p>【第9回】 ネット空間はなぜ統制されるのか 内容：なぜ世論は管理されるのかという問いを立て、政府・党と社会との関係の特徴を考える。</p> <p>【第10回】 中国の歴史観とはどのようなものか 内容：中国の歴史認識に注目し、中国ナショナリズムの特徴を考える。</p> <p>【第11回】 大国となった中国は何を目指すのか 内容：中国は何を核心的利益と見なし、自らの主張を国際社会に対して行っているのか。中華民族の偉大な復興をキーワードに考える。</p> <p>【第12回】 中国が作ろうとする国際秩序はどんなものか 内容：「一帯一路」政策の目的は何か。国際社会の反応はどのようなものか。中国が作ろうとする新しい秩序の特徴と問題点を考える。</p>

【第13回】 まとめ：現代中国を総括する。

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間
内容：中国の現状を理解したうえで見えてくる中国イメージはどのようなものかを考える。
本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

事前学修：①事前にmanabaにアップロードされるレジュメを読み、わからない用語などを書籍やネットなどで調べてみましょう。②指定図書・参考図書の該当箇所、また授業で紹介する書籍などを読み、各回が対象とする時代背景と基本事項を把握しておくことが望ましいです。③事前に授業内容に関する新聞記事を配布するので、それを読んでくること。

事後学修：授業の内容の振り返りを行い、確認テストを受けること。確認テスト提出期限後、確認テストの解説動画をアップするので、視聴して解答を確認すること。わからなかった箇所などがあれば、各回で示す参考文献リストにある書籍の該当箇所を読んで理解し、自分なりに整理することがより深い理解につながります。何か質問があれば、メールやオフィスアワーで随時対応します。

事前・事後学
修の内容
①期末レポート（60%）：100点満点×0.6で算出。レポートの概要は授業で発表します。
②確認テスト（20%）：方法）授業レジュメを見ながら、確認テストに解答する。評価）減点式＝初回：20点（11回実施。1回行わないごとにマイナス2点。正解が10問中5問以下の場合にはマイナス1点。正解が2問以下であった場合はマイナス2点）
③リアクション・ペーパー（20%）：第5回授業後に課題を発表（次の授業までに提出）
以上、期末レポート、確認テスト、リアクション・ペーパーを合計して総合的に評価します。

成績評価方
法・基準
確認テスト、リアクション・ペーパー、期末レポートの成績はmanabaで公開する。確認テストおよびリアクション・ペーパーの解説を動画でアップするので、必要な人は確認すること。

課題（試験
やレポート
等）について
のフィードバック
方法

（教科書）
使用せず。事前にmanabaにアップするレジュメを使用します。

（指定図書）
川島真・小嶋華津子編著『よくわかる現代中国政治』ミネルヴァ書房、2020年
園田茂人編『はじめて出会う中国〔改訂版〕』有斐閣、2022年

（参考図書：授業のレジュメを作成する際に主に参考にする書籍です）
藤野彰編著『現代中国を知るための52章【第6版】』明石書店、2018年
藤野彰編著『現代中国を知るための54章【第7版】』明石書店、2024年

教科書・指定
図書
①レジュメを事前にmanabaにアップするので、受講生は印刷して持参するか、パソコンにダウンロードをしてください。授業中にレジュメの空欄部分に解答に書き込んだり、メモを取ったりしながら、授業を受けてください。スマホに授業内容をメモしながら受講するのは避けてください。スクリーンを撮影していると見える場合があります。
②スクリーンの写真撮影は禁止です。
③欠席した授業の次の回までに受講が難しい合理的な理由（病気、忌引き、就活、教育実習、部活など）があり、欠席する／したという連絡があれば、公欠扱いにするかどうか検討します（必ず公欠扱いになるわけではありません）。なお、欠席連絡があったとしても、確認テストの代替課題を提出しない場合は減点となります。
④毎回2回行われるrespon課題に解答していない場合、確認テストに解答しても無効とします。
⑤課題提出は時間厳守です。直前にアップしようとすると、回線が混み合ったりして提出ができないことがあります。時間に余裕をもって提出してください。
⑥生成AIを使用してレポートなどを作成している可能性がある場合、別途口頭試問を行います。
⑦何かわからないことがあれば遠慮なく質問してください。

履修上の留
意点
更新日
2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZA110 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2FA001200 中国研究Ⅱ 小池 求 秋期 木曜日 4時限 7200教室 2 B/H/D/E/L/U/S
科目の趣旨	「中国研究」は、中国に関心を抱き、中国をもっと知りたい学生を対象とする案内コースである。現在の中国を理解するには、中国の現代史を知ることが必要となる。なぜなら現在の中国は国際環境や国内情勢の変化に対して講じられたさまざまな試行錯誤の結果、歴史的に形成されたと考えられるからである。「中国研究II」では、1945年以降の政治・外交を中心に、中国の歴史的な歩みを学ぶ。
授業の内容	本講義における主要な問題関心は、アジア太平洋戦争が終結した1945年以降の中国と台湾の歴史的な歩みを学びながら、今日の中国や台湾の政治・経済・社会体制がどのように形成されてきたのかを理解することである。具体的には、①中国が建国後社会主義化を選んだ理由と1980年代以降市場経済化を選択した国内・対外要因がどのようなものであったのか。②台湾の戦後政治の特徴である国民党の単一支配から民主化に至る過程がどのようなものであり、その変化に国内・対外要因がどのように関わっていたのか。この2つの問題について考えることで、中国と台湾の現代史における特徴を理解し、そのうえで両者の共通点や相違点についても考えてみたい。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	本講義では、受講生が中国および台湾の現代史（1945年から2000年ごろまで）を学ぶことを通じて、中国の社会主義化と市場経済化、台湾における国民党の単一支配から民主化への流れについて、それぞれの展開過程と特徴を理解できるようになることを目的とする。その学びを通じて、現在の中国および台湾について歴史的な観点から考えるための知識と分析視角を習得し、自分の言葉で説明できるようになることである。また、中国と台湾情勢を比較して考えることができるようになることを目指す。
授業形態	講義
授業方法	授業は講義形式で行われます。講義ではパワーポイントを利用します。受講生はmanabaにアップされるレジュメを印刷するか、パソコンにダウンロードするしてください。授業中にレジュメにある空欄を埋める作業を行っていただきます。授業中には関連する資料を分析したり、responを使った課題を2回実施します。授業後にmanabaを利用した確認テストを行います。これらを通じて、受講生が学んだことに対する理解度のチェックと振り返りをする機会を設けるつもりです。 【第1回】 ガイダンス：中国と台湾の戦後の状況を確認する。 内容：授業運営や評価方法などを確認したうえで、アジア太平洋戦争後の中国・台湾に関する基本情報を確認する。 【第2回】 国共内戦と「2つの中国」 内容：なぜ国共内戦が起き、分裂国家となったのかを理解する。 第1部 中国の社会主義化の歴史 【第3回】 朝鮮戦争と中国の社会主義化 内容：中国が社会主義を選択した理由を国内情勢と対外環境から考える。 【第4回】 中ソ対立：急進化する社会主義化と国際情勢 内容：中ソ対立が中国の国内政治・対外関係にどのような影響を与えたのかを考える。 【第5回】 文化大革命：権力闘争としての 内容：なぜ文化大革命が起きたのかを中国の国内・国際情勢から考える。 *リアクション・ペーパーの課題を發表します。 第2部 改革・開放と社会主義をめぐる政策論争 【第6回】 日中国交正常化の過程：民間関係から国交樹立へ 内容：日中国交正常化において何が問題となったのかを考えながら、そのプロセスを理解する。 【第7回】 改革・開放政策：社会主義と市場経済化をめぐる論争 内容：改革・開放と計画経済との関係がどのように調整されて、経済成長が目指されたのかを考える。 【第8回】 天安門事件：民主化の挫折と改革・開放路線の動揺 内容：中国における政治改革の特徴と天安門事件が起きたメカニズムを理解する。 【第9回】 社会主義市場経済体制の確立：市場経済化の進展と共産党の変容 内容：天安門事件後、中国の市場経済化における論点は何であり、また市場経済化が共産党にどのような影響を与えたのかを考える。 第3部 台湾：中国化から台湾化へ 【第10回】 開発独裁の時代：継続する「内戦」と台湾の「中国」化 内容：国民党が台湾に逃れて以降、どのような政治体制を構築し、台湾社会を治めたのかを理解する。

【第11回】米中和解の衝撃：政治の正統性の動揺と党外勢力の登場
内容：国民党が行った政治改革がなぜ民主化につながったのかを考える。

【第12回】繁栄と自立のジレンマ：台湾アイデンティティと中台関係
内容：台湾において民主主義が定着する中で、政権交代と中台関係がどのように関連しているのかを理解する。

【第13回】まとめ：中国と台湾の現代史を振り返る。
内容：授業全体を総括しながら、中国と台湾の現代史の特徴を考える。
本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間

事前学修：①事前にmanabaにアップされるレジュメを読み、わからない用語などを書籍やネットなどで調べてみましょう。②高校の歴史教科書や指定図書の該当箇所などを読み、各回が対象とする時代背景と基本事項を把握しておくことが望ましいです。③授業に関連する資料をmanabaにアップするので、事前に読んでおくこと。

事前・事後学
修の内容

事後学修：授業の内容の振り返りを行い、確認テストを受けること。確認テスト提出期限後、確認テストの解説動画をアップするので、視聴して解答を確認すること。わからなかった箇所などがあれば、指定図書や各回で示す参考文献リストにある書籍の該当箇所を読んで理解し、自分なりに整理することがより深い理解につながります。何か質問があれば、メールやオフィスアワーで随時対応します。

成績評価方
法・基準

①期末レポート（60%）：100点満点×0.6で算出。レポートの概要は授業で発表します。
②確認テスト（20%）：方法）授業レジュメを見ながら、確認テストに解答する。評価）減点式＝初回：20点（11回実施。1回行わないごとにマイナス2点。正解が10問中5問以下の場合にはマイナス1点。正解が2問以下であった場合はマイナス2点）
③リアクション・ペーパー（20%）：第5回授業後に課題を発表します。
以上、期末レポート、確認テスト、リアクション・ペーパーを合計して総合的に評価します。

課題（試験
やレポート
等）について
のフィードバック
方法

確認テスト、リアクション・ペーパー、期末レポートの成績はmanabaで公開する。確認テストおよびリアクション・ペーパーの解説を動画でアップするので、必要な人は確認すること。

（教科書）
使用せず。事前にmanabaにアップするレジュメを利用します。

（指定図書）
久保亨著『社会主義への挑戦—1945-1971』（シリーズ中国近現代史④）岩波書店、2011年
高原明生・前田宏子著『開発主義の時代—1972—2014』（シリーズ中国近現代史⑤）岩波書店、2014年
川島真・小嶋華津子編著『よくわかる現代中国政治』ミネルヴァ書房、2020年
若林正文『台湾の歴史』講談社、2023年

教科書・指定
図書

①2000年代以降の中国に関心がある学生は「中国研究I」を履修してください。
②レジュメを事前にmanabaにアップするので、受講生は印刷して持参するか、パソコンにダウンロードをしてください。授業中にレジュメの空欄部分に解答に書き込んだり、メモを取ったりしながら、授業を受けてください。スマホに授業内容をメモしながら受講するのは避けてください。スクリーンを撮影していると見える場合があります。
③スクリーンの写真撮影は禁止です。
④欠席した授業の次の回までに受講が難しい合理的な理由（病気、忌引き、就活、教育実習、部活など）があり、欠席する／したという連絡があれば、公欠扱いにするかどうか検討します（必ず公欠扱いになるわけではありません）。なお、欠席連絡があったとしても、確認テストの代替課題を提出しない場合は減点となります。
⑤毎回2回行われるrespon課題に解答していない場合、確認テストに解答しても無効とします。
⑥課題提出は時間厳守です。直前にアップしようとする、回線が混み合ったりして提出ができないことがあります。時間に余裕をもって提出してください。
⑦生成AIを使用してレポートなどを作成していると判断した場合、別途口頭試問を行います。
⑧何かわからないことがあれば遠慮なく質問してください。

履修上の留
意点
更新日

2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZA111
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2FA001300
講義名	東南アジア研究 I
担当者名	大泉 啓一郎
開講情報	春期 木曜日 1時限 522教室
単位数	2
受講可能学部	B/H/D/E/L/U/S
備考	

科目の趣旨	<p>東南アジアは近年目覚ましい経済発展を遂げ、かつASEANに象徴される地域的統合を進めている。本講義はこうした東南アジアの包括的な理解を目的とする。「東南アジア研究 I」では、地域の歴史的背景と地理的特質、第二次世界大戦後の歩み、ASEANの結成と進展—を取り上げ、また、東南アジア経済を事実上動かしている華僑・華人の役割と中国及び東南アジア各国の華僑政策を検討し、かつ考えていく。</p> <p>東南アジアは、日本と同様に古い歴史を持ち、民族、宗教、文化、政治体制などきわめて多様な地域である。この東南アジアに位置する11か国は、ASEANという国際協力機構を結成し、統合と協力を進め、2015年にはASEAN共同体を創設するなど、東アジアの経済統合をリードしている。</p> <p>他方で、日本と東南アジアの関係は、経済を中心に年々緊密化しており、私たちの将来において東南アジアとのかかわりはますます重要なものとなることは間違いない。</p> <p>本講義では、日本にとって、きわめて重要な地域となってきた東南アジアについて、</p> <p>①その自然、民族、社会など基本的な事項を学ぶとともに、</p> <p>②歴史を振り返ることで現在位置を確認する。</p> <p>本講義を通じて、</p> <p>① 東南アジアの国々が持つ多様な文化と社会、</p> <p>② ASEANという地域協力機構が多様性の中で創設した理由とその機能、</p> <p>を世界史のなかで理解し、東南アジアを含めてアジアの将来について、自分の意見と展望を持てるようになることを目指す。</p>
授業の内容	
科目の到達目標 (理解のレベル)	
授業形態	<p>講義</p> <p>教科書の該当箇所と講義資料を事前を読み、講義に参加すること。</p> <p>講義後に課題を提示するので、300～400字程度で作成・提出する。</p> <p>講義は、知識の一方的な提供ではなく、ともに考え理解することを目的とするため、個人の意見を重視する。また、講義への質問も歓迎する。</p> <p>現在、起きている東南アジアにおける事象や課題についても適宜解説する。講義中の質問も歓迎する。</p> <p>期末に課題レポートの提出 (2000字程度) を求める。</p> <p>必要に応じて補講をおこなう。</p>
授業方法	<p>【第1回】 4月23日</p> <p>なぜ東南アジアについて学ぶのか</p> <p>内容：私たちと東南アジアとの関係について概観する</p> <p>課題 (例)：東南アジアのイメージについて記せ</p> <p>【第2回】 4月30日</p> <p>多様な東南アジア</p> <p>内容：東南アジアの多様性を、地形・気候から理解する</p> <p>課題 (例)：東南アジアの地形・気候の特徴について述べよ</p> <p>【第3回】 5月7日</p> <p>植民地化以前の「くにぐに」</p> <p>内容：植民地化以前の東南アジアを理解する</p> <p>課題 (例)：曼荼羅国家の特徴について述べよ</p> <p>【第4回】 5月14日</p> <p>世界史に組み込まれる東南アジア</p> <p>内容：東南アジアの宗教の多様性を理解する</p> <p>課題 (例)：上座部仏教とイスラーム教の伝播の特徴を記せ</p> <p>【第5回】 5月21日</p> <p>植民地支配とその遺産</p> <p>内容：欧米列強国の植民地支配が何を残したかを理解する</p> <p>課題 (例)：プランテーション農業と複合国家の関係を説明せよ</p> <p>【第6回】 5月28日</p> <p>大東亜共栄圏と東南アジア</p> <p>内容：第2次世界大戦下における東南アジアと日本の関係を理解する</p> <p>課題 (例)：日本はなぜ東南アジアを植民地化したのかについて述べよ</p> <p>【第7回】 6月4日</p> <p>ナショナリズムの台頭と開発独裁</p> <p>内容：戦後の独立と国民統合の経緯を理解する</p>

課題（例）：各国の独立運動の違いについて述べよ

【第8回】 6月11日

冷戦構造と東南アジア

内容：ベトナム戦争を中心に冷戦構造と、東南アジアへの影響を理解する

課題（例）：ベトナム戦争はなぜ起こったのかについて述べよ

【第9回】 6月18日

グローバル化と経済成長

内容：東南アジアの経済発展のメカニズムを理解する

課題（例）輸出志向型工業化の特徴を説明せよ

【第10回】 6月25日

ASEANの創設と発展

内容：ASEANの機能を理解する

課題（例）：ASEAN Wayとは何か。それについての意見を述べよ

【第11回】 7月2日

ASEANと中国：新しいアジア経済の牽引役

内容：中国の台頭のなかでの東南アジアの現状と未来を議論する

課題（例）：東南アジアと中国の関係の特徴について述べよ

【第12回】 7月9日

ASEANと日本の関係をどう深めるか

内容：日本と東南アジアの関係を振り返り、未来を展望する

課題（例）：日本企業の東南アジアでの事業展開の特徴について述べよ

【第13回】 7月16日

東南アジア（ASEAN）の未来

内容：東南アジアの歴史を私たちの生活と結びつけて理解する

課題：（例）：東南アジア研究 I で学んだことをまとめよ

授業計画

事前・事後学

修に必要な時

間

教科書の該当箇所とmanabaに掲載された講義資料を読み、授業テーマを把握するとともに、重要な概念やキーワードなどを参考文献などにより事前に確認しておくこと。

東南アジアについては、ほぼ毎日のように新聞で報道されるので、関心を持って読むこと。質問があれば授業時間中に聞くこと。

事前・事後学と。

修の内容

成績評価方

法・基準

毎回の課題 80% 期末試験 20%

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

課題（試験

やレポート

等）について

のフィードバック

方法

教科書として 古田元夫『東南アジア史10講』岩波新書を指定する。

また参考図書として

教科書・指定

図書

岩崎育夫『入門 東南アジア近現代史』講談社現代新書を並行して読むことを勧める。

履修上の留

意点

更新日

私語、遅刻など授業の妨げとなる迷惑行為は厳禁する。

授業終了時に提示する課題についてmanabaで回答・提出した場合のみ出席とする。

2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZA112
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2FA001400
講義名	東南アジア研究Ⅱ
担当者名	大泉 啓一郎
開講情報	秋期 木曜日 1時限 522教室
単位数	2
受講可能学部	B/H/D/E/L/U/S

科目の趣旨 東南アジアは近年目覚ましい経済発展を遂げ、かつASEANに象徴される地域的統合を進めている。本講義はこうした東南アジアの包括的な理解を目的とする。「東南アジア研究Ⅱ」では、現代の東南アジアを理解するために、東南アジアの特徴について説明をした上で、主要国の政治と経済を中心に現状と課題を考察する。また、日本と東南アジアとの関係、とりわけ日本の政府開発援助 (ODA) が東南アジアの開発・発展に与えた影響を検討し、かつ考えていく。

東南アジアと日本の関係は年々緊密化している。
たとえば、日本から東南アジアに進出する企業は1万社を超え、日本の輸出入の15%を占める。すなわち、東南アジアの理解は不可欠な時代に私たちはいる。

本講義では、
①東南アジア各国の特徴について学ぶ。
②日本との関係を、1) 貿易、2) 投資、3) ODAの視点から学ぶ。

授業の内容 なお、本講義は「東南アジア研究Ⅰ」を受講していることを前提として講義する。

- ①東南アジアに属する国々の基本的知識を習得し、自分の言葉で説明できるようになる。
- ②東南アジアのニュースや日本との関係について理解を深め、自分の意見を持つことができるようになる。

科目の到達目標
(理解のレベル)

授業形態 講義

教科書の該当箇所と講義資料を読み、講義に参加すること。
講義後に、課題を提示するので、300～400字程度のレポートを作成・提出する。
講義は、知識の一方的な提供ではなく、ともに考え理解することを目的とするため、個人の意見を重視する。また、講義への質問も歓迎する。

現在、起きている東南アジアにおける事象や課題についても適宜解説する。

期末試験とともにレポートの提出 (2000字程度) を求める。

必要に応じて補講を行う (木曜日 5 時間目を予定) 。

【第1回】 10月8日

「東南アジアを考える視点」

内容：東南アジアと日本の関係を概観し、東南アジアの多様性について解説する

課題 (例)：東南アジアの共通する特徴について述べよ

【第2回】 10月15日

「島嶼部東南アジア (1)：インドネシア」

内容：インドネシアの政治・経済・社会の特徴を学ぶ

課題 (例)：インドネシアは多様性をいかに統治してきたかについて述べよ

【第3回】 10月22日

「島嶼部東南アジア (2)：マレーシア」

内容：マレーシアの政治・経済・社会の特徴を学ぶ

課題 (例)：マレーシアのプミブトラ政策について述べよ

【第4回】 10月29日

「島嶼部東南アジア (3)：東チモール、ブルネイ」

内容：東チモール、ブルネイの政治・経済・社会の特徴を学ぶ

課題 (例)：東チモール、ブルネイの独立過程について述べよ

【第5回】 11月5日

「島嶼部東南アジア (4)：シンガポール」

内容：シンガポールの政治・経済・社会の特徴を学ぶ

課題 (例)：シンガポールの開発独裁について述べよ

【第6回】 11月12日

「島嶼部東南アジア (5)：フィリピン」

内容：フィリピンの政治・経済・社会の特徴を学ぶ

課題 (例)：フィリピンの民主主義の特徴について述べよ

【第7回】 11月19日

「大陸部東南アジア (1)：ベトナム」

内容：ベトナムの政治・経済・社会の特徴を学ぶ

課題 (例)：ベトナムの「ドイモイ」政策の目標について述べよ

【第8回】 11月26日
「大陸部東南アジア（2）：カンボジア」
内容：カンボジアの政治・経済・社会の特徴を学ぶ
課題（例）：カンボジアの内戦について述べよ

【第9回】 12月3日
「大陸部東南アジア（3）：ラオス」
内容：ラオスの政治・経済・社会の特徴を学ぶ
課題（例）：ラオスと中国の関係について述べよ

【第10回】 12月10日
「大陸部東南アジア（4）：タイ」
内容：タイの政治・経済・社会の特徴を学ぶ
課題（例）：タイ経済社会はグローバル化にどう対処してきたかについて述べよ

【第11回】 12月17日
「大陸部東南アジア（5）：ミャンマー」
内容：ミャンマーの政治・経済・社会の特徴を学ぶ
課題（例）：ミャンマーのクーデタの背景と現状について述べよ

【第12回】 1月4日
「東南アジアからASEANへ」
内容：ASEANの発足の背景、役割について学ぶ
課題（例）：ASEANが経済統合をけん引する役割について述べよ

【第13回】 1月14日
「日本とASEAN：貿易・投資・援助」
内容：東南アジアと日本の貿易・投資関係の変化と特徴を学ぶ
課題（例）：日本企業の東南アジアでのビジネスの特徴について述べよ

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間

教科書の該当箇所とmanabaに掲載された講義資料を読み、授業テーマを把握するとともに、重要な概念やキーワードなどを参考文献などにより事前に確認しておくこと。

事前・事後学
修の内容

東南アジアについては、ほぼ毎日のように新聞で報道されるので、関心を持って読むこと。質問があれば授業時に聞くこと。

毎回の課題（80%）、定期試験（20%）

成績評価方
法・基準

課題（試験
やレポート
等）について
のフィードバック
方法

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

教科書・指定
図書

教科書は古田元夫『東南アジア史 10講』岩波新書とする（春季の東南アジア研究 I と同じ）

参考図書として
岩崎育夫『入門 東南アジア近現代史』講談社現代新書を読むことを勧める。

私語、遅刻など授業の妨げになる迷惑行為は厳禁する。
授業終了時に指示する課題への回答・提出をもって出席とする。

【注意】
本講義は、「東南アジア研究 I」を履修していることを前提とする。

履修上の留
意点
更新日

2026/3/18

開設	全学共通
カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連）	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
科目ナンバー	ZAa101
講義コード	2A2100100
講義名	アラビア語初級 I
担当者名	岡崎 弘樹
開講情報	春期 火曜日 4時限 7101教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/S

科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していく初級（読本）のクラスである。I（前期）では、先ず文字の暗唱と発音の練習、文の読み方と文意の理解など、最初に学ばなくてはならない重要な事柄をしっかりと学習していく。発音には特に重点を置く。学習の仕方は言語によって多少異なるが、正確な発音を覚え、正しく読んで、文意を理解できるようにすることは、どの言語でも同じであり、この科目の目指すところである。 1) アラビア語とアラブ文化について初めて学ぶ学生を対象とする。アラビア文字の仕組みと母音記号について、またアラビア語独特の発音を有する文字について十分時間をかけて丁寧に説明する。
授業の内容	2) スキットを題材とした教科書を使用。毎回の授業の中で一つずつ、日常的なあいさつのフレーズを丸暗記して、実践的に使ってみる。 3) 講師と生徒、あるいは生徒同士でロール・プレイを行い、相手に通じる発音でとにかくアラビア語を口に出して慣れ親しむ。 1) 学生は、アラビア語の文字（独立形と連結形）と母音記号について、またアラビア語独特の発音を有する文字についてしっかり理解し、発音に慣れることを目指す。
科目の到達目標 （理解のレベル）	2) 名詞・形容詞の性、双数、規則複数、不規則複数を知り、「AはBである」という文章をさまざまな形で作ることが可能になる。 3) アラビア文字で自分や友人の名前を表記し、簡単に自己紹介することができる。あいさつを柱とした日常会話を覚え、またそれをアラビア文字で表記できることを目標とする。
授業形態	演習 1) 対面で授業を実施する。
授業方法	2) 定期的に取り組みテストを実施し、提出する。あるいはスライドを用いたオーラルテストも実施。講師による添削を受ける。 3) 紙媒体あるいはオンラインの辞書を使って単語を調べて暗記する。受講生の理解度を確認しながら進めていくが、以下の予定となる。
	【第1回】 アラビア語の世界、言語の特徴、歴史、使用地域や文化的役割についてのガイダンス。アラビア語の文字。独立形と連結形（アルファからザイまで）。習った文字で単語を作って書いてみる練習を行う。
	【第2回】 アラビア語の文字。独立形と連結形（ザイからハムザまで）。習った文字で単語を作って書いてみる練習。日常会話フレーズとして「アルハムドリッター」。
	【第3回】 教科書第1課「ようこそ」。あいさつ練習。2語の名詞文アラビア語の文字。日常会話フレーズとして「マア・サラーマ」「イラー・リカー」。
	【第4回】 教科書第2課「あなたは東京出身ですか?」。1人称・2人称の主格。疑問文。名詞の性。日常会話フレーズとして「ビスミッラー」。
	【第5回】 教科書第3課「お元気ですか?」。非限定とタンウィーン。1人称・2人称の属格。形容詞の性。「AはBである」の文を練習。日常会話フレーズとして「インシャー・アッラー」。
	【第6回】 教科書第4課「彼女の名前はファティマです」。指示代名詞。3人称の主格・属格。女性名詞。長母音記号を使った50音の表記と名前の書き方と「私の名前は〇〇です」という言い方の練習。日常会話フレーズとして「マー・シャー・アッラー」。
	【第7回】 教科書第5課「おはようございます」。定冠詞「アル」。日常会話フレーズとして「ワッラーヒ」。
	【第8回】 教科書第6課「これはエジプトのパンですか?」。名詞を修飾する形容詞。「この～」の表現。日常会話フレーズとして「マブルーク」。

【第9回】

教科書第7課「アラビア語を学んだことがありますか？」。動詞（完了形①）。動詞の目的語（対格）。前置詞に続く名詞（属格）。人称代名詞の対格。日常会話フレーズとして「シュクラン」と「アフワン」。

【第10回】

教科書第8課「あなたに兄弟はいますか？」。動詞（完了形②）。所有表現（～を持っている）。前置詞＋人称代名詞（属格）。日常会話フレーズとして「アフワン」と「アーシフ」。

【第11回】

教科書第9課「私たちは今ピラミッドの前にはいます」。人称代名詞（複数）。完了形の活用。主語と動詞の語順。副詞一名詞の対格用法。日常会話フレーズとして「タファッダル」と「ミン・ファドゥリカ」。

【第12回】

教科書第10課「ラクダに乗ったことがありますか」。定型複数（男性形・女性形）。完了形のパターンと活用のまとめ。

【第13回】

これまでの総まとめ。「AはBである」「AはBを行った」というさまざまな文章を作る。またアラビア語を使って、自己紹介カードを作成する。

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間

1) 初級では授業前の予習よりも、授業後の復習を重視する。学習事項を振り返り、書写、発音を繰り返して練習しておくこと。また添削を受けた小テストを必ず見直し、適切な形で書けるように練習すること。

2) 教科書あるいは別途配布する復習用の練習問題を解き、自分で答え合わせすること。

事前・事後学
修の内容

3) アラビア語が使用されている国々や地域を紹介したサイトやアラビア語が使われている映画を紹介するので、それらを教材として見て問題意識を高めておくこと。

成績評価方
法・基準

毎回の出席と課題（書き取り・オーラルテスト）提出が60%。最終試験が40%で評価する。最終試験の前に、練習問題でポイントを確認する。書き取り・オーラルテストは、授業時に実施する。最終試験は6割以上の正答を求める。

1) 提出された書き取りテストは採点をして翌週に学生に直接返却する。

2) 最終試験の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。また採点を終えた解答用紙を今後の学習に関するアドバイスやコメントをつけてmanabaで返却する。

課題（試験
やレポート
等）につい
てのフィード
バック
方法

(教科書)

竹田敏之『ニューエクスプレス アラビア語』白水社、2019 978-4560088609

(参考書等)

竹田敏之『アラビア語表現とことんトレーニング』白水社 2013 978-4560086483

新妻仁一『アラビア語文法ハンドブック』白水社 2009 978-4560068021

(オンライン辞書)

<http://www.linca.info/alladin/>

教科書・指定
図書

アラビア語を学ぶ上で一番大切なことは、とにかく「口に出して何度も練習してみる」ということです。習い始めたときは何ら分からなくても、一種の「スポーツ」だと思って反復練習をしていれば、そのうち何となく「身体化」します。日常会話フレーズを毎回覚えるのもその一環です。覚えた表現を使って旅行先や日本在住のネイティブとコミュニケーションできたときには、最高の喜びに浸れるでしょう。新しい世界と自分を発見するためにも、ぜひとも「勇気」（シュジャーア）をもってチャレンジしましょう。

履修上の留
意点
更新日

2026/3/18

開設	全学共通
カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連）	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
科目ナンバー	ZAa102
講義コード	2A2100200
講義名	アラビア語初級Ⅱ
担当者名	岡崎 弘樹
開講情報	秋期 火曜日 4時限 7101教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/S
備考	
科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していく初級（読本）のクラスである。Ⅱ（後期）では、読み方と訳し方について勉強していくことになる。学習の仕方は言語によって多少異なるが、正確な発音を覚え、正しく読んで、文意を理解できるようにすることは、どの言語でも同じであり、この科目の目指すところである。 1）アラビア語初級（前期）で学習した内容を踏まえ、簡単な会話文を用いながらアラビア語の基本文法の確認をしていく。アラビア語は導入段階に十分な時間をかけて学習しなければならない言語であり、前期で学習した内容を何度も繰り返して確認することも必要になる。 2）新しい会話表現や文法事項も履修生の意欲を維持し高めるために取り上げていくが、丁寧に履修生の理解を何度も確かめながら扱っていく。講師と生徒、あるいは生徒同士でロール・プレイを行い、「相手に通じる発音」でとにかくアラビア語を口に出して慣れ親しむ。 3）またアラビア語に親しむことも初級の重要なポイントであり、そのためにアラビア語が使用されている国々や地域に関する映画や小説、タイムリーな話題を紹介していく。
授業の内容	1）学生は、正則アラビア語の基礎文法を全体的に理解する。とくに規則動詞と不規則動詞、派生形の完了形と未完了形の使い方、比較・最上級、イダーファ表現、数詞などを習得することを目指す。 2）アラビア語の発音に慣れ親しむとともに、単語が会話や文章の中で使われる場合の音声変化について、注意して発音できるように練習を重ねることが重要になる。 3）会話については音声上の到達目標に加えて、アラビア語の使用されている国々や地域の生活様式や宗教的背景について説明するので、それぞれ当該地域の文化について理解し、関心を高めることが求められる。
科目の到達目標 （理解のレベル）	
授業形態	演習 1）対面で授業を実施する。 2）定期的に書き取りテストを実施し、提出する。あるいはオーラルテストも実施。講師による添削を受ける。
授業方法	3）紙媒体あるいはオンラインの辞書を使って単語を調べて暗記する。 受講生の理解度を確認しながら進めていくが、以下の予定となる。 【第1回】 既習事項（教科書第1課～第10課）の復習。「AはBである」「AはBを行った」などのフレーズの復習。 【第2回】 教科書第11課「日本には数多くの大学がありますか?」。複数名詞（モノ）。存在表現（～がある・いる）。未完了形のパターン・活用。 【第3回】 教科書第12課「コシャリを食べたことはありません」。非定型複数形。2段変化の名詞。完了時制の否定（要求法）。理由の表現（なぜなら～）。 【第4回】 教科書第13課「書店に行きたいです」。派生形動詞（気に入る、～が欲しい）。未完了形の接続法。 【第5回】 教科書第14課「どちらより近いですか?」。比較級・最上級。「どちらがより～ですか」の表現。「～と思う」の用法。 【第6回】 教科書第15課「電話をお借りできますか?」。イダーファ表現。「どうしましたか?」「～を失った」「～しなければならない」の表現。許可の表現。 【第7回】 教科書第16課「もしもし、～ですけど」。電話の表現。名詞分の否定とライサの用法。カーナ動詞の活用と用法。 【第8回】 教科書第17課「広場に行きたいのですが」。命令形。ワーウ動詞。禁止の表現。 【第9回】 教科書第18課「私は青色が好きです」。派生形動詞「～を好む」「～をより好む」。疑問詞アイユほか。色を表す形容詞。

【第10回】
教科書第19課「値引きしてもらえますか?」。数詞の用法。数量を尋ねる疑問詞カムの用法。

【第11回】
教科書第20課「エジプトで何日過ごしましたか?」。数詞の用法。

【第12回】
初級で学んだ文法事項全体の確認と練習問題。

【第13回】
これまでの総まとめ。

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

1) 初級では授業前の予習よりも、授業後の復習を重視する。学習事項を振り返り、書写、発音を繰り返して練習しておくこと。また添削を受けた小テストを必ず見直し、適切な形で書けるように練習すること。

2) 教科書あるいは別途配布する復習用の練習問題を解き、自分で答え合わせすること。

3) アラビア語が使用されている国々や地域を紹介したサイトやアラビア語が使われている映画を紹介するので、それらを教材として見て問題意識を高めておくこと。

毎回の出席と課題（書き取り・オーラルテスト）提出が60%。最終試験が40%で評価する。最終試験の前に、練習問題でポイントを確認する。書き取り・オーラルテストは、授業時に実施する。最終試験は6割以上の正答を求める。

1) 提出された書き取りテストは採点をして翌週に学生に直接返却する。

2) 最終試験の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。また採点を終えた解答用紙を今後の学習に関するアドバイスやコメントをつけてmanabaで返却する。

(教科書)

竹田敏之『ニューエクスプレス アラビア語』白水社、2019 978-4560088609

(参考書等)

竹田敏之『アラビア語表現とことんトレーニング』白水社 2013 978-4560086483

新妻仁一『アラビア語文法ハンドブック』白水社 2009 978-4560068021

(オンライン辞書)

<http://www.linca.info/alladin/>

アラビア語を学ぶ上で一番大切なことは、とにかく「口に出して何度も練習してみる」ということです。習い始めたときは何ら分からなくても、一種の「スポーツ」だと思って反復練習をしていけば、そのうち何となく「身体化」します。日常会話フレーズを毎回覚えるのもその一環です。覚えた表現を使って旅行先や日本在住のネイティブとコミュニケーションできたときには、最高の喜びに浸れるでしょう。新しい世界と自分を発見するためにも、ぜひとも「勇気」（シュジャーア）をもってチャレンジしましょう。

2026/3/18

開設	全学共通
カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連）	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
科目ナンバー	ZAa103
講義コード	2A2100300
講義名	アラビア語初級Ⅲ
担当者名	平野 貴大
開講情報	春期 金曜日 3時限 7402教室（AL）
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/S
備考	
科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していくもう一つの初級（文法）クラスである。Ⅲ（前期）では、先ず発音と読み方を覚えた後、動詞と名詞の特徴を学んでいく。学習の方法は、言語の性質や教材によって異なるが、文法を習得しながら文章を理解していくことは、初級の学習には欠かせない勉強法の一つである。ここでは、名詞や動詞を始めとするいろいろな品詞の形態とその使い方を学びながら、言葉の体系と文の構造を学習していく。 この授業は、アラビア語を一から学んでいくものです。特に文字の読み書きと、基礎的な文法を学びます。まずは文字の読み書きの練習から始めます。アラビア語は英語のようなローマ字ではなく、独自のアラビア文字で書かれます。アラビア文字は組み合わせで形が変わったりして、最初は慣れるのに時間がかかるかもしれませんが、一度覚えてしまえば、暗号のような文字がローマ字と同じように意味のあるものとして感じられるはずです。外国語を学上では文法の理解は不可欠です。そこで、文字を覚えた後は、名詞の使い方、文章の作り方、そして動詞の使い方を学んでいきます。ここまで来れば、後は自分のことをアラビア語で簡単に説明できるようになるでしょう。
授業の内容	アラビア語アルファベットの28文字を問題なく書けるようにします。また、それぞれの文字の発音を学んでいきます。その後は、名詞について学びますが、名詞には男性名詞と女性名詞があります。この違いは最後の文字を見ればすぐにわかるので、名詞の性別の見分け方、文の中での使い方を勉強していきます。その後、名詞を並べて簡単な文章を作れるようにします。最後に簡単な動詞を学んで、動詞を使った文を作れるようにします。
科目の到達目標 （理解のレベル）	
授業形態	演習 この授業は講義と演習の両方であると考えてください。まず、こちらから文法の説明をします。その後で実際に演習するという形です。
授業方法	指定の教科書をベースにしなが、受講生のペースに合わせてゆっくり進めていきます。授業では前回までに習ったことを復習することから始めて、大切なことは繰り返し復習します。授業はこちらからの一方的なものにならないようにし、毎回受講生とのコミュニケーションを心がけます。これを通じて、1人1人に適切な指導をします。 【第1回】イントロダクション この授業の方針、評価方法の説明、受講生の関心を聞く、など。 【第2回】アラビア文字の読み書き： 最初の14文字を実際に書いて発音練習。実際に手で書いてみて、綺麗に書けるように練習する。 【第3回】アラビア文字の読み書き： 残りの14文字を実際に書いて発音練習。実際に手で書いてみて、綺麗に書けるように練習する。 【第4回】アラビア文字の読み書き 文字と文字をつなげて書けるようにする。実際に手で書いてみて、綺麗に書けるように練習する。 【第5回】挨拶、名詞をつなげて文をつくる 教科書1課「ようこそ」から学んでいき、挨拶を覚える。 【第6回】名詞をつなげて文をつくる、自己紹介 教科書2課「あなたは東京出身ですか」。1人称、2人称を学ぶ。 【第7回】名詞の格、名詞の性 教科書3課「お元気ですか」、男性名詞と女性名詞 【第8回】名詞の格、名詞の性別 教科書4課「彼女の名前はファティマです」3人称の表現を学んでいく。 【第9回】定冠詞alと不定の違い 教科書5課「おはようございます」、母音記号も学んでいく。 【第10回】「AはBである」、「AはBではない」、「AはBですか？」 教科書6課これらの基本的な文を読んで内容を理解できるようにする。 【第11回】動詞の完了形 教科書7課「アラビア語を学んだことがありますか？」 【第12回】未完了形の練習 【第13回】文法テストと答え合わせ
授業計画 事前・事後学	これまでに習った内容の確認。進み具合にもよるが教科書では最初から第7課くらい。 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

修に必要な時間	予習は余力のある受講生以外はあまりなくて構いません。むしろ、アラビア語は初めて習う言語ですので、復習を大事にしてください。毎回の授業ではこちらで重要事項は解説し、板書でも示します。それをノートにメモしてもらい、次の授業までに見直してきてください。
事前・事後学習の内容	また、成績評価に課題を入れています。課題はmanabaかプリントで配布しますので、それを取り組み提出してください。わからないことがあれば、いつでも質問してください。
修の内容	<p>平常点 30% 課題 20% 期末試験 50%</p> <p>平常点は出席点ではなく、授業への取り組みです。私語、授業中のスマホ等の使用、別の授業の課題に取り組むなど、は一度であっても大幅に減点します。また、欠席や大幅な遅刻は減点対象とします。</p> <p>課題はそれまでの内容の復習として文法問題を出したりします。課題の出来だけではなく、期限内にきちんと提出できているかも課題の評価の対象としています。</p>
成績評価方法・基準	文法テストはこれまでの内容が理解できているかを試す筆記試験です。
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこないます。
教科書・指定図書	<p>教科書：竹田敏之『ニューエクスプレスプラス アラビア語』白水社、2019年。</p> <p>参考書：新妻仁一『アラビア語文法ハンドブック』白水社、2009年。</p>
履修上の留意点	初めて学ぶ言語ですので、一度でも休むと、次の授業がたいへんかもしれません。もし何かわからないことがあれば、いつでも気兼ねなく質問してください。
更新日	2026/3/18

開設	全学共通
カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連）	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
科目ナンバー	ZAa104
講義コード	2A2100400
講義名	アラビア語初級Ⅳ
担当者名	平野 貴大
開講情報	秋期 金曜日 3時限 7402教室（AL）
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/S
備考	
科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していくもう一つの初級（文法）クラスである。Ⅳ（後期）では、基礎的な種々の文法事項について勉強していく。学習の方法は、言語の性質や教材によって異なるが、文法を習得しながら文章を理解していくことは、初級の学習には欠かせない勉強法の一つである。ここでは、名詞や動詞を始めとするいろいろな品詞の形態とその使い方を学びながら、言葉の体系と文の構造を学習していく。 この授業は、前期で学んだアラビア語文法の基礎をもとに、動詞を使った文章を中心に文法を学んでいきます。後期のは前期の内容を発展させるものです。そのため、最初の2回の授業では文字の書き方からもう一度復習し、前期までの内容を定着させていきます。英語は過去形、現在形、未来形と3つの時制がありましたが、アラビア語の動詞の時制は完了形と未完了形の2つです。この2つの時制の使い方を覚えれば、アラビア語の文章はだいぶ読めるようになります。授業では教科書の表現だけではなく、皆さんも楽しく読めるような文章をたくさん紹介したいと思います。文の読み方にも慣れながら、アラビア語の動詞の時制、名詞の格変化、数の表現などを学んでいきます。
授業の内容	アラビア文字は何でもきちんと、また、きれいに書けるようにします。そして、単語を並べて文を作れるようにし、相手に何かを質問したり、相手からの質問に否定で答えたりができるようにします。また、動詞を使った文を読み書きできるようにします。このような文法・表現を学ぶことで、最終的には簡単な文を読んで理解できるようにします。アラビア語の時制を使い分けて、主に過去を表す完了形、主に現在・未来を表す未完了形の活用を教科書を見ずにできるようにします。
科目の到達目標 （理解のレベル）	
授業形態	演習 この授業は講義と演習の両方であると考えてください。まず、こちらから文法の説明をします。その後で実際に演習するという形です。
授業方法	指定の教科書をベースにしなが、受講生のペースに合わせてゆっくり進めていきます。授業では前回までに習ったことを復習することから始めて、大切なことは繰り返し復習します。授業はこちらからの一方的なものにならないようにし、毎回受講生とのコミュニケーションを心がけます。これを通じて、1人1人に適切な指導をします。 【第1回】イントロダクション 文字の書き方、母音記号の付け方から確認していく。前期に習った内容で苦手な部分を確認。 【第2回】完了形、前置詞 8課「あなたに兄弟はいますか？」完了形、前置詞、「～を持っている」 【第3回】完了形、前置詞 9課「私たちはいまピラミッドのまえにいます」主語が複数の場合の完了形 【第4回】動詞の完了形、前置詞の復習 練習問題、作文、日訳 【第5回】男性複数 10課「私たちはいまピラミッドのまえにいます」前半 【第6回】女性複数 11課「日本には多くの大学がありますか」 【第7回】動詞の未完了形 11課および12課「コシャリを食べたことはありません」 【第8回】動詞の未完了形 13課「「サラーム」書店に行きたいです」 【第9回】～したい 14課「どちらがより近いですか」 【第10回】比較級・最上級 14課から。 【第11回】未完了形と比較級・最上級の復習 【第12回】文法試験 【第13回】文法試験解説、総復習
授業計画 事前・事後学修に必要な時	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

間	<p>予習は余力のある方以外はあまりしなくて構いません。むしろ、アラビア語は初めて習う言語ですので、復習を大事にしてください。毎回の授業ではこちらで重要事項は解説し、板書でも示します。それをノートにメモしてもらい、次の授業までに見直してください。</p> <p>また、成績評価に課題を入れています。課題はmanabaかプリントで配布しますので、それを取り組み提出してください。わからないことがあれば、いつでも質問してください。</p>
事前・事後学修の内容	<p>平常点 30% 課題 20% 期末試験 50%</p> <p>平常点は出席点ではなく、授業への取り組みです。私語、授業中のスマホ等の使用、別の授業の課題に取り組むなど、は一度であっても大幅に減点します。また、欠席や大幅な遅刻は減点対象とします。</p> <p>課題はそれまでの内容の復習として文法問題を出したりします。課題の出来だけではなく、期限内にきちんと提出できているかも課題の評価の対象としています。文法事項は時間を空ければどうしても忘れてしまうものですから、定期的に課題を出していきます。</p>
成績評価方法・基準	<p>期末試験はこれまでの内容が理解できているかを試す筆記試験です。</p>
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	<p>本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこないます。</p> <p>前期と同じ教科書です。</p> <p>教科書：竹田敏之『ニューエクスプレスプラス アラビア語』白水社、2019年。</p>
教科書・指定図書	<p>参考書：新妻仁一『アラビア語文法ハンドブック』白水社、2009年。</p> <p>この授業でわからなかったことがあれば、また、前期を受講していなかったり、前期のことでわからないことがなどあれば、いつでも気兼ねなく質問してください。</p>
履修上の留意点	<p>一度欠席すると追いつくのが難しいかもしれないので、毎回の出席をお願いします。</p>
更新日	2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZAi101
カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連）	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A2200100
講義名	インドネシア語初級 I 1組
担当者名	小笠原 健二
開講情報	春期 水曜日 3時限 226教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/S
備考	
科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していく初級（読本）のクラスである。I（前期）では、先ず文字の暗唱と発音の練習、文の読み方と文意の理解など、最初に学ばなくてはいけない重要な事柄をしっかりと学習していく。発音には特に重点を置く。学習の仕方は言語によって多少異なるが、正確な発音を覚え、正しく読んで、文意を理解できるようにすることは、どの言語でも同じであり、この科目の目指すところである。 本講座は、これからこの言葉を学んでみたいと希望する初学者を対象にした読本のクラスです。しかし、講義の当初から書物が読めるわけではありません。読本にいたるまでの助走訓練が大切になることでしょう。こうした見地から、本講座では、インドネシアの日常生活に最低限必要とされる読解力の習得をめざしますが、その授業内容は発音ならびに基本的な文章構造を理解することが中心となります。この基礎を踏まえた上で、読本に必要な基本的な文法の知識を充実させることとなります。教本の第5課まで進む予定であります。
授業の内容	本講座の授業を通じて、インドネシア語の歴史的背景と言語的特徴が理解できます。これに続いて、発音と基本的文章構造を理解できるようになります。これらの学習を通じて、平易な文章を正しく読むために必要とされる基本的文法事項の習得を目標とします。そのため、本講座では発音ならびに基本的な文章構造を理解することが中心の授業内容となります。この基礎を踏まえた上で、読本に必要な基本的な文法の知識を充実させることとなります。
科目の到達目標 （理解のレベル）	
授業形態	演習
授業方法	本講座では、配布教材の各課にある文法事項をしっかりと学び、その内容を十分に理解したのちに練習問題を解くこととなります。さらに、各課でポイントとなる重要事項を盛り込んだ課題にも挑戦してもらいます。その課題の内容は、日本語文をインドネシア語文に訳出するものです。 【第1回】イントロダクション 内容：今後の授業運営についての説明。 【第2回】言語と文化（1） 内容：インドネシア語の歴史的背景を、植民地支配を中心とした世界史的視野から説明する。 【第3回】言語と文化（2） 内容：インドネシア社会の構造的特徴を説明し、そこにおける二人称の重要性を指摘する。 【第4回】インドネシア語の特徴（1） 内容：英語との比較を通じて、いかにインドネシア語が学ぶに容易な言語であるかを説明する。 【第5回】インドネシア語の特徴（2） 内容：基本的な文章構造を説明することで、インドネシア語の特徴をまとめる。 【第6回】文字と発音 内容：①母音 ②子音 ③二重母音 ④注意すべき発音を中心に説明する。 【第7回】定期試験とその解説 内容：定期試験（筆記）を実施し、その後その内容について解説する。併せてこれまでの授業の総復習を行う。 【第8回】基本的表現 内容：日常生活を送る上で欠かすことのできない最重要の挨拶表現を学習する。 【第9回】人称代名詞 内容：基本的な人称代名詞を学ぶことと併せて、最も重要な二人称の用法5点について説明をする。 【第10回】指示代名詞 内容：基本的な指示代名詞を学ぶことと併せて、文章の句切り方法、アクセント、付加疑問文を説明する。 【第11回】疑問詞 内容：インドネシア語の作文作業を通じて、基本的な疑問詞を学ぶ。さらに疑問詞の特殊用法も学習する。 【第12回】数詞 内容：基数詞を億の単位まで言えるようにし、併せて序数、助数詞、分数についても説明する。 【第13回】期末試験とその解説、総括 内容：定期試験（筆記）を実施し、その後その内容について解説する。これまでに学習してきた内容を大所高所から俯瞰することで、インドネシア語の体系的な理解へと導く。 事前・事後学習に必要の時 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

間	授業は配布教材に沿って進むので、予習を十全に行い、授業に臨んでください。疑問点等は授業中または授業後に随時受け付けるので、積極的に質問をしてください。復習については、語彙の習得に意識を集中することが重要となります。授業後に適宜「課題」を出しますので、これを行うことでしっかりと授業内容を復習し、確実に理解を深めてください。本講義の単位数を授業外学習に換算すると、指定テキストの冒頭から第5課の範囲に相当します。予習・復習には各1時間が必要となります。
事前・事後学修の内容	
成績評価方法・基準	成績の評価方法は、授業内での積極的な学習態度（平常点）と定期試験の評価によります。平常点では、授業に取り組む姿勢（たとえば質疑応答の頻度など）を中心にして評価を行います。定期試験は中間試験と期末試験を実施し、学習に対する理解程度を判定します。平常点を30%、定期試験点を70%として最終評価を行い、60%以上を得点することで、本講座の合格点に達することとなります。授業に三分の二以上出席していることが、単位取得の前提条件となります。
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	プリント教材を配布し、これを教科書とします。
履修上の留意点	教員からの連絡を確認するためにも、亜大ポータルやmanabaを常に確認する習慣を身につけてください。
更新日	2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAI102 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A2200200 インドネシア語初級Ⅱ1組 小笠原 健二 秋期 水曜日 3時限 226教室 1 B/D/E/L/I/S
科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していく初級（読本）のクラスである。Ⅱ（後期）では、読み方と訳し方について勉強していくことになる。学習の仕方は言語によって多少異なるが、正確な発音を覚え、正しく読んで、文意を理解できるようにすることは、どの言語でも同じであり、この科目の目指すところである。 前期に引き続き、基本的な文法事項を、配布教材を中心にして学習します。ここでは、前期で学習した初級レベルの基礎をもとに、文章読解に必要とされる文法事項をさらに学び深めます。こうした見地から、本講座では、インドネシアの日常生活に最低限必要とされる読解力の習得をめざしますが、その授業内容は基本的な文章構造を理解することが中心となります。この基礎を踏まえた上で、読本に必要な基本的な文法の知識をさらに充実させることになります。教本の第10課まで進む予定であります。インドネシア語とインドネシア社会に対する理解がさらに確実なものとなるよう、より多くビデオを観る予定であります。
授業の内容	このクラスでは、これまでに習得した文章構造の知識、文法事項の知識、獲得した語彙を総動員して、簡単な読物が読解できるようになります。こうした読解が可能となることで、インドネシア人が日々楽しむ笑い話やなど、あるいは平易な物語（民話や童話など）を読むことができます。こうした能力をそのまま援用することで、インドネシア語技能検定試験（E級）の読解問題が理解できるレベルになりましょう。この技能検定試験は公式的な履歴書にも記載が可能な資格試験となっております。
科目の到達 目標 （理解のレベル）	
授業形態	演習
授業方法	本講座では、前期と同様に、配布教材の各課にある文法事項をしっかりと学び、その内容を十分に理解したのちに練習問題を解くこととなります。さらに、各課でポイントとなる重要事項を盛り込んだ課題にも挑戦してもらいます。その課題の内容は、日本語文をインドネシア語文に訳出してもらうものです。インドネシア語とインドネシア社会に対する理解がさらに確実なものとなるよう、より多くビデオを観る予定であります。 【第1回】イントロダクション 内容：今後の授業運営についての説明、manabaとZoomの使用活用方法についての説明。 【第2回】総復習 内容：前期で学んできた第5課までを、文章構造の理解を中心にして俯瞰的総復習する。 【第3回】時刻 内容：時刻の表現の仕方を、3種類学習する。これに伴い、時刻表現に関わる重要な付帯事項を説明する。 【第4回】時間 内容：時間単位の表現、時間量の尋ね方、時間量を表す前置詞、熟語的表現を学習する。 【第5回】年月日、曜日 内容：年号、月名、曜日名、年月日・曜日の発話順序、年月日・曜日の尋ね方、X年前・X年後の言い方を学ぶ。 【第6回】その他の日時関連表現 内容：「今日の昼」の3種類の言い方、去年・今年・来年の言い方、日時関連表現における付帯事項を説明する。 【第7回】定期試験 内容：定期試験（中間試験）を実施し、試験後にその内容について解説を行い、併せて質疑応答も実施する。 【第8回】語根動詞、ber-動詞 内容：動詞を3種類に区分し説明する。ここでは語根動詞とber-動詞の基本的用法・意味を説明する。ber-については、動詞以外の用法も解説する。 【第9回】me-動詞 内容：me-動詞が5種類から成ることを説明し、そのそれぞれの相違点を明らかにする。me-動詞を取り除く作業を行うことで、辞書の引き方を学ぶ。 【第10回】命令文、依頼文 内容：命令文の特徴を理解することで、依頼文の各種表現を学ぶ。とりわけTolong-とMinta-について詳説する。 【第11回】読物（1） 内容：これまで学習してきた文章構造、文法事項、基本的語彙に関わる知識を総動員することで、平易な内容の笑い話、などなどを読解する。 【第12回】読物（2） 内容：これまでの知識を総動員することで、最新のインドネシア語検定技能試験E級に実際に出題された読物を読解する。 【第13回】定期試験

授業計画 事前・事後学 修に必要な時 間	内容：定期試験（期末試験）を実施し、試験後にその内容について解説を行う。併せて総括、重要表現の復習、質疑応答も行う。 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。
事前・事後学 修の内容	前期と同様に、授業は配布教材に沿って進むので、予習を十全に行い、授業に臨んでください。疑問点等は授業中または授業後に随時受け付けるので、積極的に質問をしてください。復習については、文法事項が比較的平易であるため、語彙の習得に意識を集中することが重要となります。本講義の単位数を授業外学習に換算すると、配布教材の第6課から第10課の範囲に相当します。予習・復習には各1時間が必要となります。
成績評価方 法・基準	成績の評価方法は、授業内での積極的な学習態度（平常点）と定期試験の結果（試験点）によります。平常点では、授業に取り組む姿勢（たとえば質疑応答の頻度など）を中心にして評価を行います。試験点では、試験内容を点数化し、理解程度を判定します。平常点を30%、試験点を70%として最終評価を行い、60%以上を点数することで、本講座の合格点に達することとなります。授業に三分の二以上出席していることが、単位取得の前提条件となります。
課題（試験 やレポート 等）について のフィードバック 方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定 図書	プリント教材を配布し、これを教科書として使用する。
履修上の留 意点	教員からの連絡を確認するためにも、亜大ポータルやmanabaを常に確認する習慣を身につけてください。
更新日	2026/3/18

開設	全学共通
カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連）	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
科目ナンバー	ZAi103
講義コード	2A2200300
講義名	インドネシア語初級Ⅲ1組
担当者名	フェロニカ R.
開講情報	春期 水曜日 4時限 243教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/S
備考	
科目の趣旨	<p>初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していくもう一つの初級（文法）クラスである。Ⅲ（前期）では、先ず発音と読み方を覚えた後、動詞と名詞の特徴を学んでいく。学習の方法は、言語の性質や教材によって異なるが、文法を習得しながら文章を理解していくことは、初級の学習には欠かせない勉強法の一つである。ここでは、名詞や動詞を始めとするいろいろな品詞の形態とその使い方を学びながら、言葉の体系と文の構造を学習していく。</p> <p>インドネシア語はアルファベットで表記する言語であり、その発音はローマ字読みとなります。文章構造は英語に準じており、私たち日本人にとっては学びやすい言語と言えます。</p> <p>この言語を効率的に習得すべく、まず初めにプリント教材を複数回にわたり音読み込み込むことで、発音とアクセントの指導を行います。その後、重要語彙・新出語彙の意味と用法を確認し、併せて重要文法事項についての解説を行います。以上の作業を完了させた後で、それらの語彙・文法事項を用いて、日本語文からインドネシア語文への作文練習を行います。この作文練習を通じて、インドネシア語の文章構造をより深く理解することができます。その後、グループに分かれて対話練習を行い、さらにロールプレイを繰り返し行うことで、インドネシア語の会話能力の向上をはかります。</p>
授業の内容	<p>プリント教材を用いて、インドネシア語の動詞と名詞を中心にした語彙力・文法力の増強を図ります。この作業を通じて、日常生活で頻出する定型的文章を習得することができます。さらに、この定型的文章を、対話練習とロールプレイ練習を通じて円滑に運用することで、双方向の会話力（すなわち発話力と聴解力）を養うことができます。別言すれば、インドネシア語技能検定試験E級レベルの会話力育成を到達目標にできるということです。</p>
科目の到達目標 （理解のレベル）	
授業形態	演習
授業方法	<p>本講座では、受講生に可能な限り多くのインドネシア語を聞いてもらい、可能な限り多くの発話をしてもらおうことを心がけています。講師から受講生への一方通行の授業ではなく、双方向の授業にしたいと思います。授業の前半では、まず新出語彙と文法事項を説明し、その後作文練習を行います。これにより、インドネシア語の文章構造をより深く理解してもらいます。授業後半では、対話練習とロールプレイ練習を中心に据え、会話力を養います。これらの学習を通じて、インドネシア語の総合力を養います。</p> <p>【第1回目】イントロダクション 内容：今後の授業運営についての説明。</p> <p>【第2回目】Perkenalan 内容：自己紹介（挨拶、私の名前は～、私は～に住んでいます、私は～出身です、等）</p> <p>【第3回目】Ini-itu 内容：指示代名詞、人称代名詞（これは～ですか、それは誰ですか、彼はインドネシア人です、等）</p> <p>【第4回目】Keluarga-1 内容：家族（私は3人兄弟です、私の父は教師です、母は主婦です、家には2匹のネコがいます、等）</p> <p>【第5回目】Keluarga-2 内容：プレゼンテーション（それぞれの学生が自らの家族について発表をする。その後その内容について質疑応答を行う）</p> <p>【第6回目】Aktivitas-1 内容：日常生活（私は6時に起きます、朝～を食べました、昼に～へ行きました、～まで2時間かかります、等）</p> <p>【第7回目】Aktivitas-2 内容：プレゼンテーション（それぞれの学生が自らの日常生活について発表をする。その後その内容について質疑応答を行う）</p> <p>【第8回目】Kamar-1 内容：部屋（私の部屋は狭いですが清潔です、部屋には～があります、～がありません、部屋の壁は～色です、等）</p> <p>【第9回目】Kamar-2 内容：プレゼンテーション（それぞれの学生が自らの部屋について発表をする。その後その内容について質疑応答を行う）</p> <p>【第10回目】Rumah-1 内容：家（私の家は～にあります、家の前には～があります、～がありません、駅から家までは～、等）</p> <p>【第11回目】Rumah-2 内容：プレゼンテーション（それぞれの学生が自らの家について発表をする。その後その内容について質疑応答を行う）</p> <p>【第12回目】Kantin 内容：学食（～を食べます、ここには～があります、～と食事をします、ここでは何がおいしいですか、等）</p>

【第13回目】定期試験ならびに総括

内容：定期試験を実施し、併せてこれまでに学習してきた内容を大所高所から俯瞰することで、インドネシア語の体系的理解へと導く。

授業計画

事前・事後学 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

修に必要な時間

事前にプリント教材を配布するので、予習を十全に行い、授業に臨んでください。少なくとも新出語彙を確認すること、どのような内容が扱われるかを確認することが肝要となります。疑問点等は授業中または授業後に随時受け付けるので、積極的に質問をしてください。復習については、文法事項が比較的平易であるため、語彙の習得に意識を集中することが重要となります。授業後に適宜「課題」を出しますので、これを行うことでしっかりと授業内容を復習し、確実に理解を深めてください。予習・復習には各1時間が必要となります。

事前・事後学 修の内容

成績の評価方法は、授業内での学習態度と課題の提出状況（平常点）、ならびに各回のプレゼンテーション内容と会話試験（プレゼンテーション点）によります。

平常点を30%、定期試験点とプレゼンテーション点を70%とします。平常点では、授業に取り組む姿勢（たとえば質疑応答の頻度など）と提出課題の内容を中心に評価を行います。プレゼンテーション点では、発表された内容と期末に実施する会話試験を点数化します。合計60%以上を得点することで、本講座の合格点となります。授業に三分の二以上出席していることが、単位取得の前提条件となります。

成績評価方法・基準

課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

教科書・指定図書

各回プリント教材を配布します。

履修上の留意点

教員からの連絡を確認するためにも、亜大ポータルやmanabaを常に確認する習慣を身につけてください。

更新日

2026/3/18

開設	全学共通
カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連）	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
科目ナンバー	ZAi104
講義コード	2A2200400
講義名	インドネシア語初級IV1組
担当者名	フェロニカ R.
開講情報	秋期 水曜日 4時限 243教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/S
備考	
科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していくもう一つの初級（文法）クラスである。IV（後期）では、基礎的な種々の文法事項について勉強していく。学習の方法は、言語の性質や教材によって異なるが、文法を習得しながら文章を理解していくことは、初級の学習には欠かせない勉強法の一つである。ここでは、名詞や動詞を始めとするいろいろな品詞の形態とその使い方を学びながら、言葉の体系と文の構造を学習していく。 前期と同様に、インドネシア語を効率的に習得できるように十分な配慮を行います。 まず初めにプリント教材を複数回にわたり音読し読み込むことで、発音とアクセントの指導を行います。その後、重要語彙・新出語彙の意味と用法を確認し、併せて重要文法事項についての解説を行います。以上の作業を完了させた後で、それらの語彙・文法事項を用いて、日本語文からインドネシア語文への作文練習を行います。この作文練習を通じて、インドネシア語の文章構造をより深く理解することができます。その後、グループに分かれて対話練習を行い、さらにロールプレイを繰り返し行うことで、インドネシア語の会話能力（聴解力と発話力）の向上をはかります。
授業の内容	プリント教材を用いて、インドネシア語の動詞と名詞を中心にした語彙力・文法力の増強を図ります。この作業を通じて、日常生活で頻出する定型的文章を習得することができます。さらに、この定型的文章を、対話練習とロールプレイ練習を通じて円滑に運用することで、双方向の会話力（すなわち発話力と聴解力）を養うことができます。別言すれば、インドネシア語技能検定試験E級レベルの会話力育成を到達目標にできるということです。
科目の到達目標 （理解のレベル）	
授業形態	演習
授業方法	受講生に可能な限り多くのインドネシア語を聞いてもらい、可能な限り多くの発話をしてもらうことを心がけます。講師から受講生への一方通行の授業ではなく、双方向の授業にしたいと思います。授業の前半では、まず新出語彙と文法事項を説明し、その後作文練習を行います。これにより、インドネシア語の文章構造をより深く理解してもらいます。授業後半では、対話練習とロールプレイ練習を中心に据え、会話力を養います。これらの学習を通じて、インドネシア語の総合力の向上を図ります。 【第1回目】イントロダクション 内容：今後の授業運営についての説明、前期に学習してきた内容の総復習、ならびに質疑応答。 【第2回目】Hobi-1 内容：趣味（私の趣味は～です、月曜日に講座があります、～で行います、～と一緒に楽しみます、等） 【第3回目】Hobi-2 内容：プレゼンテーション（それぞれの学生が自らの趣味について発表をする。その後その内容について質疑応答を行う） 【第4回目】Musim di Jepang-1 内容：日本の季節（日本には四季があります、春には桜が咲きます、花見をします、雪合戦をします、等） 【第5回目】Musim di Jepang-2 内容：プレゼンテーション（それぞれの学生が自らの好きな季節について発表をする。その後その内容について質疑応答を行う） 【第6回目】Musim di Indonesia 内容：インドネシアの季節（インドネシアには雨期と乾期があります、雨期には何の果物がおいしいですか、等） 【第7回目】Banjir di Indonesia 内容：インドネシアの洪水（いつ洪水が起きますか、被害はどの程度ですか、犠牲者は何人ですか、等） 【第8回目】Aktivitas di Rumah 内容：家での日常生活（テレビを観る、本を読む、インターネットで動画を観る、携帯電話で音楽を聞く、等） 【第9回目】Toko Batik-1 内容：ジャワ更紗の店（更紗の服を買いたい、試着をしたい、服のサイズや色を選ぶ、支払う、等） 【第10回目】Toko Batik-2 内容：プレゼンテーション（それぞれの学生が自らの買い物について発表をする。その後その内容について質疑応答を行う） 【第11回目】Tempat Wisata di Bali-1 内容：バリ島の観光地（バリには寺院がある、美しい海岸がある、おいしい～がある、～のお土産がある、等） 【第12回目】Tempat Wisata di Bali-2 内容：プレゼンテーション（それぞれの学生が自らの最近の旅行について発表をする。その後その内容について質疑応答を行う） 【第13回目】定期試験ならびに総括

授業計画	内容：定期試験を実施します。質疑応答、これまで実施してきたプレゼンテーションの講評。
事前・事後学修に必要な時間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。
事前・事後学修の内容	<p>事前にプリント教材を配布するので、予習を十全に行い、授業に臨んでください。少なくとも新出語彙を確認すること、どのような内容が扱われるかを確認することが肝要となります。疑問点等は授業中または授業後に随時受け付けるので、積極的に質問をしてください。復習については、文法事項が比較的平易であるため、語彙の習得に意識を集中することが重要となります。授業後に適宜「課題」を出しますので、これを行うことでしっかりと授業内容を復習し、確実に理解を深めてください。予習・復習には各1時間が必要となります。</p> <p>成績の評価方法は、授業内での学習態度と課題の提出状況（平常点）、ならびに各回のプレゼンテーション内容と会話試験（プレゼンテーション点）によります。</p> <p>平常点を30%、定期試験点とプレゼンテーション点を70%とします。平常点では、授業に取り組む姿勢（たとえば質疑応答の頻度など）と提出課題の内容を中心に評価を行います。プレゼンテーション点では、発表された内容と期末に実施する会話試験を点数化します。合計60%以上を得点することで、本講座の合格点となります。授業に三分の二以上出席していることが、単位取得の前提条件となります。</p>
成績評価方法・基準	
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	各回プリント教材を配布します。
履修上の留意点	教員からの連絡を確認するためにも、亜大ポータルやmanabaを常に確認する習慣を身につけてください。
更新日	2026/3/18

開設	全学共通
カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連）	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
科目ナンバー	ZAi201
講義コード	2A2201100
講義名	インドネシア語中級 I
担当者名	ハフサリ D.
開講情報	春期 金曜日 4時限 7214教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/U
備考	
科目の趣旨	外国語初級を履修した学生がさらに力をつけるために学んでいく科目の一つが、読解の学習である。ここでは、ある程度まとまった内容の読み物をじっくり読んでいくことになる。教材を通して、読み方と文法の確認を行いながら、読解力の向上に努めていく。 本講座では、インドネシア語を効率的に習得できるよう十分な配慮を行います。
授業の内容	まず初めにプリント教材を複数回にわたり音読し読み込むことで、発音とアクセントの指導を行います。その後、重要語彙・新出語彙の意味と用法を確認し、併せて重要文法事項についての解説を行います。以上の作業を完了させた後で、それらの語彙・文法事項を用いて、日本語文からインドネシア語文への作文練習を行います。この作文練習を通して、インドネシア語の文章構造をより深く理解すると同時に、日常生活で多用される定型的な文章を習得することができます。その後、グループに分かれて対話練習を行い、さらにロールプレイを繰り返し行うことで、インドネシア語の会話能力の向上をはかります。プリント教材を用いて、インドネシア語の動詞と名詞を中心にした語彙力・文法力の増強を図ります。この作業を通じて、日常生活で頻出する定型的文章を習得することができます。さらに、この定型的文章を、対話練習とロールプレイ練習を通じて円滑に運用することで、双方向の会話力（すなわち発話力と聴解力）を養うことができます。別言すれば、インドネシア語技能検定試験E～D級レベルの会話力育成を到達目標にできるといことです。
科目の到達目標 （理解のレベル）	
授業形態	演習
授業方法	本講座では、受講生に可能な限り多くのインドネシア語を聞いてもらい、可能な限り多くの発話をしてもらうことを心がけています。講師から受講生への一方通行の授業ではなく、双方向の授業にしたいと思います。授業の前半では、まず新出語彙と文法事項を説明し、その後作文練習を行います。これにより、インドネシア語の文章構造をより深く理解してもらいます。授業後半では、対話練習とロールプレイ練習を中心に据え、会話力を養います。これらの学習を通じて、インドネシア語の総合力を養います。 【第1回】ガイダンス 内容：今後の授業運営についての説明。 【第2回】挨拶・自己紹介 内容：挨拶、丁寧な表現（ありがとう、すみません、ごめんなさい、お願いします、どうぞ）と自己紹介 【第3回】私について 内容：自分のことについて話す（私は～に住んでいます、趣味は～です、私の町は～です、最寄り駅は～です、私は～が好きです、～が嫌いです） 【第4回】私の家 内容：家の部屋、家庭用品、日常の家事 【第5回】家族メンバー・人の特徴 内容：（彼／彼女は背が高い、髪が短い、白い服を着ている、眼鏡をかけている、など） 【第6回】日常生活 内容：（私は～時に起きます、それから顔を洗います、～の前に、～の後で、～しながら、など） 【第7回】時間を言う 内容：曜日と日付、約束をする、予定をたずねる 【第8回】道をたずねる 内容：場所をたずねる（～はどこですか）、道を説明する（～は～の前・後ろ・隣にあります／左・右に曲がる／まっすぐ行くなど）、距離・所要時間を言う（歩いてほしい～分です） 【第9回】散歩・公共施設の紹介 内容：家の周りの様子について話す、（家の近くに～があります、～は～のための場所です、～は～に使われます、など） 【第10回】買い物 内容：物を買う、値段・サイズ・色をたずねる、レジで支払う 【第11回】発表1 内容：アイドル・憧れの人 【第12回】発表2 内容：アイドル・憧れの人 【第13回】総括、質疑応

授業計画	内容：これまで学んだ内容を振り返り、重要な表現を復習し、質疑応答を行う。
事前・事後学修に必要な時間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。
事前・事後学修の内容	<p>事前にプリント教材を配布するので、予習を十全に行い、授業に臨んでください。少なくとも新出語彙を確認すること、どのような内容が扱われるかを確認することが肝要となります。疑問点等は授業中または授業後に随時受け付けるので、積極的に質問をしてください。復習については、文法事項が比較的平易であるため、語彙の習得に意識を集中することが重要となります。授業後に適宜「課題」を出しますので、これを行うことでしっかりと授業内容を復習し、確実に理解を深めてください。予習・復習には各1時間が必要となります。</p> <p>成績の評価方法は、授業内での学習態度と課題の提出状況（平常点）、ならびに各回のプレゼンテーション内容（プレゼンテーション点）によります。</p> <p>平常点を50%、プレゼンテーション点を50%とします。平常点では、授業に取り組む姿勢（たとえば小テスト、質疑応答の頻度など）と提出課題の内容を中心に評価を行います。プレゼンテーション点では、発表された内容を判定し点数化します。合計60%以上を得点することで、本講座の合格点となります。授業に三分の二以上出席していることが、単位取得の前提条件となります。</p>
成績評価方法・基準	
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	<p>各回プリント教材を配布します。</p> <p>教員からの連絡を確認するためにも、亜大ポータルやmanabaを常に確認する習慣を身につけてください。</p>
履修上の留意点	
更新日	2026/3/18

開設	全学共通
カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連）	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
科目ナンバー	ZAi202
講義コード	2A2201200
講義名	インドネシア語中級Ⅱ
担当者名	ハフサリ D.
開講情報	秋期 金曜日 4時限 7214教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/U
備考	

科目の趣旨	<p>外国語中級Ⅰと同様に読解力の向上を目標とする。学習の仕方は、外国語中級Ⅰと変わりはないが、教材の読み物を最後まで正確に読んでいく。易しくとも、一冊のテキストを終わりまで読みきくことは、学習者にとって大きな自信となるはずである。本講座では、インドネシア語を効率的に習得できるよう十分な配慮を行います。</p> <p>まず初めにプリント教材を複数回にわたり音読し読み込むことで、発音とアクセントの指導を行います。その後、重要語彙・新出語彙の意味と用法を確認し、併せて重要文法事項についての解説を行います。以上の作業を完了させた後で、それらの語彙・文法事項を用いて、日本語文からインドネシア語文への作文練習を行います。この作文練習を通じて、インドネシア語の文章構造をより深く理解すると同時に、日常生活で多用される定型的な文章を習得することができます。その後、グループに分かれて対話練習を行い、さらにロールプレイを繰り返し行うことで、インドネシア語の会話能力の向上をはかります。</p> <p>プリント教材を用いて、インドネシア語の動詞と名詞を中心にした語彙力・文法力の増強を図ります。この作業を通じて、日常生活で頻出する定型的文章を習得することができます。さらに、この定型的文章を、対話練習とロールプレイ練習を通じて円滑に運用することで、双方向の会話力（すなわち発話力と聴解力）を養うことができます。別言すれば、インドネシア語技能検定試験E～D級レベルの会話力育成を到達目標にできるということです。</p>
授業の内容	
科目の到達目標 （理解のレベル）	
授業形態	演習
授業方法	<p>本講座では、受講生に可能な限り多くのインドネシア語を聞いてもらい、可能な限り多くの発話をしてもらうことを心がけています。講師から受講生への一方通行の授業ではなく、双方向の授業にしたいと思います。授業の前半では、まず新出語彙と文法事項を説明し、その後作文練習を行います。これにより、インドネシア語の文章構造をより深く理解してもらいます。授業後半では、対話練習とロールプレイ練習を中心に据え、会話力を養います。これらの学習を通じて、インドネシア語の総合力を養います。</p> <p>【第1回】ガイダンス 内容：今後の授業運営についての説明。</p> <p>【第2回】食べ物とレストラン 内容：好きな食べ物を言う、メニューやおすすめをたずねる、食べ物や飲み物を注文する</p> <p>【第3回】天気・季節・習慣 内容：いろいろな天気を言う、季節について話す／好きな季節を言う、天気や特定の季節に合った活動や習慣を話す</p> <p>【第4回】好きな祭り 内容：好きな祭りを言う、祭りの時期や場所を説明する、祭りの活動や雰囲気を読む、祭りの名物料理やイベント、その祭りが好きな理由を言う</p> <p>【第5回】私の町の交通 内容：交通手段の種類を言う（バス、電車、タクシーなど）、路線や行き先をたずねる、出発時刻や到着時刻をたずねる、運賃や切符の値段をたずねる、切符や交通系カードを買う・使う</p> <p>【第6回】私の国の観光地 内容：有名な観光地を挙げる、観光地の場所や行き方を説明する、観光地でできる活動を話す、観光地の特徴や魅力を説明する、その観光地が好きな理由、またはおすすめる理由を述べる</p> <p>【第7回】将来の夢 内容：将来の夢とその理由を述べる、夢を実現するための努力を述べる、子どもの頃の夢と今の夢、自分の夢に影響を与えた人や出来事、これから5～10年で達成したいこと</p> <p>【第8回】空港で 内容：チェックインの時間と手荷物／預け荷物を預ける、搭乗口（ゲート）と出発時間を尋ねる、空港の入国審査で、機内で：座席を探す、食事や飲み物を注文する、毛布をお願いする など</p> <p>【第9回】ホテルで 内容：チェックイン・チェックアウト、ホテルの設備について尋ねる（Wi-Fi、朝食、プールなど）、ホテルの部屋で（鍵、エアコン、バスルームなど）、トラブルや要望を伝える</p> <p>【第10回】旅行中のトラブル 内容：スーツケースが取り違えられた・紛失した、病気になった／体調が悪い、持ち物をなくした・スリに遭った、係員や周りの人に助けを求める</p> <p>【第11回】発表1 内容：私の好きなレストラン</p>

【第12回】発表2
内容：私の好きなレストラン

【第13回】総括、質疑応

内容：これまで学んだ内容を振り返り、重要な表現を復習し、質疑応答を行う。

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

事前にプリント教材を配布するので、予習を十全に行い、授業に臨んでください。少なくとも新出語彙を確認すること、どのような内容が扱われるかを確認することが肝要となります。疑問点等は授業中または授業後に随時受け付けるので、積極的に質問をしてください。復習については、文法事項が比較的平易であるため、語彙の習得に意識を集中することが重要となります。授業後に適宜「課題」を出しますので、これを行うことでしっかりと授業内容を復習し、確実に理解を深めてください。予習・復習には各1時間が必要となります。

成績の評価方法は、授業内での学習態度と課題の提出状況（平常点）、ならびに各回のプレゼンテーション内容（プレゼンテーション点）によります。

平常点を50%、プレゼンテーション点を50%とします。平常点では、授業に取り組む姿勢（たとえば小テスト、質疑応答の頻度など）と提出課題の内容を中心に評価を行います。プレゼンテーション点では、発表された内容を判定し点数化します。合計60%以上を得点することで、本講座の合格点となります。授業に三分の二以上出席していることが、単位取得の前提条件となります。

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

各回プリント教材を配布します。

教員からの連絡を確認するためにも、亜大ポータルやmanabaを常に確認する習慣を身につけてください。

2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAI203 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A2201300 インドネシア語中級Ⅲ 深尾 康夫 春期 金曜日 3時限 7213教室 1 B/D/E/L/I/U
科目の趣旨	外国語初級を履修した学生がさらに語学力の向上を図っていくもう一つの学習が、文法を体系的に理解していくことである。外国語中級Ⅲでは、テキストに従いながら、これまでの学習で見落としていた部分や不十分だった知識を確認し、少しずつ言葉の体系や文の構造を学んでいく。
授業の内容	本授業は、日本人教員とネイティブ教員によるチームティーチング授業の日本人教員担当部分である。当初初級文法の復習（語根動詞、Ber動詞、Me動詞、Me動詞、Me-i動詞、Me-kan動詞、Memper動詞他）を行う。その後、中級文法（各種命令依頼表現、受動態構文、関係代名詞他）の解説に進む。また授業内容に応じ、適宜、映画、ドラマ、ドキュメンタリーなどDVD教材やインターネットを通じた映像を鑑賞する。 本科目の到達目標は、先ず初級授業で学んだ基礎文法の上に中級文法を学習し、履修者がより複雑な文章を理解し作れるようにすることである。特に初級授業の最後で学んだMe動詞は中級レベルで学ぶ各種命令依頼表現、受動態、関係代名詞の構文において重要な役割を担うので、その理解は確かなものにした。語学レベル的にはインドネシア語検定E～D級合格程度の力を旨とする。
科目の到達 目標 （理解のレベル）	
授業形態	演習
授業方法	当初教員がテキストに沿って文法を解説、プリントを配布ないしmanaba経由配信し、復習/応用問題に取り組む。初級文法の復習、中級文法の解説と並行し、適宜理解度を確認するための小テストや課題レポートを指示する。 【第1回】授業概要説明、初級文法復習1（語根動詞、Ber動詞、Me動詞他） 【第2回】初級文法復習2（Me-i動詞） 【第3回】初級文法復習3（Me-kan動詞） 【第4回】初級文法復習4（Memper動詞） 【第5回】中級文法解説（各種命令依頼表現1/自動詞） 【第6回】中級文法解説（各種命令依頼表現2/他動詞） 【第7回】中級文法解説（1～2人称受動態構文） 【第8回】中級文法解説（3人称受動態構文） 【第9回】中級文法解説（関係代名詞yang用法/主語や形容詞の強調） 【第10回】中級文法解説（関係代名詞yang用法/日常会話でのyang他） 【第11回】中級文法解説（関係代名詞yang用法/複雑な構文を整理する働き） 【第12回】中級文法解説（関係代名詞＋受動態構文） 【第13回】第5回から第12回までの復習と知識の確認
授業計画 事前・事後学 修に必要な時 間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。 当初事前学習としては、テキスト該当箇所を目を通しながら配付ないし配信済み練習問題プリント他に再度取り組む形の初級文法復習を推奨する。他方中級文法解説においては、文法事項がより複雑なのでテキスト該当箇所を一読する程度の予習で十分である。むしろ事後学習の方を重視している。具体的に中級文法解説では、毎回の授業で学習した内容についてテキストや練習問題を点検すること、補助的に配付ないし配信した問題プリントの解答に努めることにより理解を確かなものにして欲しい。
事前・事後学 修の内容	◆小テスト・小課題50% ◆確認テスト（筆記試験）ないしレポート提出40% ◆平常点10% 初級授業内容を復習する小テスト、エッセイ型課題（エッセイを読解し内容に関する設問に答える）、中級授業内容を復習する小テスト（受動態、関係代名詞など）、エッセイ型確認テストないし課題レポートを予定している。筆記試験か課題レポートになるかは履修者の理解度や授業状況により決めるので課題の作成、提出に取り組んで欲しい。なお履修者の積極的姿勢はそのまま平常点に反映される。
成績評価方 法・基準 課題（試験 やレポート 等）について のフィードバック	本授業での課題（レポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanabaやメールを通じておこなう。

方法

[教科書]

- ◆ 深尾康夫 & ディア・ハフサリ「ビジネス/生活で使えるインドネシア語ダイアログ」三修社、2016年
- ◆ 佐々木重次編「最新インドネシア語小辞典第1.5版」Grup sanggar、2020年

教科書・指定
図書

- ◆ 配布プリント

辞書は指定辞書を用いる。ネット辞書の使用は、必ず指定辞書で単語を確認することを条件として認めるが、基本的に予習時の参考用にすぎない。履修者は、指定辞書を用いず携帯スマホで検索閲覧可能なネット辞書だけに頼りすぎないように努める。

指示連絡や課題レポートの回収などは、教室、メール、manabaを通じて行う。

履修上の留
意点
更新日

2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAI204 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A2201400 インドネシア語中級Ⅳ 深尾 康夫 秋期 金曜日 3時限 7213教室 1 B/D/E/L/I/U
科目の趣旨	読解と並んで文章構造の体系的理解は、次へのステップに欠かせない重要な学習である。外国語中級Ⅳでは、外国語中級Ⅲと同様に文法体系の理解を目標とする。各言語独自の慣用的な表現や言い回しなどを学ぶことで、今までの知識を補強し、言葉の構造と特徴を理解していく。 本授業は、日本人教員とネイティブ教員によるチームティーチング授業の日本人教員担当部分である。当初中級文法の復習（主に受動態構文、関係代名詞yang用法など）を終えた後、接辞pe-/per-、接辞-an、接辞pe-an、接辞per-an、接辞ke-an、接辞ter-などの文法解説に進む。その後配布/配信するプリント（エッセイ）の読解和訳を指導する。エッセイはインドネシアの日常生活に関するものだが、インドネシアの社会文化に対する理解を深めることにつながる。また授業内容に応じ、適宜映画、ドラマ、ドキュメンタリーなどDVD教材やインターネットを通じた映像を鑑賞する。
授業の内容	本科目の到達目標は、先ず初級授業で学んだ基礎文法の上に中級文法を学習し、履修者がより複雑な文章を理解し作れるようにすることである。又エッセイの読解和訳を通じ、学習してきた文法事項を文章全体の中で自然に理解する力を備えさせることである。同時に単語力を強化することも重要な目的となる。語学レベル的にはインドネシア語検定E～D級合格程度の力を目指す。
科目の到達 目標 （理解のレ ベル） 授業形態	演習
授業方法	当初教員がテキストに沿って文法を解説、プリントを配布ないしmanaba経由で配信し、履修者は復習/応用問題に取り組む。初級文法の復習、中級文法の解説と並行し、適宜理解度を確認するための小テストや課題レポートを指示する。中級文法解説終了後の読解和訳は、配布/配信プリントのエッセイを予習、授業で報告、講師の指導を受け、翌週授業時にレポートを提出する形で進む。必要に応じて適宜補足的に文法を解説する 【第1回】授業概要説明、中級文法復習1（受動態構文：Me動詞） 【第2回】中級文法復習2（受動態構文：Me-i動詞、Me-kan動詞、Memper動詞） 【第3回】中級文法復習3（関係代名詞yang用法：形容詞や主語を強調するyang、日常会話でのyang） 【第4回】中級文法復習4（関係代名詞yang用法：複雑な構文を整理する「つなぎ」機能） 【第5回】中級文法復習5（関係代名詞yang＋受動態） 【第6回】中級文法解説（接辞pe-/per-用法） 【第7回】中級文法解説（接辞-an、接辞-nya用法、傷病時表現sakit） 【第8回】中級文法解説（接辞pe-an/per-an用法） 【第9回】中級文法解説（接辞ke-an用法：過度表現、被害動詞他） 【第10回】中級文法解説（接辞ke-an用法：名詞） 【第11回】中級文法解説（接辞ter-用法） 【第12回】中級文法解説（各種接続詞：sebelum/sesudah/sehingga/ketika/waktu） 【第13回】第6回から第11回の復習と知識の確認
授業計画 事前・事後学 修に必要な時 間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。 当初事前学習としては、テキストや練習問題プリントの該当箇所を目を通しておくこと、事後学習としては、毎回の授業で学習した内容についてテキストや練習問題を点検することなどを推奨する。読解和訳については、事前に配布/配信するプリントの予習が不可欠であり、授業での報告後レポート提出になるので、その作業がそのまま復習となる。授業時に指摘された修正コメントをよく思い出してレポートを完成させることが重要である。
事前・事後学 修の内容	◆小テスト・小課題50% ◆読解レポート提出40% ◆平常点10% 中級授業内容を復習する小テストやエッセイ型課題（エッセイを読解し内容に関する設問に答える）、中級授業内容を復習する小テスト（受動態構文や関係代名詞など）、エッセイ型課題レポートを予定している。筆記試験は実施しない予定なので、レポート作成に取り組んで欲しい。なお授業時履修者の授業参加や積極的姿勢はそのまま平常点に反映される。
成績評価方 法・基準	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanabaやメールを通じておこなう。
課題（試験 やレポート	

等) についての
フィードバック
方法

[教科書]

◆ 深尾康夫 & ティア・ハフサリ「ビジネス/生活で使えるインドネシア語ダイアログ」三修社、2016年

教科書・指定
図書

◆ 佐々木重次編「最新インドネシア語小辞典第1.5版」Grup sanggar、2020年

辞書は指定辞書を用いる。ネット辞書の使用は、必ず指定辞書で単語を確認することを条件として認めるが、基本的に予習時の参考用にすぎない。履修者は、指定辞書を用いず携帯スマホで検索閲覧可能なネット辞書だけに頼りすぎないように努める。

履修上の留
意点
更新日

指示連絡や課題レポートの回収などは、教室、メール、manabaを通じて行う。

2026/3/18

開設 科目ナンバー	全学共通 ZAI205
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A2201500
講義名	インドネシア語中級V
担当者名	小笠原 健二
開講情報	春期 水曜日 2時限 226教室
単位数	1
受講可能学部	E/L/I
備考	
科目の趣旨	外国語初級を一通り学習した学生がその知識をさらに確かなものにしていく実践的な学習が、表現能力の訓練である。ここでは、簡単な日常の事柄を外国語で表現できるようにすることを目標とし、各言語独自の言い回しや言葉の使い方などを中心に学び、作文力や会話能力の向上を目指す。 本講座では、初級で培った発音の仕方、アクセントの置き方、文章構造の理解、文法事項の知識、獲得した語彙を用いて、実際の新聞・雑誌に掲載された文章を読解します。作文では、教員が作成する日本語文（インドネシアで多用される定型的表現）をインドネシア語文に直します。これらの作業を実施することで、さらに一層、文章構造の理解や文法の知識を深め、中級レベルの語彙を獲得し、聴解力を訓練することになります。教材は2～3回の授業で一話完結する程度の内容を予定しています。
授業の内容	この講座の授業を通じて、これまでに習得した文章構造の理解、文法事項の知識、獲得した語彙を総動員して、中級レベルの読物が読解でき、文章を作ることができ、そして会話ができるようになります。これらの学習を通じて、インドネシアの日常生活で多用される表現を読解し、作文し、そして発話することが可能となりましょう。インドネシア語技能検定試験のE級ならびにD級問題を理解し、この技能検定試験に合格できるレベルになりたいと思います。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	演習
授業方法	本講座では、それぞれの読解・作文・会話のプリント教材を学習しながら、そのプリントにおける文法、文章構造、語彙などを理解するよう努めます。さらに、各プリントでポイントとなる重要事項を盛り込んだ課題にも挑戦してもらいます。こうした作業を通じて、インドネシア語の文章構造や文法事項をさらに深く理解できるようになります。 【第1回】イントロダクション 内容：今後の授業運営についての説明。 【第2回】読解：インドネシアの民話（1） 内容：Anjing dan Tiram 【第3回】同上（2） 内容： 【第4回】作文：日常生活で使われる表現（1） 内容：挨拶表現（こんにちは、ご機嫌いかがですか、お出かけですか、新年おめでとうございます、日本へようこそ、等）を作文する。 【第5回】同上（2） 内容：時間、時刻表現（いま何時ですか、どれくらい時間がかかりますか、3分後に出かけます、等）を作文する。 【第6回】同上（3） 内容：困ったときの表現（助けてください、頭痛薬を買ってきてください、警察に連絡してください、等）を作文する。 【第7回】定期試験ならびに解説、質疑応答 内容：定期試験（筆記）を実施し、その後解説と質疑応答を行う。 【第8回】読解：インドネシアのマンガ（1） 内容：Doraemon 【第9回】同上（2） 内容：Su Yi Membantu Harimau 【第10回】作文：日常生活で使われる表現（4） 内容：ショッピングでの表現（これはいくらですか、値引きしていただけますか、高すぎます、等）を作文する。 【第11回】同上（5） 内容：病気・怪我をした際の表現（右手を怪我しました、お腹で痛みます、血液型はA型です、等）を作文する。 【第12回】インドネシア語技能検定試験E級 内容：これまでの知識を総動員することで、最新のインドネシア語検定技能試験E級に実際に出題された問題を解く。 【第13回】定期試験ならびに総括 内容：定期試験（筆記）を実施し、その後解説を行う。これまでに学習してきた内容を大所高所から俯瞰することで、インドネシア語の体系的な理解へと導く。
授業計画 事前・事後学 修に必要な時	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

間	授業はプリント教材に沿って進むので、予習を十全に行い、授業に臨んでください。少なくとも新出語彙を確認すること、どのような内容が扱われるかを確認することが肝要となります。疑問点等は授業中または授業後に随時受け付けるので、積極的に質問をしてください。復習については、語彙の習得に意識を集中することが重要となります。本講義の予習・復習には各1時間が必要となります。
事前・事後学修の内容	成績の評価方法は、授業内での積極的な学習態度（平常点）と定期試験（試験点）によります。平常点では、授業に取り組む姿勢（たとえば質疑応答の頻度など）を中心にして評価を行います。試験点では、中間試験と期末試験を実施し、学習内容の理解程度を判定します。平常点を30%、試験点を70%として最終評価を行い、60%以上を得点することで、本講座の合格点に達することとなります。授業に三分の二以上出席していることが、単位取得の前提条件となります。
成績評価方法・基準	
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	各回プリント教材を配布します。
履修上の留意点	教員からの連絡を確認するためにも、亜大ポータルやmanabaを常に確認する習慣を身につけてください。
更新日	2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAI206 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A2201600 インドネシア語中級VI 小笠原 健二 秋期 水曜日 2時限 226教室 1 E/L/I
科目の趣旨	より高度な事柄を外国語で表現できるようにすることを目標とする。学習の仕方は、外国語中級Vと変わりはないが、作文では、より上手な文章作りができるよう学習し、会話では、適切な言葉や慣用表現が上手に使えるように練習していく。 本講座では、前期と同様、これまでに培った発音の仕方、アクセントの置き方、文章構造の理解、文法事項の知識、獲得した語彙を用いて、実際の新聞・雑誌に掲載された文章を読解します。作文では、教員が作成する日本語文（インドネシアで多用される定型的表現）をインドネシア語文に直します。これらの作業を実施することで、さらに一層、文章構造の理解や文法の知識を深め、中級レベルの語彙を獲得し、聴解力を訓練することになります。教材は2～3回の授業で一話完結する程度の内容を予定しています。
授業の内容	前期と同様ですが、この講座の授業を通じて、これまでに習得した文章構造の理解、文法事項の知識、獲得した語彙を総動員して、中級レベルの読物が読解でき、文章を作ることができ、そして会話ができるようになります。これらの学習を通じて、インドネシアの日常生活で多用される表現を読解し、作文し、そして発話することが可能となりましょう。インドネシア語技能検定試験のE級ならびにD級問題を理解し、この技能検定試験に合格できるレベルになりたいと思います。
科目の到達 目標 (理解のレ ベル) 授業形態	演習 本講座では、それぞれの読解・作文・会話のプリント教材を学習しながら、そのプリントにおける文法、文章構造、語彙などを理解するよう努めます。さらに、各プリントでポイントとなる重要事項を盛り込んだ課題にも挑戦してもらいます。その課題の内容は、日本語文をインドネシア語文に訳出してもらうものです。こうした作業を通じて、インドネシア語の文章構造や文法事項をさらに深く理解できるようになります。
授業方法	【第1回】イントロダクション 内容：今後の授業運営についての説明。併せて前期の総復習を行う。 【第2回】読解：インドネシアの民主主義（1） 内容：第1節 植民地支配から独立インドネシアへ至るまでの歴史的背（とりわけ民族主義運動）について読解する。 【第3回】同上（2） 内容：第2節 西洋社会とは異なったインドネシア固有の民主主義を、インドネシア人の心性の視点から読解する。 【第4回】作文：人間関係で使われる表現（1） 内容：近隣関係における表現（おすそ分けです、スラムタンを行います、ゴトン・ロヨンとは何ですか、等）を作文する。 【第5回】同上（2） 内容：相手への配慮の表現（すみませんが、できましたら、お差し支えなければ、等）を作文する。 【第6回】読解：インドネシアの文化的特徴（1） 内容：第1節 インドネシア人が重視する価値観スラムット、道徳ルクンを通じて文化的特徴を読解する。 【第7回】同上（2） 内容：第2節 文化的特徴を、政治・経済的特徴との関連から論じた文章をとりあげ読解する。 【第8回】定期試験 内容：定期試験（中間試験）を実施し、試験後にその内容について解説を行い、併せて質疑応答を実施する。 【第9回】作文：発展的表現（1） 内容：慣習、儀礼に関連した表現（慣習法と近代法の違いは何ですか、ムシャワラとは何ですか、等）を作文する。 【第10回】作文：発展的表現（2） 内容：地理、歴史に関連した表現（何のために歴史を学ぶのですか、ジャワ原人がいたのはいつの時代ですか、等）を作文する。 【第11回】インドネシア語技能検定試験E級（1） 内容：インドネシア語検定技能試験E級に実際に出題された「読解」問題を解く。 【第12回】同上（2） 内容：インドネシア語検定技能試験E級に実際に出題された「文法」ならびに「翻訳」問題を解く。 【第13回】定期試験 内容：定期試験（期末試験）を実施し、試験後にその内容について解説を行う。併せて総括、重要表現の復習、質疑応答も行う。
授業計画 事前・事後学 修に必要な時	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

間	授業はプリント教材に沿って進むので、予習を十全に行い、授業に臨んでください。少なくとも新出語彙を確認すること、どのような内容が扱われるかを確認することが肝要となります。疑問点等は授業中または授業後に随時受け付けるので、積極的に質問をしてください。復習については、語彙の習得に意識を集中することが重要となります。本講義の予習・復習には各1時間が必要となります。
事前・事後学修の内容	
成績評価方法・基準	成績の評価方法は、授業内での積極的な学習態度（平常点）と定期試験の結果（試験点）によります。平常点では、授業に取り組む姿勢（たとえば質疑応答の頻度など）を中心にして評価を行います。試験点では、試験内容を点数化し、理解程度を判定します。平常点を30%、試験点を70%として最終評価を行い、60%以上を得点することで、本講座の合格点に達することとなります。授業に三分の二以上出席していることが、単位取得の前提条件となります。
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	各回プリント教材を配布します。
履修上の留意点	教員からの連絡を確認するためにも、亜大ポータルやmanabaを常に確認する習慣を身につけてください。
更新日	2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZAh101
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A2800100
講義名	ヒンディー語初級 I
担当者名	村山 和之
開講情報	春期 金曜日 4時限 7108教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/S

科目の趣旨 初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していく初級（読本）のクラスである。I（前期）では、先ず文字の暗唱と発音の練習、文の読み方と文意の理解など、最初に学ばなくてはいけない重要な事柄をしっかりと学習していく。発音には特に重点を置く。学習の仕方は言語によって多少異なるが、正確な発音を覚え、正しく読んで、文意を理解できるようにすることは、どの言語でも同じであり、この科目の目指すところである。

授業の内容 ヒンディー語は中国語、英語に次いで世界で三番目に話者が多い言語です。指定テキストとプリント教材を用いながら、ヒンディー語の入門（文字、発音、挨拶ことば）、基礎（文法、簡単な日常会話、短い作文）の段階ごとに学んでいきます。入門では、初めて目にするデーヴァナーガリー文字の書き方と発音を繰り返し集中的に練習します。ヒンディー語独特の発音は、独特の文字を借りて現されます。従って文字習得訓練はこの授業においても重要な位置を占めます。通常1～10日もあれば修得できます。正しい発音は必要ですが、それに固執しすぎて学習意欲を失う必要はありません。反復練習により必ずできるようになるよう授業を進めます。文字はプリントとテキスト（教科書）を使って修得し、発音はテキストに付属しているCDを聴きながら音読練習をおこない、正確なヒンディー語の音を身に付けていきます。それと並行して、挨拶ことばなどの簡単な会話練習もおこない、まずは声に出す訓練をしていきます。基礎以降は、テキストに従って基礎的な文法事項、慣用表現や単語を学びます。講師による説明の後、クラス全体から生徒同士のペアでの音読練習、ロールプレイングやディクテーション（書き取り）によって繰り返しパターン練習をします。各単元が終了することに確認テストを実施し、理解の定着と達成度をはかります。

まず南アジアの多様な歴史や文化に触れながらヒンディー語文法の基礎を繰り返し身につけてゆきます。到達目標としては、今年度は先ず、学習した文法事項内で、インド料理店でヒンディー語で注文ができるようになる、ヒンディー語映画のセリフが幾つか聞き取れて理解できるようになることです。要は、「自分のヒンディー語が使える、通じること」の実感を体験して欲しいわけです。英語以外の外国語で、模様や暗号にすら見えていた文字が読めるようになり、書けるようになり、映画の中で聞こえてくる台詞の意味が分かった時の感動を体験して欲しいのです。それらを糧にさらなるヒンディー語の世界へと踏み出してゆく確かな自信を持ってもらうこと。これこそが、今期における到達目標なのです。

科目の到達目標
(理解のレベル)
授業形態
授業方法

- 演習
全て対面で実施します。
- 【第1回】ガイダンス1（授業の概要、ヒンディー語とインドの概要説明、文字の紹介）
 - 【第2回】母音字と子音字(2)
 - 【第3回】子音字つづき
 - 【第4回】補助記号（母音記号、鼻母音、チャンドラ記号、重子音）結合文字、つづりと発音
 - 【第5回】テキスト第1課の単語と文法
 - 【第6回】テキスト第2課の単語と文法
 - 【第7回】テキスト第3課の単語と文法
 - 【第8回】テキスト第3課の単語と文法（続き）
 - 【第9回】テキスト第4課の単語と文法
 - 【第10回】4課迄の再復習
 - 【第11回】テキスト第5課の単語と文法
 - 【第12回】テキスト第6課の単語と文法

授業計画 【第13回】 期末テスト
事前・事後学習に必要な時間 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。
事前・事後学習の内容 その日に学んだことをその日のうちに復習して、疑問点を洗い出して、次回の授業で解決すること。

最終試験40%、小テスト20%、その他20%

なお全13回の授業の中で、正当な申し出や手続きなく、4回以上欠席した場合は期末テストを受けられません。

成績評価方法・基準

加えて、正当な理由なく20分以上の遅刻をした場合は、遅刻2回につき1回の欠席に相当するとします。

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法

なお全13回の授業の中で、正当な申し出や手続きなく、4回以上欠席した場合は期末テストを受けられません。

・町田和彦 2020『ニューエクスプレス+ ヒンディー語（CD付）』白水社（2400円+税）

教科書・指定図書

・町田和彦 2028『デイリー日本語・ヒンディー語・英語辞典』三省堂（2400円+税）

初めて学ぶ文字ではありますが、毎日家庭学習を1時間以上すれば、1～2週間で身につきます。

履修上の留意点
更新日

特に指示がない限り、その日に学んだ事項を徹底的に復習して身につけ、次回の授業に臨むこと。これに尽きます。

2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZA102 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A2800200 ヒンディー語初級Ⅱ 村山 和之 秋期 金曜日 4時限 7108教室 1 B/D/E/L/I/S
科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していく初級（読本）のクラスである。Ⅱ（後期）では、読み方と訳し方について勉強していくことになる。学習の仕方は言語によって多少異なるが、正確な発音を覚え、正しく読んで、文意を理解できるようにすることは、どの言語でも同じであり、この科目の目指すところである。 この授業では、まずナーガリー文字の表記と発音の仕組みの復習をしながら、各課の本文を読む練習を行う。ナーガリー文字の表記については、インド系文字の特徴を理解し、単独の母音字と子音字に母音記号を加えた音節の表し方に習熟するため、手書きでの書き取りを繰り返し行う。また発音については、ヒンディー語特有の音韻について、日本語や英語と比較対照して解説し、実際に自分で発音できるように繰り返し練習する。各自が主体的に、練習問題の解答作り、ヒンディー語の読み物の本文を日本語に訳す練習、日本語の文をヒンディー語に翻訳するなどの作業を行う。内容としては文法と語彙の解説を中心とした講義を受けた後に、自力でヒンディー語を理解するように努める学習である。仕上げとして、新しく学んだ文法事項を含む文の和訳と作文などの課題を行う。
授業の内容	この授業の目標は、履修学生が、ナーガリー文字の表記と発音から始まり、教科書に含まれる基礎文法事項を理解し運用する能力を身につけることである。ナーガリー文字の表記については、履修学生が、インド系文字の特徴を理解し、単独の母音字と子音字に母音記号を加えた音節の表し方に習熟すること。履修学生が、単語としての表記と発音の関係の規則を理解すること。さらに履修学生が、初級レベルのヒンディー語の例文・会話・文章などを自力で読解する能力と、ヒンディー語の作文能力を身につけることを目標とする。
科目の到達 目標 （理解のレ ベル） 授業形態	演習
授業方法	対面式授業で、教科書『ニューエクスプレス+ヒンディー語』と授業支援システム（manaba）に掲載された解説・例文・練習問題・確認テストを教材とする。教科書の本文については、ネイティブ・スピーカーの音声を聴いて練習する。文法の理解度を確認しながら、初級レベルの和訳・作文を取り入れ、課題を各回実施する。 【第1回】教科書『ニューエクスプレス+ヒンディー語』第7課 1.一般動詞の現在表現の解説と例文と練習問題。 【第2回】教科書 第8課 1.コピュラ動詞の過去形の解説と例文と練習問題。 【第3回】教科書 第8課 2.一般動詞の完了分詞の解説と例文と練習問題。 【第4回】教科書 第8課 3.他動詞の完了分詞と主語の解説と例文と練習問題。 【第5回】教科書 第9課 1.未完了表現と完了表現の解説と例文と練習問題。 【第6回】教科書 第10課 1.進行表現の解説と例文と練習問題。 【第7回】教科書 第10課 2.不定詞の名詞的用法の解説と例文と練習問題。 【第8回】教科書 第11課 1.「人の身に～が起こる」の解説と例文と練習問題。 【第9回】教科書 第11課 2.予定、必要、強制の解説と例文と練習問題。 【第10回】教科書 第12課 2.ワラーの使い方の解説と例文と練習問題。 【第11回】教科書 第13課 1.比較表現の解説と例文と練習問題。 【第12回】教科書 第14課 2.受身表現の解説と例文と練習問題。 【第13回】 期末テスト
授業計画 事前・事後学 修に必要な時 間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。
事前・事後学 修の内容	毎回、語学面の予習・復習を期待する。
成績評価方 法・基準 課題（試験 やレポート 等）について のフィードバック	評価基準は、学期末の筆記試験の点数が67%、平常点が33%の比重として総合し、最終的な成績を算出する。 本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

方法	
教科書・指定 図書	教科書：町田和彦『ニューエクスプレス+ヒンディー語』（白水社、2020年）
	毎回出席することはもちろん、毎回十分な予習・復習が必要である。 単なる言語学習に終わらず、南アジア地域の歴史や文化に対する好奇心を抱き、その情熱を行動であらわそうと努力する 姿勢を期待する。
履修上の留 意点	本科目はヒンディー語「初級 I」が履修済みであることが履修条件である。
更新日	2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZA103 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A2800300 ヒンディー語初級Ⅲ 石川 淳子 春期 水曜日 3時限 8301教室（院） 1 B/D/E/L/I/S
科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していくもう一つの初級（文法）クラスである。Ⅲ（前期）では、先ず発音と読み方を覚えた後、動詞と名詞の特徴を学んでいく。学習の方法は、言語の性質や教材によって異なるが、文法を習得しながら文章を理解していくことは、初級の学習には欠かせない勉強法の一つである。ここでは、名詞や動詞を始めとするいろいろな品詞の形態とその使い方を学びながら、言葉の体系と文の構造を学習していく。 ヒンディー語初級を学ぼうとする学生にとっては、ヒンディー語を表記するデーヴァ・ナーガリー文字と発音は初めて視聴すると思われるので、ネイティブのヒンディー語に触れる為にできる限り視聴覚教材を使用する。 それとともに、初級では基礎文法が非常に大切なので、教科書に含まれる文法事項の基礎をしっかりと学んで確認していく。各自が主体的に、本文の朗読と訳読・練習問題の解答作り・日本語の文のヒンディー語への翻訳などの作業を行う。内容としては文法と語彙の解説を中心とした講義を受けた後に、自力でヒンディー語を理解するように努める学習である。授業では新しく学んだ文法事項を含む文の和訳と作文の課題を行う。
授業の内容	学生は、まず、デーヴァ・ナーガリー文字の表記と発音をしっかりと身につけた後に、単語レベルでの表記と発音を身につける。教科書に記載の基礎文法事項（人称代名詞とコピュラ動詞、名詞の単数形と複数形、主格形と後置格形、命令形と依頼形など）を理解し運用する能力を身につける。さらに初級レベルのヒンディー語の例文・会話・文章などを自力で読解する能力と、作文能力を身につけることを目標とする。
科目の到達 目標 （理解のレベル）	
授業形態	演習 教科書で文字の表記と発音を学んだ後、文法の理解度を確認しながら、初級レベルの作文を取り入れる。和訳・作文などの課題を各回実施する。教科書と授業支援システム（manaba）で配布された練習問題を教材とする。初めに講師が教科書で基本的事項を解説したのちに、学生が自分で、練習問題を解いていく。
授業方法	必要に応じて、授業内でヒンディー語の歌などを視聴する。 【第1回】デーヴァナーガリー文字・母音の表記と発音 「母音字と子音字」音読と文字の書き方練習。 【第2回】子音の表記と発音（その1） 「子音字」の「破裂音」について、音読と書き方練習。 【第3回】子音の表記と発音（その2） 「半母音、歯擦音、声門摩擦音」「ヌクターをつけた子音字」の音読と書き方練習。 【第4回】母音記号と鼻母音化記号 「母音記号」「母音記号付きの11種の文字(ka~kau)」「鼻母音化記号」の音読と書き方練習。 【第5回】鼻子音記号と子音字に含まれる母音a 「3.鼻子音記号」の音読と書き方練習。 【第6回】第1課 人称代名詞とコピュラ動詞の現在形 第1課の会話文の音読練習と練習プリント 【第7回】第2課 名詞・形容詞(主格)の単数形と複数形 第2課の会話文の音読練習と練習プリント 【第8回】第3課 代名詞と名詞の後置格形 第3課の会話文の音読練習と練習プリント 【第9回】第4課 命令形、後置詞「ka」と代名詞属格 第4課の会話文の音読練習と練習プリント 【第10回】第4課 3.後置詞「ka」と4.所有表現 第4課の会話文の音読練習と練習プリント 【第11回】第5課 1.目的語と後置詞「ko」2.代名詞の融合形 第5課の会話文の音読練習と練習プリント 【第12回】第5課 3.「必要です」 第5課の練習プリントの「必要です」の表現に関する問題練習 【第13回】第1課～第5課の確認・復習・練習 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。
授業計画 事前・事後学 修に必要な時	

間	解いた練習問題の答は、必ず確認することが重要です。間違った箇所は、必ず自分でもう一度練習し直して、疑問な点があれば、講師に直接、または、メールなどを利用しながら、質問をする。初級では基礎の積み重ねが大事なので、分からないことを放置しないように心がける。また初級では、予習よりも復習が大切です。教科書と練習プリントを繰り返し見直し音読をする。
事前・事後学習の内容	授業の第1～5回（母音字と子音字、母音記号、鼻母音化記号、鼻子音記号他）は、文字の練習課題の提出の有無で採点をする。第6～13回まで（人称代名詞とコピュラ動詞、男性名詞と女性名詞、単数形と複数形、形容詞・主格の単数形と複数形、後置詞と後置格形、命令表現、所有表現、未来形）は、毎回、確認テストを行う。
成績評価方法・基準	第1～5回までの提出状況と、第6～13回の確認テストの採点を合計して評価をする。
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	教科書：町田和彦『ニューエクスプレス+ヒンディー語』（白水社、2020年） ISBN 978-4-560-08862-3
履修上の留意点	授業に出席することはもちろん、繰り返しの書き取り練習、音読練習と復習が必要です。
更新日	2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZAh104
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A2800400
講義名	ヒンディー語初級Ⅳ
担当者名	石川 淳子
開講情報	秋期 水曜日 3時限 8301教室 (院)
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/S

科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していくもう一つの初級 (文法) クラスである。Ⅳ (後期) では、基礎的な種々の文法事項について勉強していく。学習の方法は、言語の性質や教材によって異なるが、文法を習得しながら文章を理解していくことは、初級の学習には欠かせない勉強法の一つである。ここでは、名詞や動詞を始めとするいろいろな品詞の形態とその使い方を学びながら、言葉の体系と文の構造を学習していく。 このヒンディー語初級Ⅳでは、まず前期の復習をした後に、さらに次の段階の文法事項の学習に進んでいく。教科書の第6課から第10課までの文法事項 (未来形、現在表現、過去の言い方、他動詞完了分詞と主語、未完了表現と完了表現、進行表現、不定詞の使い方) を順を追って学ぶ。各自が主体的に、本文の朗読と訳読および練習問題の解答作りをする。さらに日本語の文をヒンディー語に翻訳する作業を行う。必ず、手書きの練習を繰り返して、スベルをしっかりと覚える。また、音読を繰り返す。
授業の内容	ヒンディー語の歌などの視聴は引き続き、必要に応じて行う。 ヒンディー語初級Ⅳを学ぼうとする学生は、教科書の基礎文法事項 (一般動詞の現在表現、念をおす表現、コピュラ動詞の過去形、一般動詞の完了分詞、他動詞完了分詞と主語、未完了表現と完了表現、「～と思われる」「～が手に入る」、進行表現、不定詞の名詞的用法) を理解し、運用する能力を身につける。さらに初級レベルのヒンディー語の文章を自力で読解する能力と、ヒンディー語の作文能力を身につけることを目標とする。
科目の到達目標 (理解のレベル)	1
授業形態	演習
授業方法	毎回、文法事項の説明と質疑応答を行ってから、練習プリントで練習問題を学生がなるべく自力で解く。さらに解いた答えの確認および訂正を行う。 語学の授業なので、学ぶ側の能動的な参加を前提としたものとなる。文字の発音と文のイントネーションなど、ヒンディー語の音声上の特徴を覚えるための朗読練習を行う。また、文法の理解度を確認しながら、積極的に初級レベルの会話や作文の演習を取り入れる。 【第1回】 文法の復習 「人称代名詞とコピュラ動詞」「男性名詞と女性名詞」「名詞と形容詞の単数形と複数形」「後置詞と後置格形」 【第2回】 文法の復習 「命令形と依頼形」「後置詞kaと代名詞属格」「所有表現」「目的語と後置詞ko」「代名詞の融合形」「必要表現」「未来形」「不確定未来形」 【第3回】 第7課「一般動詞の現在表現」文法の説明と練習。 第7課の練習プリントの該当問題の練習 【第4回】 第7課「念をおす表現」「未完了現在形の発展問題」 第7課会話例文の音読練習と練習プリント 【第5回】 第8課「コピュラ動詞の過去形」「一般動詞の完了分詞」文法の説明と練習。 第8課練習プリントの該当問題の練習 【第6回】 第8課「他動詞完了分詞と主語」文法の説明と練習。 第8課練習プリントの該当問題の練習と会話例文の音読。 【第7回】 第9課「未完了表現と完了表現」文法の説明と練習。 第9課練習プリントの該当問題の練習。 【第8回】 第9課「～と思われる」「～が手に入る」文法の説明と練習。 第9課練習プリントの該当問題の練習と会話例文の音読。 【第9回】 第10課「進行表現」文法の説明と練習。 第10課練習プリントの該当問題の練習。 【第10回】 第10課「不定詞の名詞的用法」文法の説明と練習。 第10課練習プリントの該当問題の練習と会話例文の音読。 【第11回】 第11課「人の身に～が起こる」文法の説明と練習。 第11課練習プリントの該当問題の練習。 【第12回】 第11課「予定・必要・強制表現」文法の説明と練習。 第11課練習プリントの該当問題の練習と会話例文の音読。 【第13回】 第7課から第11課までのまとめ問題。

授業計画	文法事項の確認と音読を中心に、復習を行なう。
事前・事後学修に必要な時間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。
事前・事後学修の内容	予習：その日の授業範囲の教科書を読み、何について学ぶのか、大まかに把握しておく。 復習：その日に学んだ内容を繰り返し見返す。教科書の各課の例文とプリントの練習文の読み書きを繰り返し行う。教科書に付いているCDを繰り返し聞きながら、音読をする。慣れてきたら、日本語の意味を考えながら音読をする。なお、教科書に振ってあるカタカナでなくデーヴァ・ナーガリー文字を見て、音読するように心がける。
成績評価方法・基準	第1回から第13回まで、毎回、授業の終わりに確認テストを行ない、それらの採点結果を合計して成績評価を出します。なお、第1回と第2回の授業は春期の復習となりますが、語学の性質上、秋期の学習の土台となるので、秋期の範囲の評価に含めます。
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	教科書：町田和彦『ニューエクスプレス+ヒンディー語』（白水社、2020年） ISBN 978-4-560-08862-3（前期で使用したものを引き続き使用する）
履修上の留意点	（1）前期で学んだ内容（教科書ニューエクスプレスヒンディー語の第1課から第5課）を身につけていること （2）予習復習をすること。練習プリントの答えは必ず確認して、間違えた箇所を正す。
更新日	2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZA201 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A2801100 ヒンディー語中級 I 村山 和之 春期 金曜日 3時限 7108教室 1 B/D/E/L/I/S
科目の趣旨	外国語初級を履修した学生がさらに力をつけるために学んでいく科目の一つが、読解の学習である。ここでは、ある程度まとまった内容の読み物をじっくり読んでいくことになる。教材を通して、読み方と文法の確認を行いながら、読解力の向上に努めていく。
授業の内容	この授業では、まずナーガリー文字の表記と発音の仕組みの復習をしながら、各課の本文を読む練習を行う。ナーガリー文字の表記については、インド系文字の特徴を理解し、単独の母音字と子音字に母音記号を加えた音節の表し方に習熟するため、手書きでの書き取りを繰り返し行う。また発音については、ヒンディー語特有の音韻について、日本語や英語と比較対照して解説し、実際に自分で発音できるように繰り返し練習する。各自が主体的に、練習問題の解答作り、中級レベルのヒンディー語の読み物・会話テキスト・映画の台詞を日本語に訳す練習、日本語の文をヒンディー語に翻訳するなどの作業を行う。内容としては文法と語彙の解説を中心とした講義を受けた後に、自力でヒンディー語を理解するように努める学習である。仕上げとして、新しく学んだ文法事項を含む文の和訳と作文などの課題を行う。
科目の到達 目標 （理解のレ ベル）	この授業の目標は、履修学生が、ナーガリー文字の表記と発音から始まり、教科書に含まれる基礎文法事項を理解し運用する能力を身につけることである。ナーガリー文字の表記については、履修学生が、インド系文字の特徴を理解し、単独の母音字と子音字に母音記号を加えた音節の表し方に習熟すること。履修学生が、単語としての表記と発音の関係の規則を理解すること。さらに履修学生が、中級レベルの文法を理解して中級レベルのヒンディー語の例文・読み物・会話・映画の台詞などを自力で読解する能力と、ヒンディー語の作文能力を身につけることを目標とする。
授業形態	演習
授業方法	各履修学生のヒンディー語の理解レベルを確認した上で、対面式授業で、授業内に配られたプリントを教材とする。テキストの音読と文法事項の解説をした後、文法を理解度を確認しながら、中級レベルの和訳・作文を練習問題として実施する。 【第1回】教科書第7課の復習、疑問解決 【第2回】教科書第8課 【第3回】教科書第8課復習、疑問解決 【第4回】教科書第9課 【第5回】教科書第9課復習、疑問解決 【第6回】教科書第10課 【第7回】教科書第10課復習、疑問解決 【第8回】教科書第11課 【第9回】教科書第11課（続き） 【第10回】教科書第11課復習、疑問解決 【第11回】教科書第12課 【第12回】教科書第12課復習、疑問解決 【第13回】期末テスト
授業計画 事前・事後学 修に必要な時 間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。
事前・事後学 修の内容	毎回、語学面の復習を期待する。添削された課題のまちがっていた所を確認し、次の課題提出に備えることが復習であり、また予習にもなる。
成績評価方 法・基準 課題（試験 やレポート 等）につい てのフィード バック	評価基準は、学期末の筆記試験の点数が67%、平常点が33%の比重として総合し、最終的な成績を算出する。 本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

方法

教科書・指定 町田和彦『ニューエクスプレス+ヒンディー語』（白水社、2020年）

図書

毎回出席することはもちろん、毎回十分な予習・復習が必要である。
単なる言語学習のみに留まらず、南アジア地域の歴史や文化に対する好奇心を抱き、その情熱を行動であらわそうと努力する姿勢を期待する。

履修上の留

本科目はヒンディー語「初級Ⅰ」、「初級Ⅱ」が履修済であることが履修条件である。

意点

更新日 2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZA202 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A2801200 ヒンディー語中級Ⅱ 村山 和之 秋期 金曜日 3時限 7108教室 1 B/D/E/L/I/S
科目の趣旨	外国語中級Ⅰと同様に読解力の向上を目標とする。学習の仕方は、外国語中級Ⅰと変わりはないが、教材の読み物を最後まで正確に読んでいく。易しくとも、一冊のテキストを終わりまで読みきくことは、学習者にとって大きな自信となるはずである。この授業では、まずナーガリー文字の表記と発音の仕組みの復習をしながら、各課の本文を読む練習を行う。ナーガリー文字の表記については、インド系文字の特徴を理解し、単独の母音字と子音字に母音記号を加えた音節の表し方に習熟するため、手書きでの書き取りを繰り返し行う。また発音については、ヒンディー語特有の音韻について、日本語や英語と比較対照して解説し、実際に自分で発音できるように繰り返し練習する。各自が主体的に、練習問題の解答作り、中級レベルのヒンディー語の読み物と会話のテキストの本文を日本語に訳す練習、日本語の文をヒンディー語に翻訳するなどの作業を行う。内容としては文法と語彙の解説を中心とした講義を受けた後に、自力でヒンディー語を理解するように努める学習である。仕上げとして、新しく学んだ文法事項を含む文の和訳と作文などの課題を行う。
授業の内容	この授業の目標は、履修学生が、ナーガリー文字の表記と発音から始まり、教科書に含まれる基礎文法事項を理解し運用する能力を身につけることである。ナーガリー文字の表記については、履修学生が、インド系文字の特徴を理解し、単独の母音字と子音字に母音記号を加えた音節の表し方に習熟すること。履修学生が、単語としての表記と発音の関係の規則を理解すること。さらに履修学生が、中級レベルの文法を理解して中級レベルのヒンディー語の読み物・会話文などを自力で読解する能力と、ヒンディー語の作文能力を身につけることを目標とする。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	演習
授業方法	各履修学生のヒンディー語の理解レベルを確認した上で、対面式授業で、授業内に配られたプリントを教材とする。テキストの音読と文法事項の解説をした後、文法の理解度を確認しながら、中級レベルの和訳・作文を練習問題として実施する。授業中に分担された練習問題の解答を履修学生が板書し、それぞれの解答を黒板上で添削する。授業の後半で、各履修学生に確認テストの解答をノートに書くように指示する。履修学生一人一人のノートを授業中に添削採点し、記録する。ヒンディー・ワールド語映画を教材に使うことも、履修学生の修学度と情熱をみて適宜選択する。 【第1回】教科書第9課 【第2回】教科書第9課復習、Kavitaプリント 【第3回】Kavitaプリント：会話練習 【第4回】教科書第10課 【第5回】教科書第10課復習、Kavitaプリント 【第6回】中間テスト 【第7回】教科書第11課 【第8回】教科書第11課復習、Kavitaプリント 【第9回】教科書第12課 【第10回】教科書第12課復習、Kavitaプリント 【第11回】ヒンディー語映画 【第12回】ヒンディー語映画（続き） 【第13回】期末テスト
授業計画	【第13回】期末テスト
事前・事後学 修に必要な時 間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。
事前・事後学 修の内容	毎回、語学面の予習・復習、特に復習を期待する。
成績評価方 法・基準	評価基準は、学期末の筆記試験の点数が67%、平常点が33%の比重として総合し、最終的な成績を算出する。
課題（試験 やレポート 等）について のフィードバック	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

方法

教科書：町田和彦『ニューエクスプレス+ヒンディー語』（白水社、2020年）

教科書・指定
図書

参考資料（プリントを配布する）Kavita Kumar 2020 Speak Hindi from day 1. Rupa.

毎回出席することはもちろん、毎回十分な予習・復習が必要である。
単なる言語学習のみに留まらず、南アジア地域の歴史や文化に対する好奇心を抱き、その情熱を行動であらわそうと努力する姿勢を期待する。

履修上の留
意点
更新日

本科目はヒンディー語「初級Ⅰ」、「初級Ⅱ」が履修済みであることが履修の条件である。

2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZA203 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A2801300 ヒンディー語中級Ⅲ 石川 淳子 春期 水曜日 2時限 8301教室（院） 1 B/D/E/L/I/S
科目の趣旨	外国語初級を履修した学生がさらに語学力の向上を図っていくもう一つの学習が、文法を体系的に理解していくことである。外国語中級Ⅲでは、テキストに従いながら、これまでの学習で見落としていた部分や不十分だった知識を確認し、少しずつ言葉の体系や文の構造を学んでいく。
授業の内容	ナーガリー文字の表記と発音の仕組みの復習をしながら、各課の本文を読む練習を行う。ナーガリー文字の表記については、インド系文字の特徴を理解し、音節の表し方に習熟するため、手書きでの書き取りを繰り返し行う。また発音については、実際に自分で発音できるように繰り返し練習する。各自が主体的に、練習問題の解答作りを行なう。 内容としては、インドを訪れた日本人が出会うであろう場面を中心にした会話文について学ぶ。 学生は、ナーガリー文字の表記と発音および教科書に含まれる基礎文法事項を理解し運用する能力を身につける。文字の表記に関しては、学生がインド系文字の特徴を理解し、単独の母音字と子音字に母音記号を加えた音節の表し方に習熟し、単語としての表記と発音の関係の規則を理解する。さらに中級レベルの文法を理解して、会話文を自力で理解する能力と、ヒンディー語の作文能力を身につける。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	演習
授業方法	配布プリントまたは授業支援システム（manaba）に掲載された会話のテキストを教材とする。テキストの音読と文法事項の解説をした後、文法の理解度を確認しながら、中級レベルの和訳・作文を練習問題として実施する。授業の後半で、確認テストを行う。 【第1回】第10課 進行表現 第10課の会話文の音読練習と練習プリント 【第2回】第10課 不定詞の名詞的用法と不定詞のその他の用法 第10課の会話文の音読練習と練習プリント 【第3回】第11課「人の身に～が起こる」 第11課の会話文の音読練習と練習プリント 【第4回】第11課 予定・必要・強制 第11課の会話文の音読練習と練習プリント 【第5回】第12課「～してから」と waalaaの使い方（1） 第12課の会話文の音読練習と練習プリント 【第6回】第12課「～してから」と waalaaの使い方（2） 第12課の会話文の音読練習と練習プリント 【第7回】第13課 比較表現と karnaa「～する」を使った動詞句 第13課の会話文の音読練習と練習プリント 【第8回】第14課 状態表現 第14課の会話文の音読練習と練習プリント 【第9回】第14課 受身表現など 第14課の会話文の音読練習と練習プリント 【第10回】第15課 複合動詞 第15課の会話文の音読練習と練習プリント 【第11回】第15課「～したい」 第15課の会話文の音読練習と練習プリント 【第12回】第10課～第12課の確認・復習・練習 【第13回】第13課～第15課の確認・復習・練習
授業計画 事前・事後学 修に必要な時 間	【第13回】第13課～第15課の確認・復習・練習 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。 予習：その日の授業範囲の教科書を読み、何について学ぶのか、大まかに把握しておく。 復習：その日に学んだ内容を繰り返し見返す。教科書の各課の例文とプリントの練習文の読み書きを繰り返し行う。教科書に付いているCDを繰り返し聞きながら、音読をする。慣れてきたら、日本語の意味を考えながら音読をする。なお、教科書に
事前・事後学	振ってあるカタカナでなくデーヴァ・ナーガリー文字を見て、音読するように心がける。

修の内容	第1回から第13回までの各授業で行なった確認テストの採点結果を合計して、成績の評価を出します。
成績評価方法・基準	具体的には、毎回の確認テストの持ち点を100点として、間違った箇所1つについて2点をマイナスしていきます。最終的に全合計点を13で割って、平均点を出して、それを評価点とします。
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	教科書：町田和彦『ニューエクスプレス+ヒンディー語』（白水社、2020年） ISBN 978-4-560-08862-3（初級で使ったものを引き続き使用する）
履修上の留意点	本科目は春学期の学習内容を前提とするため、「ヒンディー語初級Ⅰ」と「ヒンディー語初級Ⅲ」の少なくとも一方を履修済みであることを履修条件とする。
更新日	毎回出席することはもちろん、毎回十分な予習・復習が必要である。 2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZA204 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A2801400 ヒンディー語中級Ⅳ 石川 淳子 秋期 水曜日 2時限 8301教室（院） 1 B/D/E/L/I/S
科目の趣旨	読解と並んで文章構造の体系的理解は、次へのステップに欠かせない重要な学習である。外国語中級Ⅳでは、外国語中級Ⅲと同様に文法体系の理解を目標とする。各言語独自の慣用的な表現や言い回しなどを学ぶことで、今までの知識を補強し、言葉の構造と特徴を理解していく。 ナーガリー文字の表記と発音の仕組みの復習をしながら、各課の本文を読む練習を行う。ナーガリー文字の表記については、インド系文字の特徴を理解し、音節の表し方に習熟するため、手書きでの書き取りを繰り返し行う。また発音については、実際に自分で発音できるように繰り返し練習する。各自が主体的に、練習問題の解答作りを行なう。
授業の内容	学生は、ナーガリー文字の表記と発音および教科書に含まれる基礎文法事項を理解し運用する能力を身につける。文字の表記に関しては、学生がインド系文字の特徴を理解し、単独の母音字と子音字に母音記号を加えた音節の表し方に習熟し、単語としての表記と発音の関係の規則を理解する。さらに中級レベルの文法を理解して、会話文を自力で理解する能力と、ヒンディー語の作文能力を身につける。
科目の到達 目標 (理解のレ ベル)	
授業形態	演習
授業方法	配布プリントまたは授業支援システム（manaba）に掲載された会話のテキストを教材とする。テキストの音読と文法事項の解説をした後、文法の理解度を確認しながら、中級レベルの和訳・作文を練習問題として実施する。授業の後半で、確認テストを行う。 【第1回】第16課 関係詞と複文 第16課の会話文の音読練習と練習プリント 【第2回】第16課 接続詞 कि ki 第16課の会話文の音読練習と練習プリント 【第3回】第17課 条件文、可能表現 第17課の会話文の音読練習と練習プリント 【第4回】第17課 複文の応用 第17課の会話文の音読練習と練習プリント 【第5回】第18課 非現実的な仮定表現 第18課の会話文の音読練習と練習プリント 【第6回】第18課 継続表現 第18課の会話文の音読練習と練習プリント 【第7回】第19課 後置格の副詞的用法 第19課の会話文の音読練習と練習プリント 【第8回】第19課 場所と位置の表現 第19課の会話文の音読練習と練習プリント 【第9回】第20課 後置詞 से se のまとめ 第20課の会話文の音読練習と練習プリント 【第10回】第20課 「もっと～」 第20課の会話文の音読練習と練習プリント 【第11回】第20課 「どうい～ですか」 第20課の会話文の音読練習と練習プリント 【第12回】第16課～第18課の確認・復習・練習
授業計画	【第13回】第19課～第20課の確認・復習・練習
事前・事後学 修に必要な時 間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。 予習：その日の授業範囲の教科書を読み、何について学ぶのか、大まかに把握しておく。 復習：その日に学んだ内容を繰り返し見返す。教科書の各課の例文とプリントの練習文の読み書きを繰り返し行う。教科書に付いているCDを繰り返し聞きながら、音読をする。慣れてきたら、日本語の意味を考えながら音読をする。なお、教科書に
事前・事後学	振ってあるカタカナでなくデーヴァ・ナーガリー文字を見て、音読するように心がける。

修の内容	第1回から第13回までの各授業で行なった確認テストの採点結果を合計して、成績の評価を出します。 具体的には、毎回の確認テストの持ち点を100点として、間違った箇所1つについて2点をマイナスしていきます。最終的に全合計点を13で割って、平均点を出して、それを評価点とします。
成績評価方法・基準	
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	教科書：町田和彦『ニューエクスプレス+ヒンディー語』（白水社、2020年） ISBN 978-4-560-08862-3（初級中級春学期で使用したものを引き続き使用する）
履修上の留意点	本科目は春学期の学習内容を前提とするため、「ヒンディー語初級Ⅰ」と「ヒンディー語初級Ⅲ」の少なくとも一方を履修済みであることを履修条件とする。
更新日	毎回出席することはもちろん、毎回十分な予習・復習が必要である。 2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZAh205
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A2801500
講義名	ヒンディー語中級V
担当者名	村山 和之
開講情報	春期 金曜日 2時限 7209教室
単位数	1
受講可能学部	E/L/I
備考	
科目の趣旨	外国語初級を一通り学習した学生がその知識をさらに確かなものにしていく実践的な学習が、表現能力の訓練である。ここでは、簡単な日常の事柄を外国語で表現できるようにすることを目標とし、各言語独自の言い回しや言葉の使い方などを中心に学び、作文力や会話能力の向上を目指す。 ここまで学んできた文法を再確認して補足し、より高度で自由な表現が可能になるよう学んでゆく。
授業の内容	受講生の「学びたいポイント」をはっきりさせ、何が最も必要であるかを認識しながらテキストを選び、実践してゆく。日常会話、作文の上達の為、語彙力を向上させること。具体的には名詞・動詞・形容詞そしてイディオムの総合的な習得を目指す。
科目の到達目標 (理解のレベル)	
授業形態	演習
授業方法	演習形式を成立させるための下準備として、文法の復習・語彙力アップから始める。 ついて、「学びたいポイント」に応じたテキストを選定し、読む・聴く・書く・話すの各面で得意分野を作る。 【第1回】 名詞 男性形・女性形、単数・複数、直格・斜格 【第2回】 後置詞と斜格変化 【第3回】 代名詞 直格・斜格・能格 【第4回】 形容詞 変化する形容詞としない形容詞 【第5回】 動詞の分類 (自動詞・他動詞) 【第6回】 1～5回までの確認テスト 【第7回】 未完了形・進行形 【第8回】 過去形・完了形 【第9回】 作文演習 【第10回】 短文解読演習 【第11回】 映画シーンを使つてのヒアリング演習 【第12回】 スピーチの練習 講評 【第13回】 スピーチ課題の発表、講評 【第14回】 【第15回】 【第16回】 【第17回】 【第18回】 【第19回】 【第20回】 【第21回】 【第22回】 【第23回】 【第24回】

【第25回】

【第26回】

授業計画	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。
事前・事後学修に必要な時間	毎回、授業で学んだことの復習に時間をかけて、事前課題でもない限り予習よりも復習を重視していただきたい。
事前・事後学修の内容	個別テーマでの予習は任意である。
成績評価方法・基準	基本的に出席を八割以上満たしたうえでの、最終回の試験の結果に鑑みて評価する。
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	ニューエクスプレス・ヒンディー語 町田和彦 白水社
履修上の留意点	本科目は「初級Ⅰ」、「初級Ⅱ」が履修済であることが履修条件である。
更新日	2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZAh206
カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連）	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A2801600
講義名	ヒンディー語中級VI
担当者名	石川 淳子
開講情報	秋期 水曜日 4時限 8301教室（院）
単位数	1
受講可能学部	E/L/I
備考	
科目の趣旨	より高度な事柄を外国語で表現できるようにすることを目標とする。学習の仕方は、外国語中級Vと変わりはないが、作文では、より上手な文章作りができるよう学習し、会話では、適切な言葉や慣用表現が上手に使えるように練習していく。
授業の内容	ナーガリー文字の表記と発音の仕組みの復習をしながら、各課の本文を読む練習を行う。ナーガリー文字の表記については、インド系文字の特徴を理解し、音節の表し方に習熟するため、手書きでの書き取りを繰り返し行う。また発音については、実際に自分で発音できるように繰り返し練習する。各自が主体的に、練習問題の解答作りを行なう。 内容としては、インドを訪れた日本人が出会うであろう場面を中心にした会話文について学ぶ。
科目の到達目標 （理解のレベル）	学生は、ナーガリー文字の表記と発音および教科書に含まれる基礎文法事項を理解し運用する能力を身につける。文字の表記に関しては、学生がインド系文字の特徴を理解し、単独の母音字と子音字に母音記号を加えた音節の表し方に習熟し、単語としての表記と発音の関係の規則を理解する。さらに中級レベルの文法を理解して、会話文を自力で理解する能力と、ヒンディー語の作文能力を身につける。
授業形態	演習
授業方法	配布プリントまたは授業支援システム（manaba）に掲載された会話のテキストを教材とする。テキストの音読と文法事項の解説をした後、文法の理解度を確認しながら、中級レベルの和訳・作文を練習問題として実施する。授業の後半で、確認テストを行う。 【第1回】第10課 進行表現 第10課の会話文の音読練習と練習プリント 【第2回】第10課 不定詞の名詞的用法と不定詞のその他の用法 第10課の会話文の音読練習と練習プリント 【第3回】第11課「人の身に～が起こる」 第11課の会話文の音読練習と練習プリント 【第4回】第11課 予定・必要・強制 第11課の会話文の音読練習と練習プリント 【第5回】第12課「～してから」と waalaaの使い方（1） 第12課の会話文の音読練習と練習プリント 【第6回】第12課「～してから」と waalaaの使い方（2） 第12課の会話文の音読練習と練習プリント 【第7回】第13課 比較表現と karnaa「～する」を使った動詞句 第13課の会話文の音読練習と練習プリント 【第8回】第14課 状態表現 第14課の会話文の音読練習と練習プリント 【第9回】第14課 受身表現など 第14課の会話文の音読練習と練習プリント 【第10回】第15課 複合動詞 第15課の会話文の音読練習と練習プリント 【第11回】第15課「～したい」 第15課の会話文の音読練習と練習プリント 【第12回】第10課～第12課の確認・復習・練習 【第13回】第13課～第15課の確認・復習・練習
授業計画	【第13回】第13課～第15課の確認・復習・練習
事前・事後学修に必要な時間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。 予習：その日の授業範囲の教科書を読み、何について学ぶのか、大まかに把握しておく。 復習：その日に学んだ内容を繰り返し見返す。教科書の各課の例文とプリントの練習文の読み書きを繰り返し行う。教科書に付いているCDを繰り返し聞きながら、音読をする。慣れてきたら、日本語の意味を考えながら音読をする。なお、教科書に
事前・事後学修の内容	振ってあるカタカナでなくデーヴァ・ナーガリー文字を見て、音読するように心がける。

成績評価方法・基準	第1回から第13回までの各授業で行なった確認テストの採点結果を合計して、成績の評価を出します。具体的には、毎回の確認テストの持ち点を100点として、間違った箇所1つについて2点をマイナスしていきます。最終的に全合計点を13で割って、平均点を出して、それを評価点とします。
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	教科書：町田和彦『ニューエクスプレス+ヒンディー語』（白水社、2020年） ISBN 978-4-560-08862-3（初級で使用したものを引き続き使用する）
履修上の留意点	本科目は春学期の学習内容を前提とするため、「ヒンディー語初級Ⅰ」と「ヒンディー語初級Ⅲ」の少なくとも一方を履修済みであることを履修条件とする。
更新日	毎回出席することはもちろん、毎回十分な予習・復習が必要である。 2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAv101 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A3000100 ベトナム語初級 I ゲン トゥアン 春期 水曜日 3時限 7110教室 1 B/D/E/L/I/S
科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していく初級（読本）のクラスである。I（前期）では、先ず文字の暗唱と発音の練習、文の読み方と文意の理解など、最初に学ばなくてはいけない重要な事柄をしっかり学習していく。発音には特に重点を置く。学習の仕方は言語によって多少異なるが、正確な発音を覚え、正しく読んで、文意を理解できるようにすることは、どの言語でも同じであり、この科目の目指すところである。 基礎ベトナム語を焦点として、発音、ベトナム語の構造、疑問代名詞、名詞、動詞、形容詞、人称代名詞、副詞、数字、時間の事の簡単な会話、簡単な文法、文の構造、リスニングを学ぶ。学生の日常生活の簡単な話題について会話と作文をする。
授業の内容	次のトピックを学習します：挨拶、自己紹介、位置を示す単語と文、東、西、南、北、肯定的な質問、名譽、形容詞の単語による質問と回答、名詞による質問と回答、動詞による質問と回答、過去、現在、未来の動詞の形、数、職業を尋ねる方法、比較語は等しい、最上級、その他、時間、日、月、年、動詞の方向の単語などについて尋ねて答える方法など。 上記の学習内容を通して、学生は、短い会話、読解、教科書での聴解を通して、ベトナムの文化、歴史、社会について学びます。 簡単なベトナム語で日常や大学の活動などについて、話したり書いたりすることができます。この講義を終えると、以下のことが話せるようになります。
科目の到達 目標 （理解のレベル） 授業形態	あなたの名前は何ですか？などのトピックについて、簡単なベトナム人と会話したり、話したり、聞いたりすることができます。今ここで勉強していますか？ あなたの学校は何ですか？ あなたの国籍は何ですか？何を専攻していますか？ベトナム人は難しいですか？ベトナムに行ったことはありますか？今何時ですか？あなたの誕生日は何ですか？天気、健康、数の数え方。数え方は非常に複雑で、覚えにくく、間違えやすいので、学生は数え方、序数、会話について多くを学び、復習し、数に関連する文脈を理解します。
授業方法	演習 各課のテーマとなる文法を説明、発音練習、教師と学生のQ – A形式の文型練習、学生同士のQ – A形式の文型練習、絵や写真を使用したの文型練習、学習した文型を使つての作文。教科書の中で各授業が宿題がありますので、毎週宿題をやって下さい。 授業前、教科書を見て、先に言葉と内容を調べこと、授業の時、すぐ練習ことが出来るの事。授業後、勉強した内容を復習して下さい。 問題があれば、クラスで先生に質問して、又は、先生のemailに質問を送って下さい。 【第1回】 第1課： Bài 1: Ch cái, phát âm- Letters, pronunciation. 4-22 29 ch cái, nguyên âm, ph âm, các du-thanh điệu, phát âm, cu trúc ca ting Vit. 文字、発音、ベトナム語の構造、声調、（1） 【第2回】 Bài 2: Ch cái, phát âm- Letters, pronunciation. 4-22 29 ch cái, nguyên âm, ph âm, các du-thanh điệu, phát âm, cu trúc ca ting Vit. 文字、発音、ベトナム語の構造、声調、（2） 第2課： Ch cái, phát âm 文字、発音、ベトナム語の構造、声調 （2） 【第3回】 第3課： Bài 2: Chào hi, h tên, quc tch - greeting, name, nationality 22-42 Tên là gì? Ngì nc nào? quc tch nc nào? , đi t nhân xng, là, không phi là. （1） 【第4回】 第4課： Bài 2: Chào hi, h tên, quc tch - greeting, name, nationality 22-42 Tên là gì? Ngì nc nào? quc tch nc nào? , đi t nhân xng, là, không phi là. （2） 【第5回】 第5課： Bài 5: Bn hc đâu? Where are you studying? 42-73 đâu? ,,,,/ có phi là,,,không? Có phi ,,,,là,,,không? ,,,,có phi không? t loi/ này, kia, y, đó/ nào, gì, ai / visao?-vì,,,/ （1） 【第6回】 第6課： Bài 6: Bn hc đâu? Where are you studying? 42-73 đâu? ,,,,/ có phi là,,,không? Có phi ,,,,là,,,không? ,,,,có phi không? t loi/ này, kia, y, đó/ nào, gì, ai / visao?-vì,,,/ （2）

【第7回】

第7課 : Bài 7: Tiếng Việt có khó không? Is Vietnamese difficult? 73-98

,,,th nào, có,,,không? Danh t, đng t, tính t, trng t- Noun, verb, adjective, adverb-/ rt, quá, lm, hi,không,,,lm, vãi, hi b/ có+đng t+không? đã, đang, s/ (1)

【第8回】

第8課 : Bài 8: Tiếng Việt có khó không? Is Vietnamese difficult? 73-98

,,,th nào, có,,,không? Danh t, đng t, tính t, trng t- Noun, verb, adjective, adverb-/ rt, quá, lm, hi,không,,,lm, vãi, hi b/ có+đng t+không? đã, đang, s/ (2)

【第9回】

第9課 : Bài 9: Anh đã đi Việt Nam bao giờ chưa? Have you ever been to Vietnam? Số đếm- Cardinal number.98-138

,,,đã,,,bao giờ chưa? /Số đếm/ ngh nghiệp/ câu hỏi, bao nhiêu/ so sánh bng, hn, nht/ ht, mt/ có th,,,đc không?(1)

【第10回】

第10課 : Bài 10: Anh đã đi Việt Nam bao giờ chưa? Have you ever been to Vietnam? Số đếm- Cardinal number.98-138

,,,đã,,,bao giờ chưa? /Số đếm/ ngh nghiệp/ câu hỏi, bao nhiêu/ so sánh bng, hn, nht/ ht, mt/ có th,,,đc không?(2)

【第11回】

第11課 : Bài 11: Bây giờ là mấy giờ? what time is it now ? 139-167

Thời gian gì, ngày, đng t có hng: đi ra, vào, lên, xuống, sang, đn/ khi nào, bao giờ, lúc nào?/ 時間、日、月、年、何時?何日?何月?何年?いつ?(1)

【第12回】

第12課 : Bài 12: Bây giờ là mấy giờ? what time is it now ? 139-167

Thời gian gì, ngày, đng t có hng: đi ra, vào, lên, xuống, sang, đn/ khi nào, bao giờ, lúc nào?/ 時間、日、月、年、何時?何日?何月?何年?いつ?(2)

【第13回】

復習、到達度確認

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

ベトナム語に関するニュースや文化などに日頃から興味をもって接してほしい。また、宿題など教員から提示された予習・復習をしっかりと行うこと。各授業で教科書の中から宿題がありますので、毎週宿題をやって下さい。授業前、教科書を見て、先に言葉と内容を調べることで、授業の時、すぐ練習することが出来ること。授業後、勉強した内容を復習して下さい。

問題があれば、クラスで先生に質問して、又は、先生のemailに質問を送って下さい。

・期末の試験 : 70%

・毎回課される宿題、会話授業への積極性 : 30%

授業では、積極的に参加して、質問に答え、会話をし、宿題をきちんとやり、礼儀正しい態度で臨み、欠席が少ないことが重要。遅刻と学校を休む時、教員に説明すること、宿題をやっていない時、理由を説明すること。

本授業での課題 (試験やレポート等) の講評・解説については授業内 (口頭) もしくはmanaba上でおこなう。

『Tiếng Việt hàng ngày A (毎日ベトナム語一A)』川口健一、グエントウアン作成プリントを配布する。

毎回課される宿題をしっかりとやる。授業前、教科書を見て、先に言葉と内容を調べることで、授業の時、すぐ練習が出来るようにすること。授業後、勉強した内容を復習して下さい。問題があれば、クラスで先生に質問して、又は、先生のemailに質問を送って下さい。

2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAv102 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A3000200 ベトナム語初級Ⅱ ゲン トゥアン 秋期 水曜日 3時限 7110教室 1 B/D/E/L/I/S
科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していく初級（読本）のクラスである。Ⅱ（後期）では、読み方と訳し方について勉強していくことになる。学習の仕方は言語によって多少異なるが、正確な発音を覚え、正しく読んで、文意を理解できるようにすることは、どの言語でも同じであり、この科目の目指すところである。 基礎ベトナム語を焦点として、発音、簡単な会話、簡単な文法、文の構造を学ぶ。学生の日常生活の簡単な話題について会話と作文をする。 初年度の2学期では、オリンピックを見る、スポーツの練習、自然の保護、環境、私の通常の日、お正月の休日、幸せな生活、健康的な生活などのトピックを学びます。 上記のコンテンツでは、動詞と副詞の能動のおよび受動的などの関連する文法の問題を学び、語彙と時間の表現、数字、位置を示す単語、上、下、隣、後、前、命令を確認する必要があります、しなければならない、すべき、すべきではない、できない、禁止する、空間と時間の距離についての言葉。 学生は、会話、読解、コロナ、環境保護、健康トレーニング、お祭りやテトホリデーについての言葉など、最新のトピックについての聞き取りを学びます。
授業の内容	簡単なベトナム語で日常や大学の活動などについて、学生は以下のようなテーマについて、話したり書いたりすることができます。 このコースを修了すると、学生は簡単な会話、読解、聴解、オリンピックの観戦などのトピックについてのディスカッションを行うことができます。スポーツの練習、サッカー、卓球、バレーボール。環境汚染、プラスチック廃棄物、大気汚染、自然保護；私の通常の日、学生と会社の従業員の毎日の仕事と勉強のスケジュール。テトの休日、年明けの寺院への行き方、ラッキーマネー、幸せで健康な暮らし方などの内容。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	演習 各課のテーマとなる文法を説明、発音練習、教師と学生のQ - A形式の文型練習、学生同士のQ - A形式の文型練習、絵や写真を使用しての文型練習、学習した文型を使っての作文。前期と同じ方法。
授業方法	学生たちはクラスで、質問に答える、質問を作る、誤りを含む文章を直す、読解、リスニング、エッセイを書く、二人の組で会話練習すること。 【第1回】 第1課： Bài 1: Xem Th vn hi th thao-Watch the sports Olympics. Đng t th b đng, ch đng, đc, b/ ca/ trng ng mt cách/ thi gian tun, tháng, năm, mùa/ s th t/ thôi, vy thì, th à,th thì, tht ra là (1) 【第2回】 第2課： Bài 2: Xem Th vn hi th thao-Watch the sports Olympics. 168-207 Đng t th b đng, ch đng, đc, b/ ca/ trng ng mt cách/ thi gian tun, tháng, năm, mùa/ s th t/ thôi, vy thì, th à,th thì, tht ra là (2) 【第3回】 第3課： Bài 3: Luyn tp th thao- practice sports V trí trong, ngoài, trên, di, phng hng đng, tây, nam, bc,/ có th, cn, phi, nên, mun/ đu, c, nhng, va,,va,,/h,,, (1) 【第4回】 第4課： Bài 4: Luyn tp th thao- practice sports-207-236 V trí trong, ngoài, trên, di, phng hng đng, tây, nam, bc,/ có th, cn, phi, nên, mun/ đu, c, nhng, va,,va,,/h,,, (2) 【第5回】 第5課： Bài 5: Ngày Trái đt, bo v thiên nhiên-The Earth Day-Protect nature. 237-257 Đ, nh, nhé, ch, hoc, hay, cũng, nhieu, mc dù,,nhng,,,vn,,, (1) 【第6回】 第6課： Bài 6: Ngày Trái đt, bo v thiên nhiên-The Earth Day-Protect nature. 237-257 Đ, nh, nhé, ch, hoc, hay, cũng, nhieu, mc dù,,nhng,,,vn,,, (2) 【第7回】 第7課： Bài 7: Mt ngày bình thng ca em -My everyday life- Mi, va mi, vn, vn còn, khong, đ, chng, tm, nh(1) 【第8回】 第8課： Bài 8: Mt ngày bình thng ca em -My everyday life- Mi, va mi, vn, vn còn, khong, đ, chng, tm, nh (2)

【第9回】

第9課： Bài 9: Ngh Tt-Tet holiday-Li-đng t, đng t-li, li-đng t-li/ t,,đn/ chc là, cái gì đó, A khác vi B, ch,,,thôi/ hay là,,, 正月と祭り、大晦日、初詣、お年玉、、、(1)

【第10回】

第10課： Bài 10: Ngh Tt-Tet holiday-288-310

Li-đng t, đng t-li, li-đng t-li/ t,,đn/ chc là, cái gì đó, A khác vi B, ch,,,thôi/ hay là,,, 正月と祭り、大晦日、初詣、お年玉、、、(2)

【第11回】

第11課： Bài 11: Sng vui, sng khe-Live happy, live healthy-310-336-Sp, à, xong, ht, ch ,,thôi, vì,,nên, đc phần s,bng, do, bi,(1)

【第12回】

第12課： Bài 12: Sng vui, sng khe-Live happy, live healthy-

Sp, à, xong, ht, ch ,,thôi, vì,,nên, đc phần s,bng, do, bi,、、、(2)

【第13回】

復習、到達度確認

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

授業計画
事前・事後学
修に必要な時間

ベトナム語に関するニュースや文化などに日頃から興味をもって接してほしい。また、宿題など教員から提示された予習・復習をしっかりと行うこと。教科書の中で各授業が宿題がありますので、毎週宿題をやって下さい。

授業前、教科書を見て、先に言葉と内容を調べることに、授業の時、すぐ練習することが出来ること。授業後、勉強した内容を復習して下さい。

問題があれば、クラスで先生に質問して、又は、先生のemailに質問を送って下さい。

事前・事後学
修の内容

・期末の試験：70%

・毎回課される宿題、会話授業への積極性：30%

授業では、積極的に参加して、質問に答え、会話をし、宿題をきちんとやり、礼儀正しい態度で臨み、欠席が少ないことが重要。遅刻と学校を休む時、教員に説明すること、宿題をやっていない時、理由を説明すること。

成績評価方
法・基準

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

課題（試験
やレポート
等）について
のフィードバック
方法

『Tieng Viet hang ngay A（毎日ベトナム語—A）』川口健一、グエントゥアン作成プリントを配布。

教科書・指定
図書

毎回課される宿題をしっかりと。授業前、教科書を見て、先に言葉と内容を調べることに、授業の時、すぐ練習が出来るようにすること。授業後、勉強した内容を復習して下さい。問題があれば、クラスで先生に質問して、又は、先生のemailに質問を送って下さい。

履修上の留
意点

2026/3/18

更新日

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAv205 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A3001500 ベトナム語中級V グエン トゥアン 春期 水曜日 4時限 7110教室 1 E/L/I
科目の趣旨	外国語初級を一通り学習した学生がその知識をさらに確かなものにしていく実践的な学習が、表現能力の訓練である。ここでは、簡単な日常の事柄を外国語で表現できるようにすることを目標とし、各言語独自の言い回しや言葉の使い方などを中心に学び、作文力や会話能力の向上を目指す。 こちらは読解の授業である。学生生活や活動やベトナムへの旅行の話題の内容をより発展させ、色々な主題を扱う。読解と関連文法と構文を学ぶ。発音練習。ベトナムへの旅行の話題や日常生活に関して表現できるような読み、書き、話し、聞く四つの能力をバランスよく身につける。 このコースは2年次の2学期であり、学生は1学期からトピックを学習し続けます。 学ぶべきトピックは次のとおりです。友達を訪ねる、友達を作る、友達を助ける、友達と話す。交通、交通規則、道路、バス、電車、病院での禁止事項を確認してください、、、;オンライン学習の便利さと不便さについて、ベトナム語のオンラインクラス、語彙、文型を学びます。私の会社は、仕事を見つけて、アルバイトをします。テトホリデー、ベトナムの正月、日本の正月。紙の手紙と電子メールの手紙の書き方、仕事に応募するための手紙の書き方、友人への手紙の書き方、あなたの父、母、兄弟、姉妹への手紙の書き方、先生への手紙、メールの書き方。 上記の内容に加えて、学生は関連する文法構造を学び、会話を学び、聴解、読解、文章を書く練習、質問をしたり答えたりします。 学習内容は、学生の日常生活に近い、活気に満ちた興味深い実践的な学習内容であり、学生が退屈しないように支援します。
授業の内容	簡単なベトナム語で色々なテーマについて読むことができます。 このコースを終えた後、学生は上記のトピックについてベトナムの人々と自信を持って話すことができます。友情、交通規則、交通手段、電車、バス、タクシー、交通と旅行の禁止と制限について話します。仕事を見つけて、アルバイトをすること、会社の仕事について話す。テトの休日について話し、ベトナムのテトと日本の正月を比較し、手紙を書くこと、メールを送ることについて話します。 学生は、これらのトピックについての簡単なエッセイや会話を話したり、聞いたり、読んだり、書いたりすることができます。 上記のトピックを通して、学生はより複雑な文法構造、会話パターン、そしてより長く、より複雑な文を学び、理解するでしょう。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	演習
授業方法	各課のテーマとなる文法を説明、発音練習、教師と学生のQ - A形式の文型練習、学生同士のQ - A形式の文型練習、絵や写真を使用したの文型練習、学習した文型を使っての作文。春学期と同じ方法。 学生たちはクラスで、質問を答える、質問を作る、間違い文書を直す、読解、リスニング、エッセイを書く、二人の組で会話練習すること。 【第1回】 第1課： Bài 1: Thăm bạn-Visit friends Hà, /nào cũng, đầu cũng, ai cũng, /nhì, /thì phải, hình như,,thì phải, /không một,,,nào, không một ai,,,/không,,,đâu, không đâu,,, (1) 【第2回】 第2課： Bài 2: Thăm bạn-Visit friends Hà, /nào cũng, đầu cũng, ai cũng, /nhì, /thì phải, hình như,,thì phải, /không một,,,nào, không một ai,,,/không,,,đâu, không đâu,,, (2) 【第3回】 第3課： Bài 3: Kiểm tra giao thông-Traffic check Động từ-thử xem, thử-động từ-xem,/ cảm, không được, /bất cứ,,,nào cũng,,,,/ thế mà, vậy mà, tất cả, /bỏ quá, thông cảm, xúi quây, thô chét, ôi giờ ơi, ôi trời ơi, /mà,/ cho với 6 nghĩa, /để với 3 nghĩa, /ai lại làm thế (1) 【第4回】 第4課： Bài 4: Kiểm tra giao thông-Traffic check Động từ-thử xem, thử-động từ-xem,/ cảm, không được, /bất cứ,,,nào cũng,,,,/ thế mà, vậy mà, tất cả, /bỏ quá, thông cảm, xúi quây, thô chét, ôi giờ ơi, ôi trời ơi, /mà,/ cho với 6 nghĩa, /để với 3 nghĩa, /ai lại làm thế(2) 【第5回】 第5課： Bài 5: Học tiếng Việt online -Learn Vietnamese online- A, hơn nữa B, /chẳng lẽ,,,à, chẳng lẽ,,,hay sao, /chẳng hạn như, ví dụ như, ví dụ, như, /chứ với 4 nghĩa (1) 【第6回】 第6課： Bài 6: Học tiếng Việt online -Learn Vietnamese online- A, hơn nữa B, /chẳng lẽ,,,à, chẳng lẽ,,,hay sao, /chẳng hạn như, ví dụ như, ví dụ, như, /chứ với 4

nghĩa (2)

【第7回】

第7課： Bài 7: Công ty tôi -My company-

Không-động từ-gì cả, hoàn toàn không,,,/hàng tuần này, hàng tháng nay, hàng năm nay, suốt, /có quá khứ, /mãi, /thế nào cũng sẽ,,,, chắc chắn thế nào cũng sẽ,,,/ thế với 2 nghĩa/ liên, bên, mách nhỏ. (1)

【第8回】

第8課： Bài 8: Công ty tôi -My company-

Không-động từ-gì cả, hoàn toàn không,,,/hàng tuần này, hàng tháng nay, hàng năm nay, suốt, /có quá khứ, /mãi, /thế nào cũng sẽ,,,, chắc chắn thế nào cũng sẽ,,,/ thế với 2 nghĩa/ liên, bên, mách nhỏ.(2)

【第9回】

第9課： Bài 9: Nghỉ Tết-Tet holiday-

Làm gì mà-tính từ-thế? toàn-danh từ, toàn-động từ, /câu có động từ, bỏ ngữ ở đầu câu để nhấn mạnh, /không biết,,,là gì, không/không,,,đâu, /đã man, kinh khủng, đã man luôn, / chủ yếu là,,, (1)

【第10回】

第10課： Bài 10: Nghỉ Tết-Tet holiday-

Làm gì mà-tính từ-thế? toàn-danh từ, toàn-động từ, /câu có động từ, bỏ ngữ ở đầu câu để nhấn mạnh, /không biết,,,là gì, không/không,,,đâu, /đã man, kinh khủng, đã man luôn, / chủ yếu là,,, (2)

【第11回】

第11課： Bài 11: Viết thư giấy, viết thư email-Write letters, email-

Nghe nói,,,/ càng ngày càng, càng,,,càng/ làm cho, khiến cho/ cách viết thư giấy và email, (1)

【第12回】

第12課： Bài 12: Viết thư giấy, viết thư email-Write letters, email-

Nghe nói,,,/ càng ngày càng, càng,,,càng/ làm cho, khiến cho/ cách viết thư giấy và email, (2)

【第13回】

復習、到達度確認

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

ベトナム語に関するニュースや文化などに日頃から興味をもって接してほしい。また、宿題など教員から提示された予習・復習をしっかりと行うこと。各授業で教科書の中から宿題がありますので、毎週宿題をやって下さい。

授業前、教科書を見て、先に言葉と内容を調べること、授業の時、すぐ練習することが出来ること。授業後、勉強した内容を復習して下さい。

問題があれば、クラスで先生に質問して、又は、先生のemailに質問を送って下さい。

・期末の試験：70%

・毎回課される宿題、会話授業への積極性：30%

授業では、積極的に参加して、質問に答え、会話をし、宿題をきちんとやり、礼儀正しい態度で臨み、欠席が少ないことが重要。遅刻と学校を休む時、教員に説明すること、宿題をやっていない時、理由を説明すること。

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

『Tieng Viet B・中級ベトナム語』川口健一、グエントウアン作成プリントを配布する。

毎回課される宿題をしっかりとやる。授業前、教科書を見て、先に言葉と内容を調べること、授業の時、すぐ練習が出来るようにすること。授業後、勉強した内容を復習して下さい。問題があれば、クラスで先生に質問して、又は、先生のemailに質問を送って下さい。

2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAv206 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A3001600 ベトナム語中級VI ゲン トゥアン 秋期 水曜日 4時限 7110教室 1 E/L/I
科目の趣旨	より高度な事柄を外国語で表現できるようにすることを目標とする。学習の仕方は、外国語中級Vと変わりはないが、作文では、より上手な文章作りができるよう学習し、会話では、適切な言葉や慣用表現が上手に使えるように練習していく。 こちらは読解の授業である。学生生活や活動やベトナムへの旅行の話題の内容をより発展させ、色々な主題を扱う。読解と関連文法と構文を学ぶ。発音練習。ベトナムへの旅行の話題や日常生活に関して表現できるような読み、書き、話し、聞く四つの能力をバランスよく身につける。 このコースは2年次の2学期であり、学生は1学期からトピックを学習し続けます。 学ぶべきトピックは次のとおりです。友達を訪ねる、友達を作る、友達を助ける、友達と話す。交通、交通規則、道路、バス、電車、病院での禁止事項を確認してください、、、;オンライン学習の便利さと不便さについて、ベトナム語のオンラインクラス、語彙、文型を学びます。私の会社は、仕事を見つけて、アルバイトをします。テトホリデー、ベトナムの正月、日本の正月。紙の手紙と電子メールの手紙の書き方、仕事に応募するための手紙の書き方、友人への手紙の書き方、あなたの父、母、兄弟、姉妹への手紙の書き方、先生への手紙、メールの書き方。 上記の内容に加えて、学生は関連する文法構造を学び、会話を学び、聴解、読解、文章を書く練習、質問をしたり答えたりします。 学習内容は、学生の日常生活に近い、活気に満ちた興味深い実践的な学習内容であり、学生が退屈しないように支援します。
授業の内容	簡単なベトナム語で色々なテーマについて読むことができます。 このコースを終えた後、学生は上記のトピックについてベトナムの人々と自信を持って話すことができます。友情、交通規則、交通手段、電車、バス、タクシー、交通と旅行の禁止と制限について話します。仕事を見つけること、アルバイトをすること、会社の仕事について話す。テトの休日について話し、ベトナムのテトと日本の正月を比較し、手紙を書くこと、メールを送ることについて話します。 学生は、これらのトピックについての簡単なエッセイや会話を話したり、聞いたり、読んだり、書いたりすることができます。 上記のトピックを通して、学生はより複雑な文法構造、会話パターン、そしてより長く、より複雑な文を学び、理解するでしょう。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	演習 各課のテーマとなる文法を説明、発音練習、教師と学生のQ - A形式の文型練習、学生同士のQ - A形式の文型練習、絵や写真を使用したの文型練習、学習した文型を使っの作文。春学期と同じ方法。 学生たちはクラスで、質問を答える、質問を作る、間違い文書を直す、読解、リスニング、エッセイを書く、二人の組で会話練習すること。
授業方法	【第1回】 第1課： Bài 1: Thăm bạn-Visit friends Hà, /nào cũng, đầu cũng, ai cũng, /nhì, /thì phải, hình như,,thì phải, /không một,,,nào, không một ai,,,/không,,,đâu, không đâu,,,(1) 【第2回】 第2課： Bài 2: Thăm bạn-Visit friends Hà, /nào cũng, đầu cũng, ai cũng, /nhì, /thì phải, hình như,,thì phải, /không một,,,nào, không một ai,,,/không,,,đâu, không đâu,,,(2) 【第3回】 第3課： Bài 3: Kiểm tra giao thông-Traffic check Động từ-thử xem, thử-động từ-xem,/ cảm, không được, /bất cứ,,,nào cũng,,,,/ thế mà, vậy mà, tất cả, /bỏ quá, thông cảm, xúi quây, thôi chết, ôi giới ơi, ôi trời ơi, /mà,/ cho với 6 nghĩa, /đề với 3 nghĩa, /ai lại làm thế (1) 【第4回】 第4課： Bài 4: Kiểm tra giao thông-Traffic check Động từ-thử xem, thử-động từ-xem,/ cảm, không được, /bất cứ,,,nào cũng,,,,/ thế mà, vậy mà, tất cả, /bỏ quá, thông cảm, xúi quây, thôi chết, ôi giới ơi, ôi trời ơi, /mà,/ cho với 6 nghĩa, /đề với 3 nghĩa, /ai lại làm thế(2) 【第5回】 第5課： Bài 5: Học tiếng Việt online -Learn Vietnamese online- A, hơn nữa B, /chẳng lẽ,,,à, chẳng lẽ,,,hay sao, /chẳng hạn như, ví dụ như, ví dụ, như, /chứ với 4 nghĩa (1) 【第6回】 第6課： Bài 6: Học tiếng Việt online -Learn Vietnamese online- A, hơn nữa B, /chẳng lẽ,,,à, chẳng lẽ,,,hay sao, /chẳng hạn như, ví dụ như, ví dụ, như, /chứ với 4 nghĩa (2)

【第7回】

第7課： Bài 7: Công ty tôi -My company-

Không-động từ-gì cả, hoàn toàn không,,,/hàng tuần này, hàng tháng này, hàng năm này, suốt, /có-
quá khứ, /mãi, /thế nào cũng sẽ,,,, chắc chắn thế nào cũng sẽ,,,/ thế với 2 nghĩa/ liền, bên, mách
nhỏ. (1)

【第8回】

第8課： Bài 8: Công ty tôi -My company-

Không-động từ-gì cả, hoàn toàn không,,,/hàng tuần này, hàng tháng này, hàng năm này, suốt, /có-
quá khứ, /mãi, /thế nào cũng sẽ,,,, chắc chắn thế nào cũng sẽ,,,/ thế với 2 nghĩa/ liền, bên, mách
nhỏ.(2)

【第9回】

第9課： Bài 9: Nghi Tết-Tet holiday-

Làm gì mà-tính từ-thế? toàn-danh từ, toàn-động từ, /câu có động từ, bỏ ngữ ở đầu câu để nhấn
mạnh, /không biết,,,là gì, không/không,,,đâu, /đã man, kinh khủng, đã man luôn, / chủ yếu là,,,
(1)

【第10回】

第10課： Bài 10: Nghi Tết-Tet holiday-

Làm gì mà-tính từ-thế? toàn-danh từ, toàn-động từ, /câu có động từ, bỏ ngữ ở đầu câu để nhấn
mạnh, /không biết,,,là gì, không/không,,,đâu, /đã man, kinh khủng, đã man luôn, / chủ yếu
là,,, (2)

【第11回】

第11課： Bài 11: Viết thư giấy, viết thư email-Write letters, email-

Nghe nói,,,/ càng ngày càng, càng,,,càng/ làm cho, khiến cho/ cách viết thư giấy và email, (1)

【第12回】

第12課： Bài 12: Viết thư giấy, viết thư email-Write letters, email-

Nghe nói,,,/ càng ngày càng, càng,,,càng/ làm cho, khiến cho/ cách viết thư giấy và email, (2)

【第13回】

復習、到達度確認

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

ベトナム語に関するニュースや文化などに日頃から興味をもって接してほしい。また、宿題など教員から提示された予習・復習を
しっかり行うこと。各授業で教科書の中から宿題がありますので、毎週宿題をやって下さい。
授業前、教科書を見て、先に言葉と内容を調べること、授業の時、すぐ練習することが出来ること。授業後、勉強した内容を
復習して下さい。

問題があれば、クラスで先生に質問して、又は、先生のemailに質問を送って下さい。

・期末の試験：70%

・毎回課される宿題、会話授業への積極性：30%

授業では、積極的に参加して、質問に答え、会話をし、宿題をきちんとやり、礼儀正しい態度で臨み、欠席が少ないことが
重要。遅刻と学校を休む時、教員に説明すること、宿題をやっていない時、理由を説明すること。

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

『Tieng Viet B・中級ベトナム語』 川口健一、グエントゥアン作成プリントを配布する。

毎回課される宿題をしっかりと。授業前、教科書を見て、先に言葉と内容を調べること、授業の時、すぐ練習が出来るように
すること。授業後、勉強した内容を復習して下さい。問題があれば、クラスで先生に質問して、又は、先生のemailに質問を
送って下さい。

2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAr101 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A3300100 ロシア語初級 I 松本 賢信 春期 金曜日 4時限 7306教室 1 B/D/E/L/I/S
科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していく初級（読本）のクラスである。I（前期）では、先ず文字の暗唱と発音の練習、文の読み方と文意の理解など、最初に学ばなくてはいけない重要な事柄をしっかり学習していく。発音には特に重点を置く。学習の仕方は言語によって多少異なるが、正確な発音を覚え、正しく読んで、文意を理解できるようにすることは、どの言語でも同じであり、この科目の目指すところである。 ロシア語によるコミュニケーション能力を身につけるための基礎を学習する。「読む・書く・聞く・話す」の4技能のうち、特に「聞く・話す」力の養成に重点を置く。具体的には、ロシア語のリズム、正確な発音とイントネーションを習得するべく、テキストの音読、簡単な対話練習などを行なう。 講師は数か国語をマスターしており、高度のコミュニケーション能力を有している。ロシア語の文法現象も、英語、ドイツ語、フランス語、ポーランド語、ウクライナ語、中国語、韓国語と比較しつつ、わかりやすく楽しい授業を展開していると自負している。英語を知っているだけでは、国際的なレベルで活躍することはできない。ぜひロシア語もマスターして、広い視野を持つてほしいと願っている。
授業の内容	一つの指針として、ロシア語検定試験4級合格を最低限の目標とする。 真の目標は、受講者の皆さんがロシア語をマスターすることによって、広い視野を身につけ、真のグローバル人材として、さまざまな分野において、世界的なレベルで活躍できるようになることである。英語ができるだけでは、国際人とみなすことはできないであろう。ロシア語を勉強することで、視野が幾何級数的に広がり、見える世界も違ってくるはずである。就職活動の幅も大きく広がるに違いない。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	演習
授業方法	基礎文法の概略説明と練習問題をこなした後、ロシア語短文の解説を通して、さらなる文法知識を身につける。例文暗唱と和文露訳は、毎回小テストとして実施する。毎回順番に当てていくので、該当範囲を予習して授業に臨むこと。 今年度は対面型の授業を行う予定であるが、場合によってはZoomやmanaba等を使用する可能性もある。 毎回授業の冒頭で、前回の課題の解説を丁寧に行う。ロシア語に関する質問には、メール等で常時受け付けている。 授業のほか、以下の二つの課題を出す。
	【課題①】 「ロシア語習字帳」を配布するので、全部仕上げ、五月末日までに提出する。 習字帳は講師の方で準備し、初回の授業時に配布する。
	【課題②】 上記「習字帳」を添削した後、受講者に返却する。六月下旬の授業時に筆記体のテストを実施する。テストの具体的内容は、当日指示する。
	1. 文字とその読み方(1) アルファベットの発音 2. 文字とその読み方(2) 筆記体の書き方 3. 文字とその読み方(3) 硬音記号と軟音記号 4. 文字とその読み方(4) 発音の例外 5. Урок1. Это Наташа. 文法事項の解説 6. Урок2. Это не Наташа. 練習問題と会話練習 7. Урок3. Это мой чемодан. 文法事項の解説 8. Урок4. Там старая фотография. 練習問題と会話練習 9. Урок5. Я читаю журнал. 文法事項の解説 10. Урок6. Я говорю по-русски. 練習問題と会話練習 11. Урок7. Где она живет? . 文法事項の解説 12. Урок8. У вас есть телефон? 所有の表現
授業計画 事前・事後学 修に必要な時	13. Урок9. Вы слушаете музыку? 名詞・形容詞の対格 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

間	<p>授業内容を十分に理解するためにも、予習・復習はしっかり行うこと。</p> <p>【事前学修】 各回の学習範囲はあらかじめわかっているのので、文法項目を中心に、一通り教科書に目を通しておくこと。</p> <p>【事後学修】 文法事項をおさらいし、疑問点があれば、次回の授業時に講師に質問する。練習問題に再度取り組み、文法、語彙、語法などを確実な知識として身につける。付属のCDを用いて、発音練習は徹底的に行っておくこと。発音の習得なくして、外国語の習得はあり得ない。</p>
事前・事後学修の内容	<p>毎回の授業時に課題を出し、小テストも行う。原則として、その結果に基づいて成績を評価するが、授業への取り組み方の積極性など、平常点をも考慮する。</p> <p>今学期は試験を実施しない予定だが、状況によっては、変更もありうる。</p> <p>六月に実施する筆記体のテスト(30%)、13回の課題の出来栄(70%)を総合的に判断して成績評価を行う。</p> <p>いずれにせよ、授業への積極的な参加が前提となることは言うまでもない。</p>
成績評価方法・基準	
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	黒田龍之介著『ニューエクスプレス+（プラス）ロシア語』（白水社）
履修上の留意点	特になし。
更新日	2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAr102 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A3300200 ロシア語初級Ⅱ 松本 賢信 秋期 金曜日 4時限 7306教室 1 B/D/E/L/I/S
科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していく初級（読本）のクラスである。Ⅱ（後期）では、読み方と訳し方について勉強していくことになる。学習の仕方は言語によって多少異なるが、正確な発音を覚え、正しく読んで、文意を理解できるようにすることは、どの言語でも同じであり、この科目の目指すところである。 ロシア語によるコミュニケーション能力を身につけるための基礎を学習する。「読む・書く・聞く・話す」の4技能のうち、特に「聞く・話す」力の養成に重点を置く。具体的には、ロシア語のリズム、正確な発音とイントネーションを習得するべく、テキストの音読、簡単な対話練習などを行なう。発音に力を入れるのは、発音の習得なくして、外国語をマスターすることはできないからである。
授業の内容	講師はロシア語のみならず、英語、ドイツ語、フランス語、ポーランド語、ウクライナ語、中国語、韓国語に堪能であり、高度なコミュニケーション能力を身につけている。授業では、ロシア語の文法現象を、これらの外国語の文法と比較しつつ、わかりやすい説明を心がけている。 一つの指針として、ロシア語検定試験4級合格を最低限の目標とする。検定試験は学習の励みにもなるので、受験することを推奨する。 真の目標は、受講者の皆さんがロシア語をマスターすることによって、広い視野を身につけ、真の教養人として、国際的な舞台で活躍できるグローバル人材となることである。ITの知識や、英語を少し知っているだけで、教養人であると勘違いしている人を時に見かけるが、皆さんには正しい認識を持っていただきたい。
科目の到達 目標 （理解のレベル）	
授業形態	演習
授業方法	基礎文法の概略説明と練習問題をこなした後、ロシア語短文の解説を通して、さらなる文法知識を身につける。例文暗唱と和文露訳は、毎回小テストとして実施する。毎回順番に当てていくので、該当範囲を予習して授業に臨むこと。 今年度は原則として、対面、リアルタイムで授業する。毎回の課題は、Gmailやmanaba等に前もって保存しておくので、授業開始時まで各自準備しておくこと。 発音練習にも力を入れる。ロシア語は世界で最も美しい言語であることが、対照言語学の学術的成果としても認められているので、受講者の皆さんには、正確で美しいロシア語の発音を習得してもらいたい。 1. Урок9. Вы слушаете музыку? 文法事項の解説 2. Урок10. Я хочу отправить посылку. 練習問題と会話練習 3. Урок11. Я изучал японскую литературу. 文法事項の解説 4. Урок12. Я целый день был дома. 練習問題と会話練習 5. Урок13. Сегодня вечером у меня будут гости. 文法事項の解説 6. Урок14. У меня нет зонтика. 練習問題と会話練習 7. Урок15. Я хочу купить мужу подарок. 文法事項の解説 8. Урок16. Я обычно пью чай с молоком. 練習問題と会話練習 9. Урок17. Я видела Антона в японском ресторане. 文法事項の解説 10. Урок18. Откуда она узнала, что это не Антон? 練習問題と会話練習 11. Урок 19. Если вы его выбросите, я вам помогу. 名詞・人称代名詞の格変化 12. Урок 20. Если я был птицей, я бы прилетел к вам. 形容詞の格変化 13. 文法のまとめ 動詞の時制
授業計画 事前・事後学 修に必要な時 間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。 授業内容を十分に理解するためにも、予習・復習はしっかり行うことが望ましい。 【事前学修】 各回の授業で扱う文法項目はあらかじめわかっているのので、一通り教科書を読んでおくこと。 【事後学修】 その日に習った文法事項をおさらいし、疑問点があれば、メール等で講師に問い合わせること。付属のCDを用いて発音の練習は何度も繰り返す。できればテキストを暗唱してしまうくらい、徹底的に繰り返してほしい。毎回課題を出すので、期限までに必ず提出すること。
事前・事後学 修の内容	

小テストの得点と課題の出来栄に基づいて成績を評価するが、授業への取り組み方の積極性など、平常点をも考慮する。後期は受講生全員の発音をチェックし、その出来栄も評価する。

課題30%、小テスト40%、発音30%

今回は、期末試験は実施しない予定であるが、コロナやインフルエンザの感染状況等も踏まえながら、実施の可否を最終的に判断する。

いずれにせよ、授業への積極的な参加が、成績評価の前提となることは言うまでもない。

成績評価方法・基準

課題（試験やレポート

等）についてのフィードバック方法

教科書・指定図書

履修上の留意点

更新日

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

黒田龍之介著『ニューエクスプレスロシア語プラス』（白水社）

特になし。

2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZAr103
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A3300300
講義名	ロシア語初級Ⅲ
担当者名	尾鼻 敏美
開講情報	春期 水曜日 4時限 3207教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/S

科目の趣旨	初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していくもう一つの初級（文法）クラスである。Ⅲ（前期）では、先ず発音と読み方を覚えた後、動詞と名詞の特徴を学んでいく。学習の方法は、言語の性質や教材によって異なるが、文法を習得しながら文章を理解していくことは、初級の学習には欠かせない勉強法の一つである。ここでは、名詞や動詞を始めとするいろいろな品詞の形態とその使い方を学びながら、言葉の体系と文の構造を学習していく。
授業の内容	アルファベットから始めて、初等文法の基礎を学習する。英語学習では触れることのなかったキリル文字（ロシア語文字）の発音についても、英語学習との違いを意識しながら、筆記と音読を通じて何度も繰り返し学習する。
科目の到達目標 (理解のレベル)	一つの指針として、ロシア語検定試験 4 級合格程度を最低限の目標とする。
授業形態	演習
授業方法	基本的に対面授業で行うが、対面授業に参加できない生徒については個別に相談に応じ、manabaにて同等の学習が継続できるようにする。初めて学ぶ外国語なので、予習については多くを求めないが、その代わり授業内での筆記、音読、課題演習は繰り返しこなしてゆくと、その覚悟で出席してほしい。
	第 1 回 ・硬母音字 5 つと子音字 8 つ（唇を使う音 4 つ、鼻に空気を通す音 2 つ、舌を活用する音 2 つ）の学習 ・アクセントの学習
	第 2 回 ・軟母音字 5 つ、半母音字 1 つと子音字 3 つ（舌と歯の裏で出す音）の学習 ・硬音と軟音の違い ・軟音記号・]軟音記号の学習 ・アクセントのない O の学習
	第 3 回 ・その他の子音字の学習 ・文字と音のまとめと復習 ・名詞の性・数について
	第 4 回 ・子音の同化（無声化）について ・平叙文と疑問文（疑問詞を含まない）の学習
	第 5 回 ・子音の同化（有声化）について ・名詞の複数形について ・人称代名詞と所有代名詞の学習
	第 6 回 ・動詞の活用（第 1 変化）の学習 ・第 1 回から第 5 回の学習内容と動詞の活用（第 1 変化）を合わせた文章の学習
	第 7 回 ・簡単な副詞 1 2 単語とよく使用する接続詞 7 単語の学習 ・疑問詞の学習と疑問詞を含む作文の練習
	第 8 回 ・動詞の活用（第 2 変化）の学習 ・不規則な動詞の活用（よく使われる動詞 2 単語） ・「～月に」「～どこで」の表現の学習
	第 9 回 ・前置格を中心とした名詞の格変化について ・第 6 回～第 8 回の学習まとめ
	第 10 回 ・9 回までの学習を土台として、ロシア語文聞き取り、書き取りの学習と小テストの実施 ・ロシア語作文の練習
	第 11 回

・形容詞（限定用法と叙述用法、性・数・格による語尾変化）の学習
・名詞対格の学習

第12回

・名詞・主格・対格・前置格の用法とそれに伴う形容詞語尾変化の学習

第13回

・総まとめ復習テスト

聞き取り、書き取り、ロシア語作文、和訳を各10問ずつ出題する

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間

文字を習得するまでは授業内、授業後に個人でも書き取りを何回も行うこと。

事前・事後学
修の内容

授業で扱った例文は十分に暗記すること。

成績評価方
法・基準

成績評価は毎回提出のレポートにより行う。提出内容がよく講師に伝わるよう、丁寧な字で書き取ること。判読不可能なレポートは採点をしない。

語学の学習は毎回の積み重ねが大事であると考え、その観点から成績を評価する。

課題（試験
やレポート
等）について
のフィードバック
方法

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

教科書・指定
図書

特に指定しないが、各自、一冊は可能な範囲でロシア語の教科書、または指導書を手元に準備することをおすすめする。辞書に関しては、前期から準備する必要がないよう単語の意味などはこちらから指導する。

履修上の留
意点
更新日

アルファベットが1つの山であり、これを乗り越えると視界が開けてくる。基本文法の学習なので、必ずレポートを作成し、提出すること。ロシア語の学習を楽しむ姿勢を身につけて欲しい。

2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZAr104
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A3300400
講義名	ロシア語初級IV
担当者名	尾鼻 敏美
開講情報	秋期 水曜日 4時限 3101教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I/S

科目の趣旨	<p>初めて外国語を学ぼうとする学生が一から学習していくもう一つの初級（文法）クラスである。IV（後期）では、基礎的な種々の文法事項について勉強していく。学習の方法は、言語の性質や教材によって異なるが、文法を習得しながら文章を理解していくことは、初級の学習には欠かせない勉強法の一つである。ここでは、名詞や動詞を始めとするいろいろな品詞の形態とその使い方を学びながら、言葉の体系と文の構造を学習していく。</p> <p>ロシア語は難解ではあるが、一方でもっとも美しい言語のひとつでもある。初級の段階でも、このロシア語の美しさに触れてほしい。</p>
授業の内容	<p>簡単なロシア語の文章が読解できるようになることを目的とするが、同時にロシア語の発音について、またロシア語の歴史的背景などさまざまな事例を紹介しながら、興味を持っていけるように授業を進める。</p>
科目の到達目標 (理解のレベル)	<p>ロシア語に慣れてきた段階で、英語を始めとする他言語との比較を行いながら学習を進め、広く言語というものの仕組みや体系にも積極的に興味を持ってほしい。</p> <p>一つの指針として、ロシア語検定試験 4 級合格程度を最低限の目標とする。</p>
授業形態	<p>演習</p> <p>基本的に対面授業で行う。前期にmanabaを通じて学習した生徒も後期からは対面での授業に遅れることなく指導する予定である。</p>
授業方法	<p>授業内では発音や音読について全生徒で発声するだけでなく、各生徒に実践してもらい徹底的に身につける。その上でロシア語会話練習なども指導してゆく予定である。</p> <p>文法事項についても、ただ受け身で暗記するだけでなく、生徒自らが文法説明が他言語の文法と比較しながら差異を説明できるレベルを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初級Ⅲのまとめと復習 2. 名詞の格変化について 3. 名詞の格変化・前置格の扱い 4. 名詞の格変化・対格の扱い 5. 名詞の格変化・生格の扱い 6. 生格の扱い・応用例 7. 名詞の格変化・与格の扱い 8. 名詞の格変化・造格の扱い 9. まとめと文章読解（説明文） 10. 文章読解およびヒアリング 11. 文章読解（おとぎ話） 12. 文章読解（新聞・雑誌）
授業計画	13. 総復習、文法項目の理解度チェック
事前・事後学習に必要な時間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。
事前・事後学習の内容	<p>名詞の格変化は自在に自分でもできるまで個人学習で習得すること。</p> <p>毎回の授業への取り組みおよび提出課題の取り組み方や、積極性を総合的に評価する。</p>
成績評価方法・基準	<p>語学の学習は毎回の積み重ねが大事であると考え、その観点から成績を評価する。</p> <p>授業ごとの課題の点数を80%、取り組み方の積極性を20%で評価する。</p>
課題（試験やレポート等）について	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

のフィードバック
方法

教科書は特にないが、かなりの枚数のプリントを配布し、説明および演習を行う。

教科書・指定
図書

また、さまざまな参考図書を授業時間内で紹介していく。

履修上の留
意点

積み上げ方式の授業なので、やむをえない場合を除いて必ず出席すること。どうしても欠席しなければならない時は事前に申し出て、課題の指示を受けること。

更新日

2026/3/18

開設 科目ナンバー	全学共通 ZAr201
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A3301100
講義名	ロシア語中級 I
担当者名	尾鼻 敏美
開講情報	春期 水曜日 2時限 3101教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I
備考	
科目の趣旨	外国語初級を履修した学生がさらに力をつけるために学んでいく科目の一つが、読解の学習である。ここでは、ある程度まとまった内容の読み物をじっくり読んでいくことになる。教材を通して、読み方と文法の確認を行いながら、読解力の向上に努めていく。
授業の内容	1 年次のロシア語初級 I・II に続くもので、読解力、及びリスニングの能力を逐次向上させる。 1 年次のロシア語初級 I・II に続くもので、読解力、及びリスニングの能力を向上させるためのテストを行う。70%を合格ラインとする。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	演習 基本的に対面授業で行うが、どうしても出席できない生徒については個別にmanabaを通じての学習指導などの相談に応じる。
授業方法	毎回の授業でロシア語会話も練習し、その場で暗記して演習してもらう。また文法事項についても一方的に説明するだけでなく他言語と比較して説明し意見を出してもらいレベルをめざして指導する。 第 1 回 ・1 学年時に学習した内容の復習 文字と音、名詞の格変化 (少なくとも主格、対格、前置格については把握していること) 初回で書き取りテストとしての課題に取り組んでもらう 第 2 回 ・初回で確認したロシア語文法について解説 (1 学年時に身につけているはずのロシア語文法について、知識が不十分と評価された学生に対しては、別途、課題を課す) 第 3 回 ・指示代名詞、動詞現在変化 (第 1 変化) について ・形容詞の性・数・格変化、動詞現在変化 (第 2 変化) について ・前置格の復習 第 4 回 ・動詞の過去形の学習 ・生格と所有の表現の学習 ・否定生格について 第 5 回 ・特殊変化する動詞と、それを使った文章の読解 ・運動を表す動詞と、移動の手段の表現について ・不定人称文の学習 第 6 回 ・動詞の未来形について ・与格の学習と、与格を用いる文章の理解 ・無人称文の学習 ・不定人称文と無人称文の違いについて 第 7 回 ・造格の学習と、造格を用いた文章の読解 ・ロシア語における再帰動詞について 第 8 回 ・第 1 回～第 7 回の講義内容の復習 文法事項を復習するため、ロシア語文 30 題を出題するので、それを書き取り、和訳する課題に取り組んでもらう 第 9 回 ・定動詞と不定動詞について 定動詞と不定動詞の違いを訳出する課題をテストの代わりとして課す 第 10 回 ・形容詞短縮尾形と、その用法についての学習 ・名詞の複数格変化について (名詞の複数格変化は第 1 回から第 9 回までの授業内容を理解していないと理解不能となるターニングポイントである。各

自しっかり復習をした上で第10回の授業に臨むこと)

第11回

・名詞・代名詞・形容詞の格変化総まとめ表作成
(第1回から第10回の学習内容をまとめて格変化まとめ表を各自に作成してもらう。テストと同等に扱う)

第12回

・総まとめテスト(ロシア語和訳、聞き取り、ロシア語作文)

第13回

・総まとめテスト(ロシア語和訳、聞き取り、ロシア語作文)

授業計画

事前・事後学 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

修に必要な時間

事前・事後学 1年次に学習した内容を把握しないまま中級の授業に参加する生徒が多いが、第1回、および第2回で確認を行うので十分に準備しておくこと。

修の内容

成績評価は毎回提出のレポートにより行う。

語学の学習は毎回の積み重ねが大事であると考え、その観点から成績を評価する。

成績評価方法・基準

課題(試験やレポート等)について

のフィードバック方法

本授業での課題(試験やレポート等)の講評・解説については授業内(口頭)もしくはmanaba上でおこなう。

教科書・指定図書

授業支援システムに掲載する資料を使用するので、特に指定図書はないが、各自可能な範囲で一冊はロシア語教科書を手に準備しておくことをお勧めする。

履修上の留意点

特になし。

更新日

2026/3/18

開設 科目ナンバー	全学共通 ZAr202
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A3301200
講義名	ロシア語中級Ⅱ
担当者名	尾鼻 敏美
開講情報	秋期 水曜日 2時限 3101教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I
備考	
科目の趣旨	外国語中級Ⅰと同様に読解力の向上を目標とする。学習の仕方は、外国語中級Ⅰと変わりはないが、教材の読み物を最後まで正確に読んでいく。易しくとも、一冊のテキストを終わりまで読みきることは、学習者にとって大きな自信となるはずである。
授業の内容	基本的には1年次のロシア語初級Ⅰ・Ⅱに続くもので、ロシア語の読解力、リスニングの能力を逐次向上させる。 基本的には1年次のロシア語初級Ⅰ・Ⅱに続くもので、ロシア語の読解力、リスニングの能力を向上させるためのテストを行う。70%を合格ラインとする。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	演習
授業方法	基本的に対面授業で行う。前期にmanabaを通じて学習する生徒も対面で学習した生徒と同レベルからのスタートとなるので、学習に遅れがないよう各自で努力しておくこと。 ロシア語会話については授業内での暗記と演習を行う。また発音の向上を図るため、文法学習で使用する例文、長文の一部なども暗唱してもらい、ロシア語の文章が身につくレベルをめざして指導する。 1. Урок 10. Пишите диктант. 2. 動詞の歯音変化と唇音変化 動詞の命令法 3. Урок 11. Он пишет письмо ручкой. 4. 名詞の与格 名詞の造格 5. Урок 12. Она прочитала роман. 6. 動詞の体・不完了体と完了体 7. Урок 13. Я езжу на работу с пересадкой. 8. 運動の動詞 定動詞と不定動詞 関係代名詞 9. Урок 14. Он родился в 1840 году. 10. 個数詞と名詞の結合 11. 年齢の表現 12. 受け身の表現 13. Урок 14. Какое время года лучше? 14. Урок 14. Какое время года лучше?
授業計画	13. Урок 14. Какое время года лучше? 14. Урок 14. Какое время года лучше?
事前・事後学 修に必要な時 間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。 後期は提出課題には小テストの意味合いもあるので、しっかり学習してから提出してください。提出課題の内容だけでなく、レポートのまとめ方なども含めて総合的に評価します。また、毎回の授業内容が積み重なっていくよう資料と音声解説を作成しているため、復習を十分に行ってください。
事前・事後学 修の内容	
成績評価方 法・基準	授業ごとの提出課題の点数を80%、課題に取り組む積極性およびロシア語文章の翻訳能力を20%で評価する。
課題 (試験 やレポート 等) について のフィードバック 方法	本授業での課題 (試験やレポート等) の講評・解説については授業内 (口頭) もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定 図書	佐藤純一著『ロシア語初級クラス』(白水社) Iを基本に、ロシア作家のエッセイを配布して講読する。 特になし。

開設	全学共通
科目ナンバー	ZAr203
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A3301300
講義名	ロシア語中級Ⅲ
担当者名	尾鼻 敏美
開講情報	春期 水曜日 3時限 3101教室
単位数	1
受講可能学部	B/D/E/L/I

科目の趣旨 外国語初級を履修した学生がさらに語学力の向上を図っていくもう一つの学習が、文法を体系的に理解していくことである。外国語中級Ⅲでは、テキストに従いながら、これまでの学習で見落としていた部分や不十分だった知識を確認し、少しずつ言葉の体系や文の構造を学んでいく。
「ロシア語入門」という教科書に沿い、「読む」「聞く」「書く」「話す」を繰り返しながら授業を進める。外国語の四つの技能を、バランスよく伸ばしていく。その根底に、ロシア語文法の確固たる知識があることは言うまでもない。
「«Время говорить по-русски» “ロシア語で話す時間ですよ！”というロシアで出版されている教科書を使って、徐々に語彙を増やしなが、より自然なコミュニケーションをロシア語で行う能力を身に付けていく。この教科書は、ロシア語を学ぶ外国人を対象につくられたもので、非常によくできている。この教科書をマスターすれば、ロシア語コミュニケーションの基礎力が養成されたときみなして差し支えない。

授業の内容 ロシア語の基礎力をバランスよく定着させる。ロシア語圏の文化に少しずつ触れていく。ロシア語学習の究極の目標は、ロシア語を習得することによって広い視野を身につけ、国際的な舞台上で活躍できる人材になることである。英語だけでは、グローバルに活躍することはできないのである。

身近な目標としては、ロシア語検定試験3級の合格を目指す。検定試験では語学力を測れないという意見を、時に耳にするが、勘違いも甚だしい。検定試験は学習の励みにもなるので、受験を強く推奨する。

科目の到達目標
(理解のレベル)

授業形態 演習
ロシア語文法の基礎を学び、それをベースに会話能力を伸ばす。実際にロシア語を使う練習をする。また、ロシア人の風俗・習慣、ロシア料理や芸術作品などを紹介する。

授業方法 講師はロシア人で、外国人へのロシア語教授法にも通じている。ロシア文化に関する興味深い話題もお聞かせしたい。今回は原則として、対面で授業をするが、ZoomやManaba等も積極的に利用する。受講生は、パソコンまたはタブレットを準備しておくこと。

第1回
ガイダンス：初回の授業では受講生の皆さんに自己紹介をしていただいた後、授業の目的や進め方、使用教材に関する説明を行なう。
皆さんにはロシア名で呼びかけるので、自分のことをこう呼んで欲しいというロシア名を選んでもらう。名前を筆記体で書きましょう。
教科書1：(1～6課) (復習)

第2回
教科書1：(1～6課) (復習)
教科書2：(1課) テーマ：パスポートチェック、職業、荷物
会話1, 2；ロシアに関するまめ知識：入国カード；モスクワの空港

第3回
教科書1：(7課) 文法表：名詞の格変化
教科書2：(1課) 会話1, 2 (復習) 会話3, 4；
ロシアに関するまめ知識：ロシア人はなぜニコニコしないの？

第4回
教科書1：(7課) 文法表：名詞、形容詞の格変化
教科書2：(1課) 会話1,2,3,4 (復習)；
歌をロシア語で歌ってみよう：“陽気なガチョウ”(«Два весёлых гуся»)

第5回
教科書1：(8課)
文法：生格(名詞、形容詞の単数形)
教科書2：(1課) 会話5,6
歌をロシア語で歌ってみよう：“陽気なガチョウ”(«Два весёлых гуся»)

第6回
教科書1：(8課)
文法：生格(名詞、形容詞の単数形、複数形)
教科書2：(1課) 会話5,6
歌をロシア語で歌ってみよう：“陽気なガチョウ”(«Два весёлых гуся»)

第7回
教科書1：(9課)
文法：体格(名詞、形容詞の単数形)

教科書2：(1課) 会話6,7,8

第8回

教科書1：(9課)

文法：体格(名詞、形容詞の単数形、複数形)

教科書2：(1課) 会話5,6,7,8

第9回

教科書1：(10課)

動詞の過去形

教科書2：(2課) テーマ：タクシーにて。会話1,2

ロシアに関するまめ知識：知らない人に対する呼び方：若いお兄さん！若いお姉さん！モスクワの天気

自己紹介の準備(まず日本語で書いてもらいます。ロシア語訳は先生がします。)

第10回

教科書1：(10課)

-ся動詞の過去形

教科書2：(2課) 会話2,3

自己紹介の準備(先生は一人一人にロシア語訳を録音します。)

第11回

教科書1：(11課) 動詞:未来形

教科書2：(2課) 会話3,4

自己紹介の準備(先生は一人一人にロシア語訳を録音します。)

第12回

自己紹介の準備として、"Немного о себе"というテーマで、100語程度のロシア語にまとめておいてください。授業時にZoomを通じて披露してください。Manabaでの提出も可。

第13回

"Коронавирус и Россия"というテーマで、200語程度の小論文を作成し、Manabaを通じて提出してください。

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間

【事前学修】その日の授業で扱う教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと。疑問点がある場合は必ずメモしておき、授業時に質問すること。

【事後学修】その日のうちに、十分に時間をかけて授業で習ったことを復習すること。文法事項を再度チェックし、新出単語は会話の中で使えるくらいに練習しておくことが望ましい。

十分に復習してもわからないことがある場合は、メール等で問い合わせること。少し時間はかかるかもしれないが、いただいたメールには必ず返信している。

事前・事後学
修の内容

授業への参加態度を総合的に考慮して評価する。理由のない欠席が五回以上ある場合は、成績評価の対象とならない。発音チェックを含む口述テスト30%、小テスト30%、自己紹介のプレゼンテーション40%。

いずれにしても、授業への積極的な参加が前提となることは言うまでもない。

ロシア語に限らず、外国語学習の基本の一つが発音である。授業中にいくら積極的に発言しても、ネイティブスピーカーに通じないようなひどい発音では、いい評価は得られない。

成績評価方
法・基準

本授業での課題(試験やレポート等)の講評・解説については授業内(口頭)もしくはmanaba上でおこなう。

課題(試験
やレポート
等)について
のフィードバック
方法

1)「ロシア語入門」(CD BOOK)

安岡 治子(著)

出版社: 研究社

ISBN-10: 432739419X

ISBN-13: 978-4327394196

定価3,500円+税

この教科書は、丸善の亜大専門サイト(オンライン)で購入可能である。アマゾンや大型書店でも販売しているし、取り寄せも可能である。

2)「«Время говорить по-русски» “ロシア語で話す時間ですよ!”」: クレイアニメ、音楽や文化情報などの教材が用意されているモスクワ大学国際センターのプロジェクト。日本語に対応。

この教科書は日本では販売していない。入手するためには、ロシアのサイトにアクセスする必要がある。具体的な入手方法を指示するので、講師宛にメールを送ってください。ta.snitko@gmail.com

教科書・指定
図書

シラバスはあくまでも目安であり、必ずしもシラバスどおりに授業が行なわれるとは限りません。授業の進度は受講生のレベルに合わせて、受講生の希望等によっては、授業方法の一部変更もあり得ます。

いつも楽しくロシア語でコミュニケーションしましょう!

履修上の留
意点
更新日

2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAr204 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2A3301400 ロシア語中級Ⅳ 尾鼻 敏美 秋期 水曜日 3時限 3101教室 1 B/D/E/L/I
科目の趣旨	読解と並んで文章構造の体系的理解は、次へのステップに欠かせない重要な学習である。外国語中級Ⅳでは、外国語中級Ⅲと同様に文法体系の理解を目標とする。各言語独自の慣用的な表現や言い回しなどを学ぶことで、今までの知識を補強し、言葉の構造と特徴を理解していく。 「ロシア語入門」という教科書に沿い、「読む」「聞く」「書く」「話す」を繰り返しながら授業を進める。外国語の四つの技能をバランスよく伸ばしていく。その根底には、ロシア語文法の確固たる知識のあることが前提となっている。 「«Время говорить по-русски» “ロシア語で話す時間ですよ！”というロシアで出版された教科書を使って、徐々に語彙を増やしながら、より自然なコミュニケーションをロシア語で行う能力を身につけていく。この教科書は、ロシア語を学ぶ外国人学習者に向けて作られたもので、非常によくできている。この教科書をマスターすれば、ロシア語のコミュニケーション能力が十分に身についたとみなしてよい。
授業の内容	ロシア語の基礎力をバランスよく定着させる。ロシア語圏の文化に少しずつ触れていく。 ロシア語学習の究極の目標は、ロシア語をマスターすることによって広い視野を身につけ、国際的な舞台で活躍できるグローバルな人間になることである。外国語を習得することによって、幾何級数的に視野は広がる。英語を多少知っているだけでは、世界では通用せず、真の教養人ともみなされないのである。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	具体的な目標としては、ロシア語検定試験三級合格を目指す。
授業形態	演習 今年度は原則として対面で授業を行うが、manabaやZoom等も積極的に活用する。
授業方法	授業で使用するプリントは、Googleドライブかmanabaに保存しておくので、授業開始時までに各自で用意しておくこと。 ロシア語文法の基礎を学び、それをベースに会話能力を伸ばす。実際にロシア語を使う練習を行う。また、ロシア人の風俗・習慣、ロシア料理や芸術作品などを紹介する。 講師はロシア人で、外国人へのロシア語教育のМетодикаにも通じている。
	第1回 ガイダンス：授業の目的や進め方、使用教材に関する説明；復習 教科書1：（12課） 文法：与格（名詞、形容詞の単数形）
	第2回 教科書1：（12課） 文法：与格（名詞、形容詞の単数形、複数形） давать, любить の現在変化形 教科書2：（3課）テーマ：部屋にて。会話1
	第3回 教科書1：（12課） 文法：与格（名詞、形容詞の単数形、複数形） «давать», «любить» の現在変化形 教科書2：（3課）会話2
	第4回 教科書1：（13課） 文法：造格（名詞、形容詞の単数形） 教科書2：（3課）会話2,3 ロシアに関するまめ知識：モスクワのホテルを予約する方法。
	第5回 教科書1：（13課） 文法：造格（名詞、形容詞の単数形、複数形） «писать», «ждать» の現在変化形 教科書2：（3課）会話3
	第6回 教科書1：（14課） 文法：移動の動詞（定動詞・不定動詞） 教科書2：（4課）テーマ：レストランで。メニュー。 会話1
	第7回 教科書1：（15課） 文法：動詞の体（完了体・不完了体）

教科書2：(4課) 会話1,2
ロシアに関するまめ知識：ロシア人の食文化、モスクワのレストランとカフェ、ロシア料理

第8回
教科書1：(15課)
文法：動詞の体(完了体・不完了体)
教科書2：(4課) 会話1,2

第9回
教科書1：(16課)
文法：命令形
教科書2：(4課) 会話2
ロシア民話：「テレモーク」

第10回
教科書1：(17課)
文法：形容詞の単語尾形
数詞(個数詞・順序数詞)
ロシア民話：「テレモーク」(リハーサル)

第11回
教科書1：(17課)
文法：形容詞の短語尾形
ロシア民話：「テレモーク」(リハーサル)

第12回
教科書1：(18課)
文法：数詞(個数詞・順序数詞)
ロシア民話：「テレモーク」(演劇)

第13回
日本ロシア学生交流会(オンライン)
復習の練習(主として発音のチェック)
課題解答解説による総まとめ(主として文法項目のチェック)

授業計画
事前・事後学修に必要な時間
本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

【事前学修】その日の授業で扱う教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと。疑問点がある場合は、必ずメモしておく、授業時に質問すること。
【事後学修】授業で習ったことは、その日のうちに十分に時間をかけて復習すること。文法事項を再度チェックし、新出単語は反復練習し、会話の中で用いることができるようにしておく。
十分に復習してもわからないことがある場合は、遠慮せず、メール等で講師に問い合わせられたい。できるだけ迅速に返信するよう心掛けている。

事前・事後学修の内容
授業への参加態度を総合的に考慮して評価します。しかるべき理由のない欠席が四回以上ある場合は、成績評価の対象となりません。
発音のチェックを含む小テスト30%、宿題として出される課題の出来栄え30%、「テレモーク」演劇のプレゼンテーション40%。
たとえ授業で積極的に発言したとしても、ネイティブスピーカーに通じないようなひどい発音では、いい成績はつきません。ロシア語は美しい言語なので、是非正しい発音を習得してください。
いずれにせよ、授業への積極的な参加が前提となります。

成績評価方法・基準
課題(試験やレポート等)についてのフィードバック方法
本授業での課題(試験やレポート等)の講評・解説については授業内(口頭)もしくはmanaba上でおこなう。

1)「ロシア語入門」(CD BOOK)
安岡 治子(著)
出版社: 研究社
ISBN-10: 432739419X
ISBN-13: 978-4327394196
定価3,500円+税

2)「«Время говорить по-русски» “ロシア語で話す時間ですよ!”」: クレイアニメ、音楽や文化情報などの教材が用意されているモスクワ大学国際センターのプロジェクト。日本語に対応。(具体的なテキスト入手方法は、初回の授業で指示します。)

教科書・指定図書
シラバスはあくまでも目安であり、必ずしもシラバスどおりに授業が行なわれるとは限りません。授業の進度は受講生のレベルに合わせて、受講生の希望等によっては、授業方法の一部変更もあり得ます。

履修上の留意点
更新日
いつも楽しくコミュニケーションをとりましょう!

2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZAr205
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A3301500
講義名	ロシア語中級V
担当者名	松本 賢信
開講情報	春期 金曜日 3時限 7306教室
単位数	1
受講可能学部	E/L/I

科目の趣旨 外国語初級を一通り学習した学生がその知識をさらに確かなものにしていく実践的な学習が、表現能力の訓練である。ここでは、簡単な日常の事柄を外国語で表現できるようにすることを目標とし、各言語独自の言い回しや言葉の使い方などを中心に学び、作文力や会話能力の向上を目指す。
1年次に学習したロシア語文法の基礎をより確実なものにすることを目標とする。また、リスニングやロシア語作文の能力も積極的に伸ばしてもらいたい。

授業の内容 今年度は教科書を変更し、対面で文法中心の授業を行う。
数多くの練習問題をこなし、かなりきつい授業になると思うが、ついてきてほしい。
ロシア語のような屈折言語を習得するには、確固たる文法の知識が不可欠である。文法があやふやでは、自信をもって、ロシア人とコミュニケーションをとることもできないであろう。
幸い講師は、ロシア語のみならず、英語、ドイツ語、フランス語、ポーランド語、ウクライナ語、中国語、韓国語に堪能であり、ロシア語文法の諸現象をこれらの言語の文法と比較しながら講義することができる。

一つの指針として、ロシア語検定試験3級合格を最低限の目標とする。
検定試験では、真の語学力をはかることができないなどと言って非難する者がいるが、見当違いも甚だしい。適切な出題をすれば、読解力、文法の知識、正しい文章を書く力、聞き取り能力などをかなり正確に測定することができる。しかも検定試験は学習の励みにもなるので、受験することを強く推奨する。
ロシア語学習の真の目的は、新しい言語を習得することによって、広い視野を身に付け、国際的な舞台で活躍できる人間になることである。

科目の到達目標
(理解のレベル)

授業形態 演習
基礎文法の概略説明と練習問題をこなした後、ロシア語短文の解説を通して、さらなる文法知識を身につける。例文暗誦と和文露訳は、毎回小テストとして実施する。練習問題は、該当範囲を予習して授業に臨むこと。
授業では、一人一人順番にあてていくので、間違いを恐れずに、積極的に発言されたい。
間違いを直すのが、教師の仕事である。
屈折言語の学習では、どうしても文法中心になりがちであるが、発音の習得にも十分留意することが望ましい。ロシア語が世界で最も美しい言語であることは、対照言語学の領域ですでに証明されているのである。
例文暗誦と和文露訳のレベルは受講生のロシア語能力に合わせるが、各授業で説明する文法事項は以下の通り。

1. 動詞現在変化、定動詞などのまとめ(練習問題40-41頁)
2. 動詞の体と時制のまとめ(練習問題47頁)
3. 名詞および人称代名詞の格変化まとめ I 男性名詞、女性名詞(練習問題55-56頁)
4. 名詞および人称代名詞の格変化まとめ II 中性名詞、複数形(練習問題66-67頁)
5. 基本的形容詞の語尾変化まとめ(練習問題73-74頁)
6. 比較級の作り方と使い方(練習問題81-83頁)
7. 関係代名詞の使い方(練習問題90-91頁)
8. 副動詞の作り方(練習問題97-98頁)
9. 副動詞の使い方(練習問題104-105頁)
10. 形動詞の作り方(練習問題113-114頁)
11. 形動詞の使い方(練習問題123-125頁)
12. 検定試験四級レベルのオリジナル問題を用いた総復習
13. 検定試験三級レベルのオリジナル問題を用いた総復習

授業計画 タブレットやパソコンにロシア文字をインストールしておくこと。
事前・事後学修に必要な時間 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

【事前学修】
暗唱例文は何度も繰り返し、授業前に一通り暗記しておくこと。和文露訳の問題も、自分なりの答えを用意して授業に臨むこと。授業が復習の場となるのが、本来の姿であろう。

【事後学修】

授業で習った文法事項をきちんと復習し、しっかりした知識として身につけておくことが望ましい。疑問点があれば、メール等で講師に問い合わせること。可能な限り迅速に返信するように心がけている。ロシア語に関することであれば、授業外の質問も歓迎する。

事前・事後学修の内容

成績は授業への取り組み方の積極性、毎回の小テストの結果を重視して評価する。毎回の授業への参加が前提となることは言うまでもない。

今回は試験を実施しない。

13回の課題小テスト(70%)、検定試験三級レベルの総復習オリジナル問題(30%)。

一つ注意してほしいのは、外国語の学習では、結果がすべてである、という点である。授業時に積極的に発言することは、もちろん評価するが、正しい文法、正しい発音で発言しなければ、高い評価は得られない。

成績評価方法・基準

課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

文法事項の説明については、資料をmanabaにアップしておく。

暗唱例文および和文露訳問題は、授業時に指定する。

教科書・指定図書

教科書は、リサーチ出版の『ゼロからスタートロシア語文法編』を用いる。初回の授業時までに購入しておくこと。CDもついてるので、大いに活用されたい。

履修上の留意点

基本的に予習より復習を重視する授業とするが、1年次に学習した内容などであやふやになっている点は、各自で見直しておくこと。

更新日

2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZAr206
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2A3301600
講義名	ロシア語中級VI
担当者名	松本 賢信
開講情報	秋期 金曜日 3時限 7306教室
単位数	1
受講可能学部	E/L/I

科目の趣旨	より高度な事柄を外国語で表現できるようにすることを目標とする。学習の仕方は、外国語中級Vと変わりはないが、作文では、より上手な文章作りができるよう学習し、会話では、適切な言葉や慣用表現が上手に使えるように練習していく。 1年次に学習したロシア語文法の基礎をより確実なものにすることを目標とする。また、リスニングやロシア語作文の能力も積極的に伸ばしてもらいたい。
授業の内容	今年度は教科書を変更し、対面で文法中心の授業を行う。 数多くの練習問題をこなし、かなりきつい授業になると思うが、ついてきてほしい。 ロシア語のような屈折言語の学習においては、文法の習得が不可欠であることは言うまでもない。名詞や形容詞の格変化があいまいでは、ロシアの人たちとコミュニケーションをとることはできないし、検定試験四級にすら合格しない。 講師は、ロシア語のほか、英語、ドイツ語、フランス語、ポーランド語、ウクライナ語、中国語、韓国語に堪能なので、これら諸語との比較において、ロシア語の文法現象を説明する。 一つの指針として、ロシア語検定試験 3級合格を最低限の目標とする。 検定試験では、語学力を測れないなどという者がいるが、見当違いも甚だしい。出題が適切であれば、読解力、正しいロシア語を書く力、聞き取り能力、文法の正確な知識などを、きわめて正確に測ることができるのである。しかも、検定試験を受けることは、学習の励みにもなるので、受験を強く推奨する。 外国語学習の究極の目標は、広い視野を身につけ、国際的なレベルで活躍できる人間になることである。
科目の到達目標 (理解のレベル)	
授業形態	演習 原則として、対面、リアルタイムで授業する。
授業方法	毎回の授業で用いる課題は、manabaまたはGmailに保存しておくので、授業開始時まで各自で用意しておくこと。 基礎文法の概略説明と練習問題をこなした後、ロシア語短文の解説を通して、さらなる文法知識を身につける。例文暗誦と和文露訳は、毎回小テストとして実施する。練習問題は、該当範囲を予習して授業に臨むこと。 ロシア語は、他のスラブ諸語同様、変化の激しい屈折言語である。ゆるぎない文法知識が身につくよう、徹底的な反復練習を行う。 例文暗誦と和文露訳のレベルは受講生のロシア語能力に合わせるが、各授業で説明する文法事項は以下の通り。 1. 単数生格と所有の構文、生格の用法(練習問題141-143頁) 2. 複数生格と数詞、数詞と名詞が結合するときのルール(練習問題151-153頁) 3. -овать動詞と-авать動詞、不規則動詞(練習問題159-161頁) 4. 時間の表現と複数生格、伝統的な言い方と鉄道式の言い方(練習問題168-169頁) 5. 単数・複数対格、活動体と不活動体(練習問題178-179頁) 6. 数詞2、千以上の数詞、順序数詞(練習問題186-187頁) 7. 動詞の体、不完了体と完了体の区別(練習問題196-197頁) 8. 数詞3、百万以上の数詞(練習問題204-205頁) 9. 単数与格、無人称文と与格(練習問題214-215頁) 10. 形容詞型の単数与格、動詞の未来形、不完了体未来と完了体未来(練習問題223-225頁) 11. 単数造格、造格と結びつく前置詞(練習問題234-235頁) 12. 複数与格・造格・前置格、複数形の斜格(242-243頁) 13. 検定試験三級過去問研究、スラブ諸語におけるロシア語の位置と特徴
授業計画	各回文法のテーマをもった授業を展開するが、正確な発音の習得や、読解力の要請にも十分留意する。
事前・事後学修に必要な時間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。 【事前学修】 暗唱例文は何度も繰り返し、授業前に一通り暗記しておくこと。和文露訳の問題も、自分なりの答えを用意して授業に臨むこと。反復は学習の母である。

【事後学修】

授業で習った文法事項をきちんと復習し、しっかりした知識として身につけておくことが望ましい。疑問点があれば、メール等で講師に問い合わせること。可能な限り、迅速に返信するよう心掛けている。

ロシア語に関するものであれば、授業外の質問も歓迎する。

事前・事後学修の内容

成績は授業への取り組み方の積極性(40%)、毎回の小テストの結果(60%)を重視して評価する。毎回の授業への参加が前提となることは言うまでもない。

出席しているだけで、いい成績がつくわけではない。授業時に多く発言したとしても、発音や文法の正確さが伴わなければダメである。

ただ間違いを恐れずに、積極的に発言してほしい。発音や文法の誤りがあれば、講師のほうで直し、適切なアドバイスもする。間違いを正すのが、教師の仕事である。

成績評価方法・基準

課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

文法事項の説明についてはプリントを用意する。

暗唱例文および和文露訳問題は、授業時に指定する。

教科書・指定図書

教科書は、リサーチ出版の『ゼロからスタートロシア語文法編』を用いる。アマゾンや大型書店で簡単に入手できるので、初回の授業時まで購入しておくこと。CDもついているので、大いに活用されたい。

履修上の留意点

基本的に予習より復習を重視する授業とするが、1年次に学習した内容などであやふやになっている点は、各自で見直しておくこと。

更新日

2026/3/18

開設 科目ナンバー	全学共通 ZAr211
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2AB035100
講義名	ロシア語応用 I
担当者名	松本 賢信
開講情報	春期 金曜日 2時限 3101教室
単位数	1
受講可能学部	B/H/D/E/L/I/U
備考	
科目の趣旨	一年次ないし二年次で外国語を履修した学生がさらに学力を伸ばしていく応用科目の一つが、異文化を通しての語学学習である。I (前期) では、新聞や雑誌などの教材を読むことで語学力を養い、併せて人間や文化についても学んでいく。語学力を高めようとする場合には欠かせない言葉と異文化に対する理解をここで深めていくことになる。 ロシアは日本から最も近い外国の一つで、ソ連崩壊から35年を経過した現在、日本とロシアとの関係は着実に深まりつつある。ロシア人の物の考え方、文化、生活習慣を正確に理解するには、ロシア語の学習が必要不可欠であるので、授業ではロシア語の基礎的な学力をつけることを目標とする。
授業の内容	一つの指針として、ロシア語検定試験 3 級合格を最低限の目標とする。 ロシアで発行される新聞や雑誌の記事を読み、その内容をしっかりと把握できることを目指す。 「書く・聞く・話す」の三技能でも、基本をしっかりとマスターし、文法的なミスをおかさないレベルを目指す。
科目の到達 目標 (理解のレベル)	
授業形態	演習
授業方法	今年度は原則として、対面で授業を行うが、manaba, Skype, Zoom等も積極的に活用する。 科学的な学習方法を用いれば、ロシア語の習得は決して難しいので、学生の理解度を注意深く見きわめながら、リラックスした雰囲気、必ず効果の上がる方法をとりたい。 一人一人あてていくので、予習したうえで、授業に臨むことが望ましい。 外国語の学習は、当然、地道な反復練習が必要である。基本単語500語を完全にマスターするのが第一目標。それから第二目標を1,000語とし、徐々にボキャブラリーを増やしていく。毎回の授業で教師と学生の間で会話の練習を行う。時々、教科書から離れて、自由な話題での会話練習も行う。授業のスケジュールは教科書の目次の順序にしたがう。 1. Урок 1. Я хомячок. これは～です 2. Урок 2. Это Мишка. 名詞の性 3. Урок 3. Как тебя зовут? 名詞の複数形 4. Урок 4. Это Саша. 動詞の変化 5. Урок 5. Аня, что ты делаешь? 名詞の格 6. Урок 6. Ваня уже работает? 「～語の言い方」 7. Урок 7. Вчера в школе был вечер. 人称代名詞の前置格 8. Урок 8. Завтра суббота. 名詞の単数生格 9. Урок 9. Недавно Ваня познакомился со студенткой из Японии. 名詞の複数生格 10. Урок 10. У меня есть тайна. 活動体名詞の対格 11. Урок 11. Вчера было холодно. 名詞の単数与格 12. Урок 12. У меня много орехов. 動詞の未来形 13. Урок 13. Который час? 個数詞
授業計画	13. Урок 13. Который час? 個数詞
事前・事後学 修に必要な時 間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。 【事前学修】 テキストの和訳をあらかじめ準備して、授業に臨むこと。 【事後学修】 丁寧に発音練習を繰り返すこと。文法事項をノートにまとめ、単語は暗記に努めること。外国語の習得に王道はなく、地道な反復練習に徹してほしい。 疑問点がある場合は、そのまましておくのではなく、メール等で講師に問い合わせること。
事前・事後学 修の内容	毎回の授業で学生のロシア語習得の程度を評価し、教師が「評価メモ」を作成する。

成績評価方法・基準	学期末には「評価メモ」を総合して、最終的な成績評価を行う。 成績評価方法は100%「評価メモ」によるが、その内訳は、小テストの得点60%、課題の出来栄40%である。 いずれにせよ、授業への積極的な参加が前提となることは言うまでもない。
課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法	本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。
教科書・指定図書	沼野恭子他著 大学のロシア語 I 東京外国語大学出版会
履修上の留意点	学生は記憶を定着させるために「単語カード」を自分で作成すること。
更新日	2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAr212 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2AB035200 ロシア語応用Ⅱ 松本 賢信 秋期 金曜日 2時限 3101教室 1 B/H/D/E/L/I/U
科目の趣旨	一年次ないし二年次で外国語を履修した学生がさらに学力を伸ばしていく応用科目の一つが、異文化を通しての語学学習である。Ⅱ（後期）では、Ⅰと同じように文化的な問題に関する外国語の知識を修得しながら、さらに異文化理解を押し進めていく。語学力を高めようとする場合には欠かせない言葉と異文化に対する理解をここで深めていくことになる。 ロシアは日本から最も近い外国の一つで、ソ連崩壊から35年を経過した現在、日本とロシアの関係は着実に深まりつつある。ロシア人の物の考え方、文化、生活習慣を正確に理解するには、ロシア語の学習が必要不可欠であるので、授業ではロシア語の基礎的な学力をつけることを目標とする。 外国語学習における四つの技能「読む」「書く」「聞く」「話す」を、バランスよく伸ばしていく。 いずれにせよ、確固たる正確な文法の知識が前提となることは言うまでもない。屈折言語であるロシア語は、名詞は12通り、形容詞は24通りに変化する。これらの変化形の正しい形が瞬時に出るようでない、ロシア人との円滑なコミュニケーションは成立しないのである。
授業の内容	一つの指針として、ロシア語検定試験 3級合格を最低限の目標とする。 検定試験では語学力を正確に測ることはできないなどという者がいるが、全くの愚見である。適切な出題がなされれば、読解力、正確な文章を書く力、聞き取り能力、文法の知識などを正しく測定することができる。しかも、検定試験は学習の励みにもなるので、受験することを強く推奨している。 英語の知識だけでグローバル人材になれるというのも愚見であり、ロシア語学習の究極の目標は、視野を広げ、国際的なレベルで活躍できる人間になることである。
科目の到達 目標 （理解のレ ベル）	
授業形態	演習
授業方法	科学的な学習方法を用いれば、ロシア語の習得は決して難しくない、学生の理解度を注意深く見きわめながら、リラックスした雰囲気、必ず効果の上がる方法をとりたい。 今年度は原則として対面で授業をするが、Zoom等も積極的に活用する。 毎回の授業で使用するプリント資料は、manabaまたはGoogleドライブに保存しておくので、授業開始時まで各自準備しておくこと。 講師はかつて同時通訳や会議通訳も務めたことがあり、ロシア語教育のМетодикаにも精通している。 外国語の学習は、当然、地道な反復練習が必要である。その際、学生が退屈しないように、例えば「動詞」を学習する時には、教師が「動作を実演」し、学生の記憶を助ける。基本単語500語を完全にマスターするのが第一目標。それから第二目標を1,000語とし、徐々にボキャブラリーを増やしていく。毎回の授業で教師と学生の間で会話の練習を行う。時々、教科書から離れて、自由な話題での会話練習も行う。その際、ロシア語による説明だけでは、学生が十分理解できない場合は、日本語の説明で補うこともある。授業のスケジュールは教科書の目次の順序にしたがう。
授業計画	13. 仮定法
事前・事後学 修に必要な時 間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。 【事前学修】

この授業では文法を徹底的に練習するが、授業前に練習問題の答を準備しておくこと。正確な文法の知識なくして、外国語の習得はあり得ない。

【事後学修】

その日に習った文法項目は、今一度おさらいし、確実な知識として身につけておくこと。疑問点がある場合は、メール等で講師に問い合わせること。可能な限り、迅速に返信する。ロシア語検定など具体的な目標をもって学習に励んでほしい。ただし、授業と検定試験が直接リンクしているわけではない。

毎回の授業で学生のロシア語習得の程度を評価し、教師が「評価メモ」を作成する。学期末には「評価メモ」を総合して、最終的な成績評価を行う。小テストの得点の合計が60%、課題の出来栄が40%。毎回の授業に出席し、積極的に参加することは当然の前提となる。

注意してほしいのは、授業に出席しているだけで、いい成績がつくわけではない、ということである。また、授業時に多く発言したとしても、発言内容のみならず、発音や文法の正確さも、当然評価の対象となる。

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

沼野恭子他著
大学のロシア語 I
東京外国語大学出版会
初回の授業時までには教科書を入手しておくこと。

学生は記憶を定着させるために「単語カード」を自分で作成すること。

2026/3/18

開設 科目ナンバー カリキュラム・マップ（学位授与方針との関連） 講義コード 講義名 担当者名 開講情報 単位数 受講可能学部 備考	全学共通 ZAr213 https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html 2AB035300 ロシア語応用Ⅲ 尾鼻 敏美 春期 水曜日 1時限 3101教室 1 B/H/D/E/L/I/U
科目の趣旨	一年次ないし二年次で外国語を履修した学生がさらに力をつけていくもう一つの応用科目が、語学的観点からの学習である。Ⅲ（前期）では、各種のテキストを通して、様々な構文の把握、文章表現の方法、それに語法の体系的な理解などについて学んでいく。また授業内容から、この科目は各言語の検定試験の受験対策講座として利用することもできる。 授業では今まで学んだことを定着させ活用できるようにするために、様々な場面・状況を想定した会話練習を積極的に授業に取り入れていく。
授業の内容	「Русский язык быстро」、「Русский язык в ситуациях повседневного общения」、「Новая Россия: 127 живых диалогов и самые важные глаголы движения」という教科書を使って、会話力をアップさせながら授業を進める。 異文化に対する理解を深めるために、取り上げるテーマによって映像資料も適宜紹介する。 授業では、会話練習を中心に行うが、その根底には、正しいロシア語の発音の基礎があることは言うまでもない。 ロシアに関する知識、ロシアの文化、話し言葉を習得し、日常会話の能力を身につける。 受講生のロシア語力（会話、モノローグ、読解、聞き取り）のレベルアップを図るため、知っている語彙（自分で話す語彙と聴いて理解する語彙）の数を増やし、習得した文法事項や単語を会話で使い、ロシア語を聴いて理解し、正しい発音ができるようになることを目指す。 具体的な目標としては、ロシア語検定試験二級合格を目指す。二級を持っていれば、国際的な舞台でも活躍することができ、就活でも困ることはないであろう。
科目の到達 目標 （理解のレベル） 授業形態	演習
授業方法	日常使用される話し言葉を学んで理解し、ロシア語でのコミュニケーションを経験すること。 「Русский язык быстро」、「Русский язык в ситуациях повседневного общения」、「Новая Россия: 127 живых диалогов и самые важные глаголы движения」という教科書を使って、様々な練習を通じて実践的な会話力を徐々に身につけていくことに力をいれる。リラックスした雰囲気でも、楽しく勉強しながら、必ず効果が上がる方法をとりたい。 ロシア語による説明だけでは、学生が十分理解できない場合は、日本語の説明で補う。 今年度は原則として対面で授業を行うが、Skype, Zoom, manaba等も積極的に活用する。授業開始時まで、パソコンまたはタブレットを準備しておくこと。
	第1回 ガイダンス 初回の授業では受講生の皆さんに自己紹介をしていただいた後、授業の目的や進め方、使用教材に関する説明を行なう。尚、受講生の皆さんにはロシア名で呼びかけますので、自分のことをこう呼んで欲しいというロシア人の名前を選んでもらう。 「Русский язык быстро」：（5課） Знакомство 「Русский язык в ситуациях повседневного общения」：（短会話） Имена и отчество
	第2回 「Русский язык быстро」：（5課） Семья 「Русский язык в ситуациях повседневного общения」：（短会話） Жилище
	第3回 「Русский язык быстро」：（5課） Регионы 「Русский язык в ситуациях повседневного общения」：（短会話） Школа
	第4回 「Русский язык быстро」：（6課） Профессии 「Русский язык в ситуациях повседневного общения」：（短会話） Жизнь россиян
	第5回 「Русский язык быстро」：（6課） Кухня 「Русский язык в ситуациях повседневного общения」：（短会話） Пешие прогулки
	第6回 「Русский язык быстро」：（6課） Домашние животные 「Русский язык в ситуациях повседневного общения」：（短会話） Транспорт
	第7回 「Русский язык быстро」：（6課） Личный автотранспорт и пробки 「127 живых диалогов」：（1課） Территория России
	第8回 「Русский язык быстро」：（7課） Прогноз погоды

「127 живых диалогов」：（1課）Времена года

第9回

「Русский язык быстро」：（7課）Работа и отдых

「127 живых диалогов」：（1課）Рождество христово

第10回

「Русский язык быстро」：（7課）Русская православная церковь в Японии

「127 живых диалогов」：（2課）Рыбалка

第11回

「Русский язык быстро」：（7課）Поход за грибами

「127 живых диалогов」：（2課）Скоморохи

第12回

"О моей семье" というテーマでロシア語の小論文を作成してください。200語程度。一人五分の持ち時間で、授業時にプレゼンしてください。プレゼンが難しい場合は、manabaで提出してください。

第13回

"О моем хобби" というテーマでロシア語の小論文を作成してください。200語程度。一人五分の持ち時間で、授業時にプレゼンしてください。プレゼンが難しい場合は、manabaで提出してください。

本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

【事前学修】その日の授業で扱う教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと。文法事項等で疑問点がある場合は必ずメモしておき、授業時に質問すること。

【事後学修】授業で習ったことはその日のうちに、十分に時間をかけて復習すること。とりわけ新出単語は十分に練習して習得し、会話の中でも用いられるようにしておきたい。

わからないことがあれば、遠慮せずにメール等で講師に問い合わせること。可能な限り迅速に対応する。

授業への参加態度を総合的に考慮して評価します。

発音のチェックを含む口述テスト40%、単語の小テスト30%、宿題として出される課題の出来栄30%。

いずれにしても、授業への積極的な参加が前提となることは言うまでもありません。

一つ注意してほしいのは、授業に出席するだけで、いい成績がつくわけではない、ということです。授業時における発言回数だけでなく、文法や発音の正確さも評価の対象となります。とりわけ、ロシア語は世界で最も美しい言語なので、正しい発音の習得に関心を持ってもらいたいと思います。

本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

授業では「Русский язык быстро」、「Новая Россия: 127 живых диалогов и самые важные глаголы движения」、「Русский язык в ситуациях повседневного общения」という教科書を使用しますが、必要に応じてプリントを配布、またはmanabaに資料をアップします。

これらの教科書は日本で購入することはできません。具体的な入手方法を指示しますので、講師にメールを送ってください。

教科書とは別に、参考書として、三修社の『耳が喜ぶロシア語』をお薦めします。アマゾンや大型書店で簡単に入手できます。

シラバスはあくまでも目安であり、必ずしもシラバスどおりに授業が行なわれるとは限りません。授業の進度は受講生のレベルに合わせて、受講生の希望等によっては、授業方法の一部変更もあり得ます。

いつも楽しくロシア語でコミュニケーションをとりましょう！

2026/3/18

授業計画
事前・事後学
修に必要な時
間

事前・事後学
修の内容

成績評価方
法・基準
課題（試験
やレポート
等）について
のフィードバック
方法

教科書・指定
図書

履修上の留
意点
更新日

開設	全学共通
科目ナンバー	ZAr214
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2AB035400
講義名	ロシア語応用Ⅳ
担当者名	尾鼻 敏美
開講情報	秋期 水曜日 1時限 3101教室
単位数	1
受講可能学部	B/H/D/E/L/I/U

科目の趣旨 一年次ないし二年次で外国語を履修した学生がさらに力をつけていくもう一つの応用科目が、語学的観点からの学習である。Ⅳ（後期）も、授業の仕方は原則としてⅢと変わらないが、様々な言葉や文章に触れながら語学の知識をさらに深めていくことになる。また授業内容から、この科目は各言語の検定試験の受験対策講座として利用することもできる。
授業では今まで学んだことを定着させ活用できるようにするために、様々な場面・状況を想定した会話練習を積極的に授業に取り入れていく。

「Русский язык быстро」、「Русский язык в ситуациях повседневного общения」、「Новая Россия: 127 живых диалогов и самые важные глаголы движения」という教科書を使って、会話力をアップさせながら授業を進める。

授業の内容 異文化に対する理解を深めるために、取り上げるテーマによって映像資料も適宜紹介する。

授業は、会話練習を中心に行うが、正しい発音が根底にあることは言うまでもない。

ロシアに関する知識、ロシアの文化、話し言葉を習得し、日常会話の能力を身につける。

受講生のロシア語力（会話、モノローグ、読解、聞き取り）のレベルアップを図るため、知っている語彙（自分で話す語彙と聴いて理解する語彙）の数を増やし、習得した文法事項や単語を会話で使い、ロシア語を聴いて理解し、正しい発音ができるようになることを目指す。

具体的な目標として、検定試験二級合格を目指す。ロシア語検定試験は、ロシア語のみならず、日本語の力も問われるので、強く推奨している。

科目の到達目標
(理解のレベル)

授業形態 演習

今年度は原則として、対面で授業をするが、SkypeやZoom等も積極的に活用する。授業に必要な教材はすべてmanabaまたはGoogleドライブに入れておくので、授業開始時までに、各自印刷して準備しておくこと。

日常生活される話し言葉を学んで理解し、ロシア語でのコミュニケーションを経験すること。

「Русский язык быстро」、「Русский язык в ситуациях повседневного общения」、「Новая Россия: 127 живых диалогов и самые важные глаголы движения」という教科書を使って、様々な練習を通して実践的な会話力を徐々に身につけていくことに力をいれる。リラックスした雰囲気、楽しく勉強しながら、必ず効果が上がる方法をとりたい。

授業方法 ロシア語による説明だけでは、学生が十分理解できない場合は、日本語の説明で補う。

第1回

ガイダンス

初回の授業では受講生の皆さんに自己紹介をしていただいた後、授業の目的や進め方、使用教材に関する説明を行なう。

尚、受講生の皆さんにはロシア名で呼びかけますので、自分のことをこう呼んで欲しいというロシア人の名前を選んでもらう。

「Русский язык быстро」：（5課） Знакомство

「Русский язык в ситуациях повседневного общения」：（短会話） Имена и отчество

第2回

「Русский язык быстро」：（5課） Семья

「Русский язык в ситуациях повседневного общения」：（短会話） Жилище

第3回

「Русский язык быстро」：（5課） Регионы

「Русский язык в ситуациях повседневного общения」：（短会話） Школа

第4回

「Русский язык быстро」：（6課） Профессии

「Русский язык в ситуациях повседневного общения」：（短会話） Жизнь россиян

第5回

「Русский язык быстро」：（6課） Кухня

「Русский язык в ситуациях повседневного общения」：（短会話） Пешие прогулки

第6回

「Русский язык быстро」：（6課） Домашние животные

「Русский язык в ситуациях повседневного общения」：（短会話） Транспорт

第7回

「Русский язык быстро」：（6課） Личный автотранспорт и пробки

「127 живых диалогов」：（1課） Территория России

第8回

「Русский язык быстро」：（7課） Прогноз погоды

「127 живых диалогов」：（1課）Времена года

第9回

「Русский язык быстро」：（7課）Работа и отдых

「127 живых диалогов」：（1課）Рождество христово

第10回

「Русский язык быстро」：（7課）Русская православная церковь в Японии

「127 живых диалогов」：（2課）Рыбалка

第11回

「Русский язык быстро」：（7課）Поход за грибами

「127 живых диалогов」：（2課）Скоморохи

第12回

「Русский язык быстро」：（7課）Билеты на концерт

「127 живых диалогов」：（2課）Зоопарк

第13回

「Русский язык быстро」：（7課）Балет

「127 живых диалогов」：（2課）Спорт

復習の練習, Подарок

課題解答解説による総まとめ

授業計画

事前・事後学修に必要な時間 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、70分程度である。

【事前学修】その日の授業で扱う教科書の該当箇所にあらかじめ目を通しておくこと。文法事項等で疑問点がある場合は必ずメモしておき、授業時に質問すること。

【事後学修】授業で習ったことはその日のうちに、十分に時間をかけて復習すること。とりわけ新出単語は十分に練習して習得し、会話の中でも用いられるようにしておきたい。

わからないことがある場合は、遠慮せずにメール等で講師に問い合わせしてほしい。可能な限り迅速に返信するようにしている。

事前・事後学修の内容

授業への参加態度を総合的に考慮して評価します。

発音のチェックを含む口述テスト40%、単語の小テスト30%、宿題として出される課題の出来栄え30%。

いずれにしても、授業への積極的な参加が前提となることは言うまでもありません。

一つ注意してほしいのは、授業に出席しているだけで、いい成績がつくとは限らない、ということです。どんなに発言回数が多くても、それだけでは高評価につながらず、発音や文法の正確さも評価の対象となります。

成績評価方法・基準

課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法 本授業での課題（試験やレポート等）の講評・解説については授業内（口頭）もしくはmanaba上でおこなう。

補助教材等の資料はmanabaにアップしておきます。

授業では「Русский язык быстро」、「Новая Россия: 127 живых диалогов и самые важные глаголы движения」、「Русский язык в ситуациях повседневного общения」という教科書を使用します。

教科書の入手方法は、初回の授業時に指示します。

教科書・指定図書

参考書を授業時に紹介します。

シラバスはあくまでも目安であり、必ずしもシラバスどおりに授業が行なわれるとは限りません。授業の進度は受講生のレベルに合わせてまずし、受講生の希望等によっては、授業方法の一部変更もあり得ます。

いつも楽しくロシア語でコミュニケーションをとりましょう！

履修上の留意点

更新日 2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZE105
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2EC000100
講義名	宇宙と物質 A組
担当者名	吉田 律
開講情報	春期 火曜日 2時限 7100教室
単位数	2
受講可能学部	B/H/D/E/L/I/C/U/S

科目の趣旨 宇宙について人類は各時代に夢を描いてきた。科学が発展するにつれて宇宙の謎はかえって深まり、一般的に物理学の分野で際立って人気がある。宇宙に関する観測技術が驚異的に進歩し、高エネルギー物理学の進展とともに、宇宙の研究はいまや精密科学の領域に入ってきている。宇宙の進化、銀河、天体やまた物質の起源など興味あるテーマを観測事実に基づき科学的思考方法で講義する。これらのテーマはミクロの世界も含めて総合的な把握が要求され、基礎的な部分も必要に応じて学んでいく。

「宇宙」という用語並びに「物質」という用語の定義を最初に行ない、日常生活において使われている同様の用語との区別を明確化する。宇宙観測の複数の方法を概説した後、宇宙の構造について基本的な項目を順次解説・紹介する。併せて宇宙に存在する様々な物質についても解説・紹介する。これら宇宙と物質に関する基本的な事項を踏まえた上で、宇宙の開闢から現在までの発展過程 (宇宙の「歴史」) を順次解説・紹介する。

授業の内容 更に、宇宙や物質を科学的に理解する為の基盤的前提である2つの「普遍性」についてそれらの内容と正当性を言及する。新たな宇宙観測結果やコンピュータ・シミュレーション結果が公表された場合には、それらの内容を解説に随時反映させる。天文学の用語が全ての人に共通理解できるように定義されている事とその必要性を理解し説明できる事。宇宙の様々な天体とそれらの振る舞いについての概要を説明できる事。日常生活とはかけ離れている宇宙の超巨大尺度を、数値的な比較によって「体感」できるようになる事。宇宙における物理法則の普遍性を簡潔に説明できる事。

科目の到達目標 (理解のレベル) 物理法則を基盤とする論理の梯子によって、宇宙の彼方まで理解を及ぼそうとする現代科学の一端に触れる事。

授業形態

講義
前編
1. 講義形式による基本的項目の解説：板書と資料提示
2. 講義内容 (前編) に関する課題の演習
※ 前編講義40分間程度・前編演習10分間程度

後編
1. 講義形式による基本的項目の解説：板書と資料提示
2. 講義内容 (後編) に関する課題の演習
※ 後編講義40分間程度・後編演習10分間程度
質疑応答は授業時間中、gmail、及び、オフィスアワーで行なう。

授業方法

状況によっては授業形式を変更する事も有り得る。
【第01回】宇宙とは何か？
時間と空間、天体、一般相対性理論における宇宙と物質の取り扱い
【第02回】宇宙の観測
電磁波の捕捉、宇宙線の捕捉、重力波望遠鏡、探査機による現地観測
【第03回】恒星
放射スペクトルによる分類、運動状態：自転・振動・連星公転、太陽
【第04回】銀河
恒星の大集団、形状による分類、銀河の内部運動と釣り合い、銀河系
【第05回】宇宙の階層構造
銀河団：宇宙最大の“天体”、超銀河団とボイド、宇宙の大規模構造
【第06回】星間物質
原子ガス・分子ガス・電離ガス・ホットガス、宇宙塵、宇宙線粒子、銀河間物質
【第07回】普遍性と宇宙
物理法則に関する一般相対性原理、場の量子論が保証する元素の同質性
【第08回】動的な宇宙像
ハッブルの法則、軽元素組成比率、宇宙背景放射、ビッグバン宇宙
【第09回】宇宙の創生と膨張
“始まり”、インフレーション、ビッグバン後の3分間、宇宙の“晴れ上がり”
【第10回】星の生と死
“晴れ上がり”温度のゆらぎ、ファーストスターズ、星の寿命と終末、ブラックホール
【第11回】銀河の形成
物質密度ゆらぎの増大、ガス雲の冷却、銀河系の形成、渦状腕の実体と振る舞い
【第12回】太陽系の誕生
重元素の蓄積、原始太陽と微惑星、惑星形成、(太陽)系外惑星の多様性
【第13回】コンピュータと宇宙
天文シミュレーション、天文データ処理への活用、バーチャル天文台

授業計画 ただし、上記の内容・順序は変更もあり得る。
事前・事後学習に必要時間 本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

毎回、シラバスを必ず読み返す事。

事前準備

各回の授業開始までに、manabaから当該授業回に関連する資料と演習課題をダウンロードしてB5判用紙へ印刷し、内容を確認しておく事。

事後学修

板書内容と配布資料を読み直し、要点を確認する事。書き写した板書内容と書き込み済み演習課題を散逸しないように整理・保管する事。

(電子媒体のままで放置しない事。)

事前・事後学修の内容 事前・事後を問わず、不明な事柄があればgmailを使用して照会する事。

期末試験（下記：出題範囲の配点）の得点率累計70%

第01回・8%

第02回・4%

第03回・4%

第04回・5%

第05回・4%

第06回・4%

第07回・8%

第08回・6%

第09回・4%

第10回・9%

第11回・6%

第12回・4%

第13回・4%

第1回レポート（B5判・手書き1枚）の提出率15%

第2回レポート（B5判・手書き1枚）の提出率15%

合計100%で評価する。

成績評価方法・基準

課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法 本科目での課題の講評・解説については授業内もしくはmanaba上でおこなう。

教科書・指定図書

講義での板書と配布資料をまとめる事によって“教科書”ができあがる。参考書は開講時に指示する。

履修上の留意点

・自然科学入門ⅠおよびⅡが履修済である事を強く望む。
・第02回から座席指定するので、教室前方配置の希望者はメールで申し出る事。

更新日 2026/3/18

開設	全学共通
科目ナンバー	ZE105
カリキュラム・マップ (学位授与方針との関連)	https://www.asia-u.ac.jp/academics/syllabus.html
講義コード	2EC000110
講義名	宇宙と物質 B組
担当者名	吉田 律
開講情報	秋期 月曜日 2時限 7200教室
単位数	2
受講可能学部	B/H/D/E/L/I/C/U/S

科目の趣旨	宇宙について人類は各時代に夢を描いてきた。科学が発展するにつれて宇宙の謎はかえって深まり、一般的に物理学の分野で際立って人気がある。宇宙に関する観測技術が驚異的に進歩し、高エネルギー物理学の進展とともに、宇宙の研究はいまや精密科学の領域に入ってきている。宇宙の進化、銀河、天体やまた物質の起源など興味あるテーマを観測事実に基づき科学的思考方法で講義する。これらのテーマはミクロの世界も含めて総合的な把握が要求され、基礎的な部分も必要に応じて学んでいく。 「宇宙」という用語並びに「物質」という用語の定義を最初に行ない、日常生活において使われている同様の用語との区別を明確化する。 宇宙観測の複数の方法を概説した後、宇宙の構造について基本的な項目を順次解説・紹介する。併せて宇宙に存在する様々な物質についても解説・紹介する。これら宇宙と物質に関する基本的な事項を踏まえた上で、宇宙の開闢から現在までの発展過程 (宇宙の「歴史」) を順次解説・紹介する。 更に、宇宙や物質を科学的に理解する為の基盤的前提である2つの「普遍性」についてそれらの内容と正当性を言及する。
授業の内容	新たな宇宙観測結果やコンピュータ・シミュレーション結果が公表された場合には、それらの内容を解説に随時反映させる。 天文学の用語が全ての人に共通理解できるように定義されている事とその必要性を理解し説明できる事。 宇宙の様々な天体とそれらの振る舞いについての概要を説明できる事。 日常生活とはかけ離れている宇宙の超巨大尺度を、数値的な比較によって「体感」できるようになる事。 宇宙における物理法則の普遍性を簡潔に説明できる事。 物理法則を基盤とする論理の梯子によって、宇宙の彼方まで理解を及ぼそうとする現代科学の一端に触れる事。
科目の到達目標 (理解のレベル)	
授業形態	講義 前編 1. 講義形式による基本的項目の解説: 板書と資料提示 2. 講義内容 (前編) に関する課題の演習 ※ 前編講義40分間程度・前編演習10分間程度 後編 1. 講義形式による基本的項目の解説: 板書と資料提示 2. 講義内容 (後編) に関する課題の演習 ※ 後編講義40分間程度・後編演習10分間程度
授業方法	質疑応答は授業時間中、gmail、及び、オフィスアワーで行なう。 状況によっては授業形式を変更する事も有り得る。 【第01回】宇宙とは何か？ 時間と空間、天体、一般相対性理論における宇宙と物質の取り扱い 【第02回】宇宙の観測 電磁波の捕捉、宇宙線の捕捉、重力波望遠鏡、探査機による現地観測 【第03回】恒星 放射スペクトルによる分類、運動状態: 自転・振動・連星公転、太陽 【第04回】銀河 恒星の大集団、形状による分類、銀河の内部運動と釣り合い、銀河系 【第05回】宇宙の階層構造 銀河団: 宇宙最大の“天体”、超銀河団とボイド、宇宙の大規模構造 【第06回】星間物質 原子ガス・分子ガス・電離ガス・ホットガス、宇宙塵、宇宙線粒子、銀河間物質 【第07回】普遍性と宇宙 物理法則に関する一般相対性原理、場の量子論が保証する元素の同質性 【第08回】動的な宇宙像 ハッブルの法則、軽元素組成比率、宇宙背景放射、ビッグバン宇宙 【第09回】宇宙の創生と膨張 “始まり”、インフレーション、ビッグバン後の3分間、宇宙の“晴れ上がり” 【第10回】星の生と死 “晴れ上がり”温度のゆらぎ、ファーストスターズ、星の寿命と終末、ブラックホール 【第11回】銀河の形成 物質密度ゆらぎの増大、ガス雲の冷却、銀河系の形成、渦状腕の実体と振る舞い 【第12回】太陽系の誕生 重元素の蓄積、原始太陽と微惑星、惑星形成、(太陽)系外惑星の多様性 【第13回】コンピュータと宇宙 天文シミュレーション、天文データ処理への活用、バーチャル天文台
授業計画	ただし、上記の内容・順序は変更もあり得る。
事前・事後学習に必要な時間	本科目の予習・復習にかかる時間の目安は、授業1回について、4時間半程度である。

毎回、シラバスを必ず読み返す事。

事前準備

各回の授業開始までに、manabaから当該授業回に関連する資料と演習課題をダウンロードしてB5判用紙へ印刷し、内容を確認しておく事。

事後学修

板書内容と配布資料を読み直し、要点を確認する事。書き写した板書内容と書き込み済み演習課題を散逸しないように整理・保管する事。

(電子媒体のままで放置しない事。)

事前・事後学修の内容 事前・事後を問わず、不明な事柄があればgmailを使用して照会する事。

期末試験（下記：出題範囲の配点）の得点率累計70%

第01回・8%

第02回・4%

第03回・4%

第04回・5%

第05回・4%

第06回・4%

第07回・8%

第08回・6%

第09回・4%

第10回・9%

第11回・6%

第12回・4%

第13回・4%

第1回レポート（B5判・手書き1枚）の提出率15%

第2回レポート（B5判・手書き1枚）の提出率15%

合計100%で評価する。

成績評価方法・基準

課題（試験やレポート等）についてのフィードバック方法 本科目での課題の講評・解説については授業内もしくはmanaba上でおこなう。

教科書・指定図書

講義での板書と配布資料をまとめる事によって“教科書”ができあがる。参考書は開講時に指示する。

履修上の留意点

・自然科学入門 I および II が履修済である事を強く望む。
・第02回から座席指定するので、教室前方配置の希望者はメールで申し出る事。

更新日 2026/3/18